

# 目 次

●中国語 I (E8)	- 1 -
●中国語 I (E9)	- 2 -
●中国語 I (La~b)	- 3 -
●中国語 I (Lc~d)	- 4 -
●中国語 I (Le~f)	- 5 -
●中国語 I (E5)	- 6 -
●中国語 I (E6)	- 7 -
●中国語 I (E7)	- 8 -
●中国語 I (M11~12)	- 9 -
●中国語 I (M13~15)	- 10 -
●中国語 I (E10)	- 11 -
●中国語 I (P18~19・F 二)	- 12 -
●中国語 I (F 一)	- 13 -
●中国語 I (T 三)	- 14 -
●中国語 I (T 二)	- 15 -
●中国語 I (D16~17)	- 16 -
●中国語 I (T 四)	- 17 -
●中国語 I (T 一)	- 18 -
●中国語 I (K25)	- 19 -
●中国語 I (K26)	- 20 -
●中国語 I (T 五)	- 21 -
●中国語 I (T 六)	- 22 -
●中国語 II (E8)	- 23 -
●中国語 II (E9)	- 24 -
●中国語 II (La~b)	- 25 -
●中国語 II (Lc~d)	- 26 -
●中国語 II (Le~f)	- 27 -
●中国語 II (E5)	- 28 -
●中国語 II (E6)	- 29 -
●中国語 II (E7)	- 30 -
●中国語 II (M11~12)	- 31 -
●中国語 II (M13~15)	- 32 -
●中国語 II (E10)	- 33 -
●中国語 II (P18~19・F 二)	- 34 -
●中国語 II (F 一)	- 35 -
●中国語 II (T 三)	- 36 -
●中国語 II (T 二)	- 37 -
●中国語 II (D16~17)	- 38 -
●中国語 II (T 四)	- 39 -
●中国語 II (T 一)	- 40 -

●中国語Ⅱ (K25)	- 41 -
●中国語Ⅱ (K26)	- 42 -
●中国語Ⅱ (T 五)	- 43 -
●中国語Ⅱ (T 六)	- 44 -
●中国語Ⅲ (2M11~12)	- 45 -
●中国語Ⅲ (2D16~17)	- 46 -
●中国語Ⅲ (2T 一)	- 47 -
●中国語Ⅲ (2T 三)	- 48 -
●中国語Ⅲ (2T 二)	- 49 -
●中国語Ⅲ (2K26)	- 50 -
●中国語Ⅲ (2K25)	- 51 -
●中国語Ⅲ (2T 六)	- 52 -
●中国語Ⅲ (2T 五)	- 53 -
●中国語Ⅲ (2T 四)	- 54 -
●中国語Ⅲ (2E5)	- 55 -
●中国語Ⅲ (2E7)	- 56 -
●中国語Ⅲ (2E6)	- 57 -
●中国語Ⅲ (2P18~19・2F 二)	- 58 -
●中国語Ⅲ (2F 一)	- 59 -
●中国語Ⅲ (2L1~2)	- 60 -
●中国語Ⅲ (2E8)	- 61 -
●中国語Ⅲ (2E9)	- 62 -
●中国語Ⅲ (2E10)	- 63 -
●中国語Ⅳ (2M11~12)	- 64 -
●中国語Ⅳ (2D16~17)	- 65 -
●中国語Ⅳ (2T 一)	- 66 -
●中国語Ⅳ (2T 三)	- 67 -
●中国語Ⅳ (2T 二)	- 68 -
●中国語Ⅳ (2K26)	- 69 -
●中国語Ⅳ (2K25)	- 70 -
●中国語Ⅳ (2T 六)	- 71 -
●中国語Ⅳ (2T 五)	- 72 -
●中国語Ⅳ (2T 四)	- 73 -
●中国語Ⅳ (2E5)	- 74 -
●中国語Ⅳ (2E7)	- 75 -
●中国語Ⅳ (2E6)	- 76 -
●中国語Ⅳ (2P18~19・2F 二)	- 77 -
●中国語Ⅳ (2F 一)	- 78 -
●中国語Ⅳ (2L1~2)	- 79 -
●中国語Ⅳ (2E8)	- 80 -
●中国語Ⅳ (2E9)	- 81 -
●中国語Ⅳ (2E10)	- 82 -

2010年度 前期	曜日・校時 月1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590041002 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅰ (E8) Chinese I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) E8	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 高 芳 / g_fangyuan@yahoo.co.jp / 非常勤講師室 / 090-6264-6497 / 非常勤講師室にて随時・要確認			
担当教員	高 芳		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b>			
<p><b>ねらい:</b>本講では学習者が実際に中国語を使ってコミュニケーションできるようになるために現実の具体的場面と関連させながら「聞く、話す、読む、書く」の四つの技能を総合的にしていくことをめざしています。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>発言や質問が活発になるように、自由でオープンな雰囲気を作る。学生が発話する機会をできるだけ多く設ける。ペアワークやグループワークを活用する。また、クラス全体の活動も学生の発表の場とする。中国語のインプットを増やす工夫(教師自らできるだけ中国語を使うよう心がける、内容に関連する小道具、音声資料の利用など)をする。</p> <p><b>到達目標:</b>日常生活レベルのことを簡単な中国語で「聞く、話す、読む、書く」できるようになる。</p>			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>			
概要: 発音の基礎であるピンイン、基本的な文法、自己紹介、家族、大学生活、趣味など身近なことの表現などを習得する。			
16回 8月9日: 定期試験			
第1回 第1課『発音1』 声調(四声と轻声、第3声の変調) 単母音と複母音1 子音(唇音、舌尖音)			
第2回 発音1の確認小テスト 第1課『発音2』 声調(一と不の変調、声調記号の付け方) 複母音2 子音(舌根音) 無気音と有気音1			
第3回 『発音2』の確認小テスト 第2課『発音3』 複母音3、4 子音(舌面音、そり舌音) アル化音			
第4回 第2課『発音3』の確認小テスト 第2課『発音4』 複母音5 子音(舌歯音) 無気音と有気音2			
第5回 第2課『発音4』の確認小テスト 第3課『お名前は』 会話: ①「お名前は」 ②「お国は」 文法: 人称代名詞 動詞述語文1			
第6回 確認小テスト 第3課『お名前は』(2) 会話: ③「韓国人ではありません」 ④「お宅はどこにありますか」 中国事情: 人口、首都、国旗 ヒヤリング: 「私は田中和人と申します」 文法: 否定文1 疑問文1			
第7回 中間口頭試験及び中国語スピーチ 中間筆記試験			
第8回 第4課『家族』(1) 会話: ①「ご家族は何人ですか」 ②「私は一人っ子です」 ③「お父さんはどこにおつとめですか」 文法: 動詞述語文2 否定文2 疑問文2			
第9回 確認小テスト 第4課『家族』(2) 会話: ④「弟さんは学生ですが」 ⑤「我が家にはほかに犬が一匹います」 中国事情: 一人子政策 ヒヤリング「小林さんの家族」 文法: 「量詞」1 「和」「在」			
第10回 確認小テスト 第5課『大学生生活』(1) 会話: ①「私は図書館に行きます」 ②「図書館はどこですか」 ③「あなたは何年に入学しましたか」 文法: 名詞述語文 合成方位詞 「是…的」構文			
第11回 確認小テスト 第5課『大学生生活』(2) 会話: ④「新学年はいつ始まりますか」 ⑤「中国語の授業は週に何コマですか」 ⑥「いま何時ですか」 ⑦「一講目は何時に始まりますか」 文法: 日付、時刻、期間、時間の言い方			
第12回 確認小テスト 第6課『趣味』(1) 会話: ①「野球は好きですか」 ②「野球はしたことがありません」 ③「今月野球の試合があるんでしょう」 文法: 経験を表す文 実現、完了を表す文			
第13回 確認小テスト 第6課『趣味』(2) 会話: ④「どんなスポーツが好きですか」 ⑤「カラオケが好きです」 文法: 疑問文3 否定文3			
第14回 期末口頭試験及び中国語スピーチ			
第15回 全授業の総括			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	テキスト: 山本範子・高芳『場面で学ぶ中国語1』(三修社) 辞書: 上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)		
成績評価の方法・基準等	筆記試験(50%)、小テスト・課題(30%)、口頭試験(20%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 月1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590041001 授業科目/(英語名)	●中国語 I (E9) Chinese I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) E8	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 池 玉杰 / g_fangyuan@yahoo.co.jp / 非常勤講師室 / 090-6264-6497 / 非常勤講師室にて随時・要確認			
担当教員	池 玉杰		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 本講では学習者が実際に中国語を使ってコミュニケーションできるようになるために現実の具体的場面と関連させながら「聞く、話す、読む、書く」の四つの技能を総合的にしていくことをめざしています。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 発言や質問が活発になるように、自由でオープンな雰囲気を作る。学生が発話する機会をできるだけ多く設ける。ペアワークやグループワークを活用する。また、クラス全体の活動も学生の発表の場とする。中国語のインプットを増やす工夫(教師自らできるだけ中国語を使うよう心がける、内容に関連する小道具、音声資料の利用など)をする。 <b>到達目標:</b> 日常生活レベルのことを簡単な中国語で「聞く、話す、読む、書く」できるようになる。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 概要：発音の基礎であるピンイン、基本的な文法、自己紹介、家族、大学生活、趣味など身近なことの表現などを習得する。 16回 8月9日：定期試験 第1回 4/12 第1回 発音(一) 第2回 4/19 第2回 発音(二) 第3回 4/26 第3回 第1課 貴方は日本人ですか?(上) 第4回 4/10 第4回 第1課 貴方は日本人ですか?(下) 第5回 5/17 第5回 第2課 私はお茶を飲みます。(上) 第6回 5/24 第6回 第1課 私はお茶を飲みます。(下) 第7回 6/7 第7回 第3課 応接間は本当に大きいですね!(上) 第8回 6/14 第8回 第3課 応接間は本当に大きいですね!(下) 第9回 6/21 第9回 第4課 グルメ通りはどこにありますか?(上) 第10回 6/28 第10回 第4課 グルメ通りはどこにありますか?(下) 第11回 7/5 第11回 第5課 携帯電話を持っていますか?(上) 第12回 7/12 第12回 第5課 携帯電話を持っていますか?(下) 第13回 7/26 第13回 第6課 頤和園はどのようにいけばいいですか?(上) 第14回 8/2 第14回 第6課 頤和園はどのようにいけばいいですか?(下) 第15回 7/30 第15回 口頭発表			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	* <ベーシック中国語> 作者; 張/重松/杜 出版社; 郁文堂 * 日中、中日辞典		
成績評価の方法・基準等	筆記試験(50%)、小テスト・課題(30%)、口頭試験(20%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	期末試験50、口頭発表20、授業での積極的な態度10、学習態度10、宿題10		
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 月3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590041004 授業科目/(英語名)	●中国語 I (La～b) Chinese I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) La～b	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 高 芳 / g_fangyuan@yahoo.co.jp / 非常勤講師室 / 090-6264-6497 / 非常勤講師室にて随時・要確認			
担当教員	高 芳		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 本講では学習者が実際に中国語を使ってコミュニケーションできるようになるために現実の具体的場面と関連させながら「聞く、話す、読む、書く」の四つの技能を総合的にしていくことをめざしています。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 発言や質問が活発になるように、自由でオープンな雰囲気を作る。学生が発話する機会をできるだけ多く設ける。ペアワークやグループワークを活用する。また、クラス全体の活動も学生の発表の場とする。中国語のインプットを増やす工夫(教師自らできるだけ中国語を使うよう心がける、内容に関連する小道具、音声資料の利用など)をする。 <b>到達目標:</b> 日常生活レベルのことを簡単な中国語で「聞く、話す、読む、書く」できるようになる。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 概要:発音の基礎であるピンイン、基本的な文法、自己紹介、家族、大学生活、趣味など身近なことの表現などを習得する 16回 8月9日:定期試験 第1回 16回 8月9日:定期試験 第2回 発音1の確認小テスト 第1課『発音2』 声調(一と不の変調、声調記号の付け方) 複母音2 子音(舌根音) 無気音と有気音1 第3回 『発音2』の確認小テスト 第2課『発音3』 複母音3、4 子音(舌面音、そり舌音) アル化音 第4回 第2課『発音3』の確認小テスト 第2課『発音4』 複母音5 子音(舌歯音) 無気音と有気音2 第5回 第2課『発音4』の確認小テスト 第3課『お名前は』 会話:①「お名前は」 ②「お国は」 文法:人称代名詞 動詞述語文1 第6回 確認小テスト 第3課『お名前は』(2) 会話:③「韓国人ではありません」 ④「お宅はどこにありますか」 中国事情:人口、首都、国旗 ヒヤリング:「私は田中和人と申します」 文法:否定文1 疑問文1 第7回 中間口頭試験及び中国語スピーチ 中間筆記試験 第8回 第4課『家族』(1) 会話:①「ご家族は何人ですか」 ②「私は一人っ子です」 ③「お父さんはどこにおつとめですか」 文法:動詞述語文2 否定文2 疑問文2 第9回 確認小テスト 第4課『家族』(2) 会話:④「弟さんは学生ですが」 ⑤我が家にはほかに犬が一匹います 中国事情:一人子政策 ヒヤリング「小林さんの家族」 文法:「量詞」1 「和」「在」 第10回 確認小テスト 第5課『大学生活』(1) 会話:①「私は図書館に行きます」 ②「図書館はどこですか」 ③「あなたは何年に入学しましたか」 文法:名詞述語文 合成方位詞 「是…的」構文 第11回 確認小テスト 第5課『大学生活』(2) 会話:④「新学年はいつ始まりますか」 ⑤「中国語の授業は週に何コマですか」 ⑥「いま何時ですか」 ⑦「一講目は何時に始まりますか」 文法:日付、時刻、期間、時間の言い方 第12回 確認小テスト 第6課『趣味』(1) 会話:①「野球は好きですか」 ②「野球はしたことはありません」 ③「今月野球の試合があるんでしょう」 文法:経験を表す文 実現、完了を表す文 第13回 確認小テスト 第6課『趣味』(2) 会話:④「どんなスポーツが好きですか」 ⑤「カラオケが好きです」 文法:疑問文3 否定文3 第14回 期末口頭試験及び中国語スピーチ 第15回 全授業の総括			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	テキスト:山本範子・高芳『場面で学ぶ中国語1』(三修社) 辞書:上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)		
成績評価の方法・基準等	筆記試験(50%)、小テスト・課題(30%)、口頭試験(20%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590041005 授業科目/(英語名)	●中国語 I (Lc～d) Chinese I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等)	中国語 I (Lc～d)	科目分類 外国語科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 趙 紅林 / honglin1-4@docomo.ne.jp / 非常勤講師室 / 050-6621-0781 / 授業前後			
担当教員	趙 紅林		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 本講義は中国語の発音を身につけて、漢字、語句、本文の「翻訳」「聞く」「読む」「話す」「書く」「文を造る」と中国語会話ができるような基礎力を習得する。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 発音練習、本文、文法の説明、文の作り、「翻訳」、「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」、ペアで会話などの練習をする。 <b>到達目標:</b> 中国語の発音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにすること、中国語の音声表記ともっとも基本となる構文を身につけること。日常てきな会話表現ができるようになること。中国語検定試験の準四級資格を取得できると目標にする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> <b>授業内容(概要)</b> 内容：最初の4回の授業で中国語漢字の発音(母音、子音、声調、音節など)を習いとテスト、第5回目から単語、文法、会話などを勉強し、練習問題、発表などをする。中国語文法の説明では、中国語文法の特徴、日本語文法と対照しながら説明し、文型の練習などをする。自己紹介の仕方、家族の紹介、年齢の言い方、などを教える。(授業中に教える教科書以外の単語なども内容の一部になるので筆記用具を用意すること) (16回8月3日試験日) 第1回 2010/4/13 中国語についてのいろいろ、第1課表音ローマ字(ピンイン) 第2回 2010/4/20 母音 と 声調 第3回 2010/4/27 子音 声調の変化など 第4回 2010/5/11 中国語の発音まとめ小テストと第2課の単語 第5回 2010/5/18 第2課の読みと文法の説明 (人称代名詞、名前の聞き方、判断文、疑問文など) 第6回 2010/5/25 本文の訳、会話の練習などと第3課の単語 第7回 2010/6/1 第3課の読み練習と文法の説明(動詞述語文、所有を表す“有”、と副詞) 第8回 2010/6/8 本文の訳、会話の練習など(次の発表についての内容と説明) 第9回 2010/6/15 第2、3、課のまとめ個人の発表 第10回 2010/6/22 第4課の単語読み練習と文法の説明(家族について、年齢、数の数えと形容詞述語文) 第11回 2010/6/29 本文の訳、会話の練習などと第5課の単語 第12回 2010/7/6 第5課の単語読み練習と文法の説明(指示代名詞、“在”について、反復疑問文と“的”など) 第13回 2010/7/13 本文の訳、会話の練習などと第6課の単語 第14回 2010/7/20 第6課の単語読み練習と文法の説明(年、月、日、曜日時間の言い方、“是”の省略、動詞の重ね型) 第15回 2010/7/27 本文の訳、会話の練習などと期末試験について。			
キーワード	発音 会話 文法 練習問題		
教科書・教材・参考書	テキスト：『簡明基礎中国語』 高山 乾忠 著 (白帝社) 中国語辞書あるいは中国語電子辞書 (出版社指定なし)		
成績評価の方法・基準等	授業参加、授業時の姿勢、勉強の態度20点(三分の二出席不足すると試験を受けられない、無断欠席1回3点マイナス)、期間小テスト、個人発表など30点、最後のまとめ筆記テストあるいは発表50点。(中国語検定試験、中国語コンクールに参加した人には5-10点をプラスして評価する)		
受講要件(履修条件)	出席重視、教科書、筆記用具、辞書必携で真面目に受講すること		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	前期に習ったもの80%身につけること。		
備考(準備学習等)	予習、復習が必要、授業積極的に質問に答え、練習すること。 習った単語を覚え、宿題を完成すること。		

2010年度 前期	曜日・校時 火1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590041003 授業科目/(英語名)	●中国語 I (Le～f) Chinese I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) Le～f	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 劉 愛莉 / kym_ar@hotmail.com / 非常勤講師室 / 095-887-3467 / 火曜日12:00～13:00非常勤講師室・要確認			
担当教員	劉 愛莉		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 中国語の発音を身に付け、簡単な中国語会話(日常挨拶、名前・国籍のたずねかたと答え方、数の数え方、年齢のたずねかたと答え方、大学の紹介、家族についての聞き方と答え方)ができるような基礎力を養う。 授業方法(学習指導法): 発音と4つの声調を重点に練習する。またテキスト第1課から第4課までの本文、文法の説明を行い、繰り返し「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」などを練習する。 到達目標: 中国語の正しい発音を身に付け、漢字(中国語の簡体字)の書き方に慣れると同時にその単語をしっかりと覚えることができる。初歩的な中国語文法を習得する。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 最初の5回の授業で中国語の発音(母音、子音、声調、音節、声調変化)、第6回は簡単な挨拶を習得し、第7回目から単語、文法(“是”構文、疑問詞を使った疑問文、存在を表す動詞“有”“在”、所有を表す動詞“有”)、短文・会話文(自己紹介、家族の紹介、年齢の言い方…)などを勉強する。練習問題にも取り組み、テキストの内容に即して中国文化にも触れる。16回8月3日定期試験 第1回 4月13日 中国語について 単母音と声調 第2回 4月20日 母音(二重母音、三重母音) 第3回 4月27日 子音 第4回 5月11日 n ngをもつ母音 第5回 5月18日 数字一と第三声の声調変化 第6回 5月25日 発音のまとめと辞書の使い方 簡単な挨拶 第7回 6月1日 第1課 「自己紹介」 第8回 6月8日 人称代詞、名前の尋ね方、答え方 “是”構文 第9回 6月15日 第2課 「私は大学生です」 第10回 6月22日 疑問詞を使った疑問文 副詞“也”“都” 助詞“的”の用法 名詞述語文 第11回 6月29日 第3課 「私たちの学校」 第12回 7月6日 指示代詞 存在を表す動詞“有”“在” 方位詞 第13回 7月13日 第4課 「私の家族」 第14回 7月20日 所有を表す動詞“有”、家族や年齢の尋ねかた “量詞” “的”の省略 第15回 7月27日 存現文 総合復習(第1課～第4課)			
キーワード	発音 会話 文法 練習問題		
教科書・教材・参考書	テキスト: 『実用中国語10課』(白帝社) 中国語辞書(出版社指定なし) あるいは中国語電子辞書		
成績評価の方法・基準等	授業への参加・態度20% 宿題、個人発表など20% 定期口頭・筆記試験60%。		
受講要件(履修条件)	出席を重視し且つ授業中積極的に会話練習に参加すること。教科書、筆記用具、辞書必携。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	日本中国語検定協会試験準4級合格を目指す。		
備考(準備学習等)	予習、復習が必要。CDを聞き本文・会話文を暗記すること。宿題を完成すること。		

2010年度 前期	曜日・校時 火2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590041008 授業科目/(英語名)	●中国語 I (E5) Chinese I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) 中国語 I (E5)	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 趙 紅林 / honglin1-4@docom0.ne.jp / 非常勤講師室 / 050-6621-0781 / 授業前後			
担当教員	趙 紅林		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 本講義は中国語の発音を身につけて、漢字、語句、本文の「翻訳」「聞く」「読む」「話す」「書く」「文を造る」と中国語会話ができるような基礎力を習得する。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 発音練習、本文、文法の説明、文の作り、「翻訳」、「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」、ペアで会話などの練習をする。 <b>到達目標:</b> 中国語の発音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにすること。中国語の音声表記ともっとも基本となる構文を身につけること。日常的な会話表現ができるようになること。中国語検定試験の準四級資格を取得できる目標とする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> j 授業内容 (概要) 内容：最初の4回の授業で中国語漢字の発音(母音、子音、声調、音節など)を習いとテスト、第5回目から単語、文法、会話などを勉強し、練習問題、発表などをする。中国語文法の説明では、中国語文法の特徴、日本語文法と対照しながら説明し、文型の練習などをする。自己紹介の仕方、家族の紹介、年齢の言い方、などを教える。(授業中に教える教科書以外の単語なども内容の一部になるので筆記用具を用意すること) (16回8月3日試験日) 第1回 2010/4/13 中国語についてのいろいろ、第1課表音ローマ字(ピンイン) 第2回 2010/4/20 母音 と 声調 第3回 2010/4/27 子音 声調の変化など 第4回 2010/5/11 中国語の発音まとめ小テストと第2課の単語 第5回 2010/5/18 第2課の読みと文法の説明 (人称代名詞、名前の聞き方、判断文、疑問文など) 第6回 2010/5/25 本文の訳、会話の練習などと第3課の単語 第7回 2010/6/1 第3課の読み練習と文法の説明(動詞述語文、所有を表す“有”、と副詞) 第8回 2010/6/8 本文の訳、会話の練習など(次の発表についての内容と説明) 第9回 2010/6/15 第2、3、課のまとめ個人の発表 第10回 2010/6/22 第4課の単語読み練習と文法の説明(家族について、年齢、数の数えと形容詞述語文) 第11回 2010/6/29 本文の訳、会話の練習などと第5課の単語 第12回 2010/7/6 第5課の単語読み練習と文法の説明(指示代名詞、“在”について、反復疑問文と“的”など) 第13回 2010/7/13 本文の訳、会話の練習などと第6課の単語 第14回 2010/7/20 第6課の単語読み練習と文法の説明(年、月、日、曜日、時間の言い方、“是”の省略、動詞の重ね型) 第15回 2010/7/27 本文の訳、会話の練習などと期末試験について。			
キーワード	発音 会話 文法 練習問題		
教科書・教材・参考書	テキスト：『簡明基礎中国語』 高山 乾忠 著 (白帝社) 中国語辞書あるいは中国語電子辞書 (出版社指定なし)		
成績評価の方法・基準等	授業参加、授業時の姿勢、勉強の態度20点(三分の二出席不足すると試験を受けられない、無断欠席1回3点マイナス)、期間小テスト、個人発表など30点、最後のまとめ筆記テストあるいは発表50点。(中国語検定試験、中国語コンクールに参加した人には5-10点プラスして評価する)		
受講要件(履修条件)	出席重視、教科書、筆記用具、辞書必携で真面目に受講すること		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	前期に習ったもの80%身につけること。		
備考(準備学習等)	予習、復習が必要、授業積極的に質問に答え、練習すること。 習った単語を身につけ、宿題を完成すること。		

2010年度 前期	曜日・校時 火2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590041007 授業科目/(英語名)	●中国語 I (E6) Chinese I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) E6	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 劉 愛莉 / kym_ar@hotmail.com / 非常勤講師室 / 095-887-3467 / 火曜日12:00～13:00非常勤講師室・要確認			
担当教員	劉 愛莉		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:中国語の発音を身に付け、簡単な中国語会話(日常挨拶、名前・国籍のたずねかたと答え方、数の数え方、年齢のたずねかたと答え方、大学の紹介、家族についての聞き方と答え方)ができるような基礎力を養う。 授業方法(学習指導法):発音と4つの声調を重点に練習する。またテキスト第1課から第4課までの本文、文法の説明を行い、繰り返し「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」などを練習する。 到達目標:中国語の正しい発音を身に付け、漢字(中国語の簡体字)の書き方に慣れると同時にその単語をしっかりと覚えることができる。初歩的な中国語文法を習得する。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 最初の5回の授業で中国語の発音(母音、子音、声調、音節、声調変化)、第6回は簡単な挨拶を習得し、第7回目から単語、文法(“是”構文、疑問詞を使った疑問文、存在を表す動詞“有”“在”、所有を表す動詞“有”)、短文・会話文(自己紹介、家族の紹介、年齢の言い方…)などを勉強する。練習問題にも取り組み、テキストの内容に即して中国文化にも触れる。16回8月3日定期試験 第1回 4月13日 中国語について 単母音と声調 第2回 4月20日 母音(二重母音、三重母音) 第3回 4月27日 子音 第4回 5月11日 n ngをもつ母音 第5回 5月18日 数字一と第三声の声調変化 第6回 5月25日 発音のまとめと辞書の使い方 簡単な挨拶 第7回 6月1日 第1課 「自己紹介」 第8回 6月8日 人称代詞、名前の尋ね方、答え方 “是”構文 第9回 6月15日 第2課 「私は大学生です」 第10回 6月22日 疑問詞を使った疑問文 副詞“也”“都” 助詞“的”の用法 名詞述語文 第11回 6月29日 第3課 「私たちの学校」 第12回 7月6日 指示代詞 存在を表す動詞“有”“在” 方位詞 第13回 7月13日 第4課 「私の家族」 第14回 7月20日 所有を表す動詞“有”、家族や年齢の尋ねかた “量詞” “的”の省略 第15回 7月27日 存現文 総合復習(第1課～第4課)			
キーワード	発音 会話 文法 練習問題		
教科書・教材・参考書	テキスト: 『実用中国語10課』(白帝社) 中国語辞書(出版社指定なし) あるいは中国語電子辞書		
成績評価の方法・基準等	授業への参加・態度20% 宿題、個人発表など20% 定期口頭・筆記試験60%。		
受講要件(履修条件)	出席を重視し且つ授業中積極的に会話練習に参加すること。教科書、筆記用具、辞書必携。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	日本中国語検定協会試験準4級合格を目指す。		
備考(準備学習等)	予習、復習が必要。CDを聞き本文・会話文を暗記すること。宿題を完成すること。		

2010年度 前期	曜日・校時 火2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590041006 授業科目/(英語名)	●中国語 I (E7) Chinese I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) E7	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 楊 曉安 / xiaoran@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部新館1階 / 095-819-2166 (内線 2166) / 火曜日、金曜日 (16:10-18:00)			
担当教員	楊 曉安		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。 授業方法(学習指導法):1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。 到達目標:1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。 16回 8月9日:定期試験 第1回 第1課 発音1 子音(1)唇音・舌尖音 / 四声 / 単母音 / 特殊母音 er / アル化 / 簡単な挨拶(1) 第2回 第2課 発音2 子音(2)舌根音・舌面音 / 複合母音(1) / 軽声 / 簡単な挨拶(2) 第3回 第3課 発音3 子音(3)捲舌音・舌歯音 / 複合母音(2) / 三声の変調 / 一・不の変調 / 簡単な挨拶(3) 第4回 発音のまとめ 小テスト 第5回 第4課『こんにちは』 文法:姓の呼び方 / 人称代名詞 / 中国人の姓名 第6回 第5課『あなたは先生ですか』 文法:判断文の肯定・否定・疑問 / 指示代名詞 第7回 第6課『中国語は難しいですか』 文法:形容詞述語文 / 「呢」 / 時の表現 第8回 第7課『あなたの友だちは来ますか』 文法:動詞述語文 / 語気助詞「了」① / 場所代名詞 第9回 第4課から第7課までのまとめ 小テスト 第10回 第8課『書棚には何がありますか』 文法:「在」と「有」 / 「是～的」 / 常用量詞 第11回 第9課『自動車の運転ができますか』 文法:「会・能・可以」 / 語気助詞「了」② / 「就」 / 疑問代詞 第12回 第10課『どこに行ったのですか』 文法:時態助詞「了」と語気助詞「了」 / 「一点儿」と「有点儿」 第13回 第11課『もうすぐ雨が降ってきます』 文法:存現文 / 「跟」 / 「快要」 第14回 第8課から第11課までのまとめ 小テスト 第15回 総合復習			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキスト:黒坂満輝・村上公一・楊曉安『コミュニケーション中国語I』(同学社) 辞書:上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)		
成績評価の方法・基準等	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590041011 授業科目/(英語名)	●中国語 I (M11～12) Chinese I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 403	
対象学生(クラス等) M11～12	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 劉 愛莉 / kym_ar@hotmail.com / 非常勤講師室 / 095-887-3467 / 水曜日12:00～13:00非常勤講師室・要確認			
担当教員	劉 愛莉		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:中国語の発音を身に付け、簡単な中国語会話(日常挨拶、名前・国籍のたずねかたと答え方、数の数え方、年齢のたずねかたと答え方、大学の紹介、家族についての聞き方と答え方)ができるような基礎力を養う。 授業方法(学習指導法):発音と4つの声調を重点に練習する。またテキスト第1課から第4課までの本文、文法の説明を行い、繰り返し「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」などを練習する。 到達目標:中国語の正しい発音を身に付け、漢字(中国語の簡体字)の書き方に慣れると同時にその単語をしっかりと覚えることができる。初歩的な中国語文法を習得する。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 最初の5回の授業で中国語の発音(母音、子音、声調、音節、声調変化)、第6回は簡単な挨拶を習得し、第7回目から単語、文法(“是”構文、疑問詞を使った疑問文、存在を表す動詞“有”“在”、所有を表す動詞“有”)、短文・会話文(自己紹介、家族の紹介、年齢の言い方…)などを勉強する。練習問題にも取り組み、テキストの内容に即して中国文化にも触れる。16回8月4日定期試験 第1回 4月14日 中国語について 単母音と声調 第2回 4月21日 母音(二重母音、三重母音) 第3回 4月28日 子音 第4回 5月12日 n ngをもつ母音 第5回 5月19日 数字一と第三声の声調変化 第6回 5月26日 発音のまとめと辞書の使い方 簡単な挨拶 第7回 6月2日 第1課 「自己紹介」 第8回 6月9日 人称代詞、名前の尋ね方、答え方 “是”構文 第9回 6月16日 第2課 「私は大学生です」 第10回 6月23日 疑問詞を使った疑問文 副詞“也”“都” 助詞“的”の用法 名詞述語文 第11回 6月30日 第3課 「私たちの学校」 第12回 7月7日 指示代詞 存在を表す動詞“有”“在” 方位詞 第13回 7月14日 第4課 「私の家族」 第14回 7月21日 所有を表す動詞“有”、家族や年齢の尋ねかた “量詞” “的”の省略 第15回 7月28日 存現文 総合復習(第1課～第4課)			
キーワード	発音 会話 文法 練習問題		
教科書・教材・参考書	テキスト: 『実用中国語10課』(白帝社) 中国語辞書(出版社指定なし) あるいは中国語電子辞書		
成績評価の方法・基準等	授業への参加・態度20% 宿題、個人発表など20% 定期口頭・筆記試験60%。		
受講要件(履修条件)	出席を重視し且つ授業中積極的に会話練習に参加すること。教科書、筆記用具、辞書必携。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	日本中国語検定協会試験準4級合格を目指す。		
備考(準備学習等)	予習、復習が必要。CDを聞き本文・会話文を暗記すること。宿題を完成すること。		

2010年度 前期	曜日・校時 水1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590041010 授業科目/(英語名)	●中国語 I (M13～15) Chinese I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) M13～15	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 陳 振華 / chzh@hotmail.com / 非常勤講師控室 / / 火曜日 16:00～17:00			
担当教員	陳 振華		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b>			
<p><b>ねらい:</b> 中国語の正確な発音をマスターし、中国語の基本文法と基本文型を学んで、簡単な中国語会話や中国語作文などを身に付ける。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b> 講義形式を基本としながら個別の発音練習に力を入れる。学生も自主的に中国語の発音をしなければなりません、学生と先生はお互いに発音、会話をする必要があります。従いまして、最初の三週間は主に中国語の発音を集中的に学び、発音の学習は先生の発音又はCDの発音を真似するので、授業中に学生は大きな声で真似しなければならない、また中国語の音声をしっかり覚えるために、授業中に学生に繰り返して発音させる以外に、学生も学校以外の時間で発音を復習しなければならない。テキストには新出単語と補充単語が多くて、授業の前に予習、暗記しなければ、授業は進められないので、ちゃんと予習してください。授業では本文の朗読、暗誦をさせ、リスニングもしなければなりません。挨拶、自己紹介、簡単な物説明、存在、所在、時間など中国語で表現できるようにする。また中国語の学習の成果を固める為に、宿題もしてもらう。</p> <p><b>到達目標:</b> 中国語の発音には声母(子音)、韻母(母音)、声調という三つの部分になっています、学生諸君は先ず声母と韻母の発音を正しくできるばかりではなく、また声母の有音気音と無音気音を区別できるし、韻母の前鼻韻母と後鼻韻母を区別できる。その上、中国語の発音声調を身に付けて、中国語の発音「ピンイン」を自主的に正しく発音できるようにする。中国語を朗読する場合、中国語の声調を全部正確に発音できる。以上は発音段階の授業の目標です。音声面が完成すると、我々は中国語文、中国語簡単な文法の勉強に入ります。指示代名詞、人称代名詞、年月</p>			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>			
16回目 8月4日 定期試験			
第1回 4月14日 発音 一. 単母音 二. 声調 三. 子音			
第2回 4月21日 発音 四. 複合母音 五. 鼻母音			
第3回 4月28日 五. 鼻母音の復習 六. 特殊母音 七. 声調の変化			
第4回 5月12日 八. アル化音 九. 隔音符号 常用量詞表 中国通貨			
第5回 5月19日 第1課 我是留学生 1. 指示代詞 2. 人称代詞 3. 形容詞述語文 4. 主述述語文 5. “是”構文 6. “的”の用法(1)			
第6回 5月26日 第1課 我是留学生 本文の説明、本文の暗誦、会話の実践、トレーニング1、リスニング2			
第7回 6月2日 第2課 我们去阿苏山吧 1. 動詞述語文 2. “的”の用法(2) 3. 年月日、曜日、時間			
第8回 6月9日 第2課 我们去阿苏山吧 本文の説明、本文の暗誦、会話の実践、トレーニング1、リスニング2			
第9回 6月16日 第3課 你家在哪里 1. 方位詞 2. 存在の表現“在” 3. 所有と存在の表現“有”			
第10回 6月23日 第3課 你家在哪里 本文の説明、本文の暗誦、会話の実践、トレーニング1、リスニング2			
第11回 6月30日 第4課 我们去看电影吧 1. “了”の用法 2. 二重目的語 3. 連動文 4. “的”の用法(三)			
第12回 7月7日 第4課 我们去看电影吧 本文の説明、本文の暗誦、会話の実践、トレーニング1、リスニング2			
第13回 7月14日 第5課 门开着呢 1. “是～的”構文 2. 動作の進行 3. 動作・状態の持続			
第14回 7月21日 第5課 门开着呢 本文の説明、本文の暗誦、会話の実践、トレーニング1、リスニング2			
第15回 7月28日 復習			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	石川泰成 王曉芳 金繩初美など 著 『五星漢語』(会話編) 中国書店(福岡)		
成績評価の方法・基準等	授業への参加状況と平素の学習態度および出席 20%、宿題と小テスト 20%、定期試験 60%		
受講要件(履修条件)	履修上の注意: 単位を取得するのは定期試験、宿題と小テストの成績の次第だけではない、出席も見るので、無断欠席しないでください。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590041009 授業科目/(英語名)	●中国語 I (E10) Chinese I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 103	
対象学生(クラス等) 中国語 I (E10)	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 趙 紅林 / honglin1-4@docomo.ne.jp / 非常勤講師室 / 050-6621-0781 / 授業前後			
担当教員	趙 紅林		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 本講義は中国語の発音を身につけて、漢字、語句、本文の「翻訳」「聞く」「読む」「話す」「書く」「文を造る」と中国語会話ができるような基礎力を習得する。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 発音練習、本文、文法の説明、文の作り、「翻訳」、「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」、ペアで会話などの練習をする。 <b>到達目標:</b> 中国語の発音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにすること、中国語の音声表記ともっとも基本となる構文を身につけること。日常的な会話表現ができるようになること。中国語検定試験の準四級資格を取得できる目標とする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 授業内容(概要) 内容:最初の4回の授業で中国語漢字の発音(母音、子音、声調、音節など)を習いとテスト、第5回目から単語、文法、会話などを勉強し、練習問題、発表などをする。中国語文法の説明では、中国語文法の特徴、日本語文法と対照しながら説明し、文型の練習などをする。自己紹介の仕方、家族の紹介、年齢の言い方、などを教える。(授業中に教える教科書以外の単語なども内容の一部になるので筆記用具を用意すること) (16回8月4日試験日) 第1回 2010/4/14 中国語についてのいろいろ、第1課表音ローマ字(ピンイン) 第2回 2010/4/21 母音と声調 第3回 2010/4/28 子音 声調の変化など 第4回 2010/5/12 中国語の発音まとめ小テストと第2課の単語 第5回 2010/5/19 第2課の読みと文法の説明(人称代名詞、名前の聞き方、判断文、疑問文など) 第6回 2010/5/26 本文の訳、会話の練習などと第3課の単語 第7回 2010/6/2 第3課の読み練習と文法の説明(動詞述語文、所有を表す“有”、と副詞) 第8回 2010/6/9 本文の訳、会話の練習など(次の発表についての内容と説明) 第9回 2010/6/16 第2、3、課のまとめ個人の発表 第10回 2010/6/23 第4課の単語読み練習と文法の説明(家族について、年齢、数の数えと形容詞述語文) 第11回 2010/6/30 本文の訳、会話の練習などと第5課の単語 第12回 2010/7/7 第5課の単語読み練習と文法の説明(指示代名詞、“在”について、反復疑問文と“的”など) 第13回 2010/7/14 本文の訳、会話の練習などと第6課の単語 第14回 2010/7/21 第6課の単語読み練習と文法の説明(年、月、日、曜日 時間の言い方、“是”の省略、動詞の重ね型) 第15回 2010/7/28 本文の訳、会話の練習などと期末試験について。			
キーワード	発音 会話 文法 練習問題		
教科書・教材・参考書	テキスト: 『簡明基礎中国語』 高山 乾忠 著 (白帝社) 中国語辞書あるいは中国語電子辞書 (出版社指定なし)		
成績評価の方法・基準等	授業参加、授業時の姿勢、勉強の態度20点(三分の二出席不足すると試験を受けられない、無断欠席1回3点マイナス)、期間小テスト、個人発表など3点、最後のまとめ筆記テストあるいは発表50点。(中国語検定試験、中国語コンクールに参加した人には5-10点プラスして評価する。)		
受講要件(履修条件)	出席重視、教科書、筆記用具、辞書必携で真面目に受講すること		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	前期に習ったもの80%身につけること。		
備考(準備学習等)	予習、復習が必要、授業積極的に質問に答え、練習すること。 習った単語を覚え、宿題を完成すること。		

2010年度 前期	曜日・校時 水2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590041014 授業科目/(英語名)	●中国語 I (P18～19・F 二) Chinese I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 403	
対象学生(クラス等) P18～19・F 二	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 劉 愛莉 / kym_ar@hotmail.com / 非常勤講師室 / 095-887-3467 / 水曜日12:00～13:00非常勤講師室・要確認			
担当教員	劉 愛莉		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:中国語の発音を身に付け、簡単な中国語会話(日常挨拶、名前・国籍のたずねかたと答え方、数の数え方、年齢のたずねかたと答え方、大学の紹介、家族についての聞き方と答え方)ができるような基礎力を養う。 授業方法(学習指導法):発音と4つの声調を重点に練習する。またテキスト第1課から第4課までの本文、文法の説明を行い、繰り返し「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」などを練習する。 到達目標:中国語の正しい発音を身に付け、漢字(中国語の簡体字)の書き方に慣れると同時にその単語をしっかりと覚えることができる。初歩的な中国語文法を習得する。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 最初の5回の授業で中国語の発音(母音、子音、声調、音節、声調変化)、第6回は簡単な挨拶を習得し、第7回目から単語、文法(“是”構文、疑問詞を使った疑問文、存在を表す動詞“有”“在”、所有を表す動詞“有”)、短文・会話文(自己紹介、家族の紹介、年齢の言い方…)などを勉強する。練習問題にも取り組み、テキストの内容に即して中国文化にも触れる。16回8月4日定期 第1回 4月14日 中国語について 単母音と声調 第2回 4月21日 母音(二重母音、三重母音) 第3回 4月28日 子音 第4回 5月12日 n ngをもつ母音 第5回 5月19日 数字一と第三声の声調変化 第6回 5月26日 発音のまとめと辞書の使い方 簡単な挨拶 第7回 6月2日 第1課 「自己紹介」 第8回 6月9日 人称代詞、名前の尋ね方、答え方 “是”構文 第9回 6月16日 第2課 「私は大学生です」 第10回 6月23日 疑問詞を使った疑問文 副詞“也”“都” 助詞“的”の用法 名詞述語文 第11回 6月30日 第3課 「私たちの学校」 第12回 7月7日 指示代詞 存在を表す動詞“有”“在” 方位詞 第13回 7月14日 第4課 「私の家族」 第14回 7月21日 所有を表す動詞“有”、家族や年齢の尋ねかた “量詞” “的”の省略 第15回 7月28日 存現文 総合復習(第1課～第4課)			
キーワード	発音 会話 文法 練習問題		
教科書・教材・参考書	テキスト: 『実用中国語10課』(白帝社) 中国語辞書(出版社指定なし) あるいは中国語電子辞書		
成績評価の方法・基準等	授業への参加・態度20% 宿題、個人発表など20% 定期口頭・筆記試験60%。		
受講要件(履修条件)	出席を重視し且つ授業中積極的に会話練習に参加すること。教科書、筆記用具、辞書必携。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	日本中国語検定協会試験準4級合格を目指す。		
備考(準備学習等)	予習、復習が必要。CDを聞き本文・会話文を暗記すること。宿題を完成すること。		

2010年度 前期	曜日・校時 水2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590041013 授業科目/(英語名)	●中国語 I (F一) Chinese I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) F一	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 陳 振華 / chzh@hot.com / 非常勤講師控室 / / 火曜日 16:00～17:00			
担当教員	陳 振華		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b>			
<p><b>ねらい:</b> 中国語の正確な発音をマスターし、中国語の基本文法と基本文型を学んで、簡単な中国語会話や中国語作文などを身に付ける。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b> 講義形式を基本としながら個別の発音練習に力を入れる。学生も自主的に中国語の発音をしなければなりません、学生と先生はお互いに発音、会話をする必要があります。従いまして、最初の三週間は主に中国語の発音を集中的に学び、発音の学習は先生の発音又はCDの発音を真似するので、授業中に学生は大きな声で真似しなければならない、また中国語の音声をしっかり覚えるために、授業中に学生に繰り返して発音させる以外に、学生も学校以外の時間で発音を復習しなければならない。テキストには新出単語と補充単語が多くて、授業の前に予習、暗記しなければ、授業は進められないので、ちゃんと予習してください。授業では本文の朗読、暗誦をさせ、リスニングもしなければなりません。挨拶、自己紹介、簡単な物説明、存在、所在、時間など中国語で表現できるようにする。また中国語の学習の成果を固める為に、宿題もしてもらう。</p> <p><b>到達目標:</b> 中国語の発音には声母(子音)、韻母(母音)、声調という三つの部分になっています、学生諸君は先ず声母と韻母の発音を正しくできるばかりではなく、また声母の有音気音と無音気音を区別できるし、韻母の前鼻韻母と後鼻韻母を区別できる。その上、中国語の発音声調を身に付けて、中国語の発音「ピンイン」を自主的に正しく発音できるようにする。中国語を朗読する場合、中国語の声調を全部正確に発音できる。以上は発音段階の授業の目標です。音声面が完成すると、我々は中国語文、中国語簡単な文法の勉強に入ります。指示代名詞、人称代名詞、年月</p>			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>			
第16回 8月4日 定期試験			
第1回 4月14日 発音 一. 単母音 二. 声調 三. 子音			
第2回 4月21日 発音 四. 複合母音 五. 鼻母音			
第3回 4月28日 五. 鼻母音の復習 六. 特殊母音 七. 声調の変化			
第4回 5月12日 八. アル化音 九. 隔音符号 常用量詞表 中国通貨			
第5回 5月19日 第1課 我是留学生 1. 指示代詞 2. 人称代詞 3. 形容詞述語文 4. 主述述語文 5. “是”構文 6. “的”の用法(1)			
第6回 5月26日 第1課 我是留学生 本文の説明、本文の暗誦、会話の実践、トレーニング1、リスニング2			
第7回 6月2日 第2課 我们去阿苏山吧 1. 動詞述語文 2. “的”の用法(2) 3. 年月日、曜日、時間			
第8回 6月9日 第2課 我们去阿苏山吧 本文の説明、本文の暗誦、会話の実践、トレーニング1、リスニング2			
第9回 6月16日 第3課 你家在哪里 1. 方位詞 2. 存在の表現“在” 3. 所有と存在の表現“有”			
第10回 6月23日 第3課 你家在哪里 本文の説明、本文の暗誦、会話の実践、トレーニング1、リスニング2			
第11回 6月30日 第4課 我们去看电影吧 1. “了”の用法 2. 二重目的語 3. 連動文 4. “的”の用法(三)			
第12回 7月7日 第4課 我们去看电影吧 本文の説明、本文の暗誦、会話の実践、トレーニング1、リスニング2			
第13回 7月14日 第5課 门开着呢 1. “是～的”構文 2. 動作の進行 3. 動作・状態の持続			
第14回 7月21日 第5課 门开着呢 本文の説明、本文の暗誦、会話の実践、トレーニング1、リスニング2			
第15回 7月28日 復習			
<b>キーワード</b>			
<b>教科書・教材・参考書</b>	石川泰成 王曉芳 金繩初美など 著 『五星漢語』(会話編) 中国書店(福岡)		
<b>成績評価の方法・基準等</b>	授業への参加状況と平素の学習態度および出席 20%、宿題と小テスト 20%、定期試験 60%		
<b>受講要件(履修条件)</b>	履修上の注意: 単位を取得するのは定期試験、宿題と小テストの成績の次第だけではない、出席も見るので、無断欠席しないでください。		
<b>本科目の位置づけ/学習・教育目標</b>			
<b>備考(準備学習等)</b>			

2010年度 前期	曜日・校時 水2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590041012 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅰ (T三) Chinese I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 103	
対象学生(クラス等) 中国語Ⅰ (T三)	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 趙 紅林 / honglin1-4@docomo.ne.jp / 非常勤講師室 / 050-6621-0781 / 授業前後			
担当教員	趙 紅林		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 本講義は中国語の発音を身につけて、漢字、語句、本文の「翻訳」「聞く」「読む」「話す」「書く」「文を造る」と中国語会話ができるような基礎力を習得する。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 発音練習、本文、文法の説明、文の作り、「翻訳」、「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」、ペアで会話などの練習をする。 <b>到達目標:</b> 中国語の発音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにすること、中国語の音声表記ともっとも基本となる構文を身につけること。日常的な会話表現ができるようになること。 中国語検定試験の準四級資格を取得できると目標にすること。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> <b>授業内容(概要)</b> 内容：最初の4回の授業で中国語漢字の発音(母音、子音、声調、音節など)を習いとテスト、第5回目から単語、文法、会話などを勉強し、練習問題、発表などをする。中国語文法の説明では、中国語文法の特徴、日本語文法と対照しながら説明し、文型の練習などをする。自己紹介の仕方、家族の紹介、年齢の言い方、などを教える。(授業中に教える教科書以外の単語なども内容の一部になるので筆記用具を用意すること) (16回8月4日試験日) 第1回 2010/4/14 中国語についてのいろいろ、第1課表音ローマ字(ピンイン) 第2回 2010/4/21 母音と声調 第3回 2010/4/28 子音 声調の変化など 第4回 2010/5/12 中国語の発音まとめ小テストと第2課の単語 第5回 2010/5/19 第2課の読みと文法の説明(人称代名詞、名前の聞き方、判断文、疑問文など) 第6回 2010/5/26 本文の訳、会話の練習などと第3課の単語 第7回 2010/6/2 第3課の読み練習と文法の説明(動詞述語文、所有を表す“有”、と副詞) 第8回 2010/6/9 本文の訳、会話の練習など(次の発表についての内容と説明) 第9回 2010/6/16 第2、3課のまとめ個人の発表 第10回 2010/6/23 第4課の単語読み練習と文法の説明(家族について、年齢、数の数えと形容詞述語文) 第11回 2010/6/30 本文の訳、会話の練習などと第5課の単語 第12回 2010/7/7 第5課の単語読み練習と文法の説明(指示代名詞、“在”について、反復疑問文と“的”など) 第13回 2010/7/14 本文の訳、会話の練習などと第6課の単語 第14回 2010/7/21 第6課の単語読み練習と文法の説明(年、月、日、曜日 時間の言い方、“是”の省略、動詞の重ね型) 第15回 2010/7/28 本文の訳、会話の練習などと期末試験について。			
キーワード	発音 会話 文法 練習問題		
教科書・教材・参考書	テキスト：『簡明基礎中国語』 高山 乾忠 著 (白帝社) 中国語辞書あるいは中国語電子辞書 (出版社指定なし)		
成績評価の方法・基準等	授業参加、授業時の姿勢、勉強の態度20点(三分の二出席不足すると試験を受けられない、無断欠席1回3点マイナス)、期間小テスト、個人発表など30点、最後のまとめ筆記テストあるいは発表50点。(中国語検定試験、中国語コンクールに参加した人には5-10点プラスして評価する)		
受講要件(履修条件)	出席重視、教科書、筆記用具、辞書必携で真面目に受講すること		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	前期に習ったもの80%身につけること。		
備考(準備学習等)	予習、復習が必要、授業積極的に質問に答え、練習すること。 習った単語を覚え、宿題を完成すること。		

2010年度 前期	曜日・校時 水3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590041016 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅰ (T二) Chinese I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 103	
対象学生(クラス等) 中国語Ⅰ (T二)	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 趙 紅林 / honglin1-4@docomo.ne.jp / 非常勤講師室 / 050-6621-0781 / 授業前後			
担当教員	趙 紅林		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 本講義は中国語の発音を身につけて、漢字、語句、本文の「翻訳」「聞く」「読む」「話す」「書く」「文を造る」と中国語会話ができるような基礎力を習得する。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 発音練習、本文、文法の説明、文の作り、「翻訳」、「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」、ペアで会話などの練習をする。 <b>到達目標:</b> 中国語の発音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにすること、中国語の音声表記ともっとも基本となる構文を身につけること。日常的な会話表現ができるようになること。中国語検定試験の準四級資格を取得できると目標にする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> <b>授業内容(概要)</b> 内容：最初の4回の授業で中国語漢字の発音(母音、子音、声調、音節など)を習いとテスト、第5回目から単語、文法、会話などを勉強し、練習問題、発表などをする。中国語文法の説明では、中国語文法の特徴、日本語文法と対照しながら説明し、文型の練習などをする。自己紹介の仕方、家族の紹介、年齢の言い方、などを教える。(授業中に教える教科書以外の単語なども内容の一部になるので筆記用具を用意すること) (16回8月4日試験日) 第1回 2010/4/14 中国語についてのいろいろ、第1課表音ローマ字(ピンイン) 第2回 2010/4/21 母音と声調 第3回 2010/4/28 子音 声調の変化など 第4回 2010/5/12 中国語の発音まとめ小テストと第2課の単語 第5回 2010/5/19 第2課の読みと文法の説明(人称代名詞、名前の聞き方、判断文、疑問文など) 第6回 2010/5/26 本文の訳、会話の練習などと第3課の単語 第7回 2010/6/2 第3課の読み練習と文法の説明(動詞述語文、所有を表す“有”、と副詞) 第8回 2010/6/9 本文の訳、会話の練習など(次の発表についての内容と説明) 第9回 2010/6/16 第2、3、課のまとめ個人の発表 第10回 2010/6/23 第4課の単語読み練習と文法の説明(家族について、年齢、数の数えと形容詞述語文) 第11回 2010/6/30 本文の訳、会話の練習などと第5課の単語 第12回 2010/7/7 第5課の単語読み練習と文法の説明(指示代名詞、“在”について、反復疑問文と“的”など) 第13回 2010/7/14 本文の訳、会話の練習などと第6課の単語 第14回 2010/7/21 第6課の単語読み練習と文法の説明(年、月、日、曜日 時間の言い方、“是”の省略、動詞の重ね型) 第15回 2010/7/28 本文の訳、会話の練習などと期末試験について。			
キーワード	発音 会話 文法 練習問題		
教科書・教材・参考書	テキスト：『簡明基礎中国語』 高山 乾忠 著 (白帝社) 中国語辞書あるいは中国語電子辞書 (出版社指定なし)		
成績評価の方法・基準等	授業参加、授業時の姿勢、勉強の態度20点(三分の二出席不足すると試験を受けられない、無断欠席1回3点マイナス)、期間小テスト、個人発表など30点、最後のまとめ筆記テストあるいは発表50点。(中国語検定試験、中国語コンクールに参加した人には5-10点プラスして評価する)		
受講要件(履修条件)	出席重視、教科書、筆記用具、辞書必携で真面目に受講すること		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	前期に習ったもの80%身につけること。		
備考(準備学習等)	予習、復習が必要、授業積極的に質問に答え、練習すること。 習った単語を覚え、宿題を完成すること。		

2010年度 前期	曜日・校時 水3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590041015 授業科目/(英語名)	●中国語 I (D16～17) Chinese I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) D16～17	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 高 季文 / jgypk388@ybb.ne.jp / 非常勤講師室 / 095-843-3675 / 木曜日 14:30-15:50			
担当教員	高 季文		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 1, 中国語の発音と基本文法を一通り終えたうえ、より実用的な会話を身につける授業を目指す。2, 日常生活状況を中国語で表現できるようにする。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 基本文型を取り上げて、そして会話の場面を設定し、そのまま会話で使える表現力を学習によって着実につけようとするのであります。 <b>到達目標:</b> 改革開放後の中国における衣食住など人々の日常生活様子を会話の学習に通じて、中国の最新情報を理解する。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 16回目 定期考査 第1回 第六課 興趣 第2回 結果補語 二重目的語文 第3回 第七課 読書 第4回 可能補語 接続語 「不但 A 而且 B」 第5回 復習③ 第6回 テスト 第7回 第八課 過年 第8回 兼語文 「請」使役の表現 第9回 第九課 网上聊天 第10回 「把」構文 助動詞「应该」 第11回 補語まとめ 第12回 第十課 短期留学 第13回 副詞「一边 A 一边」 疑問詞+都/也 第14回 復習④ 第15回 まとめ 16回目 定期考査			
キーワード			
教科書・教材・参考書	『実用中国語10課 2』(劉愛莉等、白帝社)		
成績評価の方法・基準等	1,課題(宿題) 4%×5回=20% 2, 定期試験 60% 3, 出席20%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	中国語による簡単な日常会話を話せるようにする。現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
備考(準備学習等)	現在中国の社会状況		

2010年度 前期	曜日・校時 木1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590041017 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅰ (T四) Chinese I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) T四	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 周 国強 / zgg@sun.ac.jp / 非常勤講師控室 / 095-813-5158 / 授業の前後			
担当教員	周 国強		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p><b>ねらい:</b>発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。</p> <p>発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>1.内容は基本的にテキストにそって進める。</p> <p>2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <p>3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。</p> <p><b>到達目標:</b>1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ペンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。			
第16回 試験			
第1回	第1回	第1課 発音1 子音(1)唇音・舌尖音 / 四声 / 単母音 / 特殊母音 er / アル化 / 簡単な挨拶(1)	
第2回	第2回	第2課 発音2 子音(2)舌根音・舌面音 / 複合母音(1) / 軽声 / 簡単な挨拶(2)	
第3回	第3回	第3課 発音3 子音(3)捲舌音・舌歯音 / 複合母音(2) / 三声の変調 / 一・不の変調 / 簡単な挨拶(3)	
第4回	第4回	発音のまとめ 小テスト	
第5回	第5回	第4課『こんにちは』 文法: 姓の呼び方 / 人称代名詞 / 中国人の姓名	
第6回	第6回	第5課『あなたは先生ですか』 文法: 判断文の肯定・否定・疑問 / 指示代名詞	
第7回	第7回	第6課『中国語は難しいですか』 文法: 形容詞述語文 / 「呢」 / 時の表現	
第8回	第8回	第7課『あなたの友だちは来ますか』 文法: 動詞述語文 / 語気助詞「了」① / 場所代名詞	
第9回	第9回	第4課から第7課までのまとめ 小テスト	
第10回	第10回	第8課『書棚には何がありますか』 文法: 「在」と「有」 / 「是～的」 / 常用量詞	
第11回	第11回	第9課『自動車の運転ができますか』 文法: 「会・能・可以」 / 語気助詞「了」② / 「就」 / 疑問代詞	
第12回	第12回	第10課『どこに行ったのですか』 文法: 時態助詞「了」と語気助詞「了」 / 「一点儿」と「有 点儿」	
第13回	第13回	第11課『もうすぐ雨が降ってきます』 文法: 存現文 / 「跟」 / 「快要」	
第14回	第14回	第8課から第11課までのまとめ 小テスト	
第15回	第15回	総合復習	
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキスト: 黒坂満輝・村上公一・楊曉安『コミュニケーション中国語Ⅰ』(同学社) 辞書: 上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)		
成績評価の方法・基準等	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590041018 授業科目/(英語名)	●中国語 I (T一) Chinese I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) T一	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 秦 耕司 / / 非常勤講師控室 / 0956-47-6673 / 教室在室時			
担当教員	秦 耕司		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 中国語の基礎力(基礎学力と基礎技術力)を習得します。 ・発音、文法、日本語訳、中国語訳、音読、聴く力等、全般にわたって中国語の基礎力を身に付けます。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 教科書には予習欄がありますので、予習を前提として授業を進めます。 ・発音練習と文法説明の後、学生に日本語訳をしてもらい、補足説明の後、徹底した音読練習をします。 ・聴き取りの小テストを随時行います。 <b>到達目標:</b> 基本的な文法知識と全般的な基礎技術力の習得を目指します。 ・ピンインを見て正しく発音できるようにする。 ・学習した文法事項を用いて中国語訳ができるようにする。 ・ピンインのない中国文がしっかりした発音で音読できるようにする。 ・学習した中国文の聴き取りができるようにする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 文法説明と音読練習を中心とした授業で、日本語訳と練習問題は学生にしてもらいます。漢字と発音が直接結びつくようにピンインのない中国文での音読練習に力を入れ、正確な発音を確実に身に付けるようにします。 授業内容(週毎) 2回半の授業で1課を終了します。予習のポイントで文法の説明をし、本文の日本語訳と音読練習、文法用例の日本語訳の後に文法の補足説明、練習問題の順で進めます。1課終る毎に聴き取りテストをします。 16回目 8月5日 定期試験 第1回 4/15 第1回 発音。単母音、複母音 第2回 4/22 第2回 発音。nとngの母音 第3回 5/6 第3回 発音。子音 第4回 5/13 第4回 発音。声調、声調変化、r化音 第5回 5/20 第5回 第1課 文法：動詞述語文、動詞の否定、諾否疑問文、承前疑問文、“了”(1)。 本文 第6回 5/27 第6回 第1課 文法用例、練習問題 第7回 6/3 第7回 第1課 練習問題 聴き取り 第2課 文法：目的語、“了”(2)、特定疑問文、助動詞“想”、“吧” 第8回 6/10 第8回 第2課 本文 文法用例 第9回 6/17 第9回 第2課 練習問題、聴き取り 第10回 6/24 第10回 第3課 文法：名詞+名詞、什麼+名詞、連動文(1)、主語(1)。本文 第11回 7/1 第11回 第3課 文法用例、練習問題 第12回 7/8 第12回 第3課 練習問題、聴き取り 第4課 文法：助詞“的”(1)、判断文、量詞(1)、形容詞述語文、“怎麼樣” 第13回 7/15 第13回 第4課 本文、文法用例、練習問題 第14回 7/22 第14回 第4課 練習問題、聴き取り 第15回 7/29 第15回 授業の総括			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	『総合中国語基礎』 秦 耕司 著 『総合中国語基礎 練習問題集』 (自習用) 重要：『練習問題集』でしっかり反訳練習をして下さい。		
成績評価の方法・基準等	定期試験(100%) 注：授業では十分時間をかけて音読練習や聴き取りをし、試験ではそれを反映した問題を出題するので、欠席をすると自然に合格することが難しくなります。		
受講要件(履修条件)	予習 1回目予習：「予習のポイント」を参照しながら、本文の日本語訳と発音練習をしておいて下さい。 2回目予習：文法用例の日本語訳と「作業」をしておいて下さい。 毎回授業の初めに出席をとります。出席は1回しかとりません。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590041020 授業科目/(英語名)	●中国語 I (K25) Chinese I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) K25	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 高 季文 / jgypk388@ybb.ne.jp / 非常勤講師室 / 095-843-3675 / 木曜日 14:30-15:50			
担当教員	高 季文		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 1, 中国語の発音と基本文法を一通り終えたうえ、より実用的な会話を身につける授業を目指す。2, 日常生活状況を中国語で表現できるようにする。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 基本文型を取り上げて、そして会話の場面を設定し、そのまま会話で使える表現力を学習によって着実につけようとするのであります。 <b>到達目標:</b> 改革開放後の中国における衣食住など人々の日常生活様子を会話の学習に通じて、中国の最新情報を理解する。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 16回目 定期考査 第1回 第六課 興趣 第2回 結果補語 二重目的語文 第3回 第七課 読書 第4回 可能補語 接続語 「不但 A 而且 B」 第5回 復習③ 第6回 テスト 第7回 第八課 過年 第8回 兼語文 「請」使役の表現 第9回 第九課 网上聊天 第10回 「把」構文 助動詞「应该」 第11回 補語まとめ 第12回 第十課 短期留学 第13回 副詞「一边 A 一边」 疑問詞+都/也 第14回 復習④ 第15回 まとめ 16回目 定期考査			
キーワード			
教科書・教材・参考書	『実用中国語10課 2』(劉愛莉等、白帝社)		
成績評価の方法・基準等	1,課題(宿題) 4%×5回=20% 2, 定期試験 60% 3, 出席20%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	中国語による簡単な日常会話を話せるようにする。現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
備考(準備学習等)	現在中国の社会状況		

2010年度 前期	曜日・校時 木3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590041019 授業科目/(英語名)	●中国語 I (K26) Chinese I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) K26	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 秦 耕司 / / 非常勤講師控室 / 0956-47-6673 / 教室在室時			
担当教員	秦 耕司		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 中国語の基礎力(基礎学力と基礎技術力)を習得します。 ・発音、文法、日本語訳、中国語訳、音読、聴く力等、全般にわたって中国語の基礎力を身に付けます。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 教科書には予習欄がありますので、予習を前提として授業を進めます。 ・発音練習と文法説明の後、学生に日本語訳をしてもらい、補足説明の後、徹底した音読練習をします。 ・聴き取りの小テストを随時行います。 <b>到達目標:</b> 基本的な文法知識と全般的な基礎技術力の習得を目指します。 ・ピンインを見て正しく発音できるようにする。 ・学習した文法事項を用いて中国語訳ができるようにする。 ・ピンインのない中国文がしっかりした発音で音読できるようにする。 ・学習した中国文の聴き取りができるようにする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 文法説明と音読練習を中心とした授業で、日本語訳と練習問題は学生にしてもらいます。漢字と発音が直接結びつくようにピンインのない中国文での音読練習に力を入れ、正確な発音を確実に身に付けるようにします。 授業内容(週毎) 2回半の授業で1課を終了します。予習のポイントで文法の説明をし、本文の日本語訳と音読練習、文法用例の日本語訳の後に文法の補足説明、練習問題の順に進めます。1課終る毎に聴き取りテストをします。 16回目 8月5日 定期試験 第1回 4/15 第1回 発音。単母音、複母音 第2回 4/22 第2回 発音。nとngの母音 第3回 5/6 第3回 発音。子音 第4回 5/13 第4回 発音。声調、声調変化、r化音 第5回 5/20 第5回 第1課 文法：動詞述語文、動詞の否定、諾否疑問文、承前疑問文、“了”(1)。 本文 第6回 5/27 第6回 第1課 文法用例、練習問題 第7回 6/3 第7回 第1課 練習問題 聴き取り 第2課 文法：目的語、“了”(2)、特定疑問文、助動詞“想”、“吧” 第8回 6/10 第8回 第2課 本文 文法用例 第9回 6/17 第9回 第2課 練習問題、聴き取り 第10回 6/24 第10回 第3課 文法：名詞+名詞、什麼+名詞、連動文(1)、主語(1)。本文 第11回 7/1 第11回 第3課 文法用例、練習問題 第12回 7/8 第12回 第3課 練習問題、聴き取り 第4課 文法：助詞“的”(1)、判断文、量詞(1)、形容詞述語文、“怎麼樣” 第13回 7/15 第13回 第4課 本文、文法用例、練習問題 第14回 7/22 第14回 第4課 練習問題、聴き取り 第15回 7/29 第15回 授業の総括			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	『総合中国語基礎』 秦 耕司 著 『総合中国語基礎 練習問題集』 (自習用) 重要：『練習問題集』でしっかり反訳練習をして下さい。		
成績評価の方法・基準等	定期試験(100%) 注：授業では十分時間をかけて音読練習や聴き取りをし、試験ではそれを反映した問題を出題するので、欠席をすると自然に合格することが難しくなります。		
受講要件(履修条件)	予習 1回目予習：「予習のポイント」を参照しながら、本文の日本語訳と発音練習をしておいて下さい。 2回目予習：文法用例の日本語訳と「作業」をしておいて下さい。 毎回授業の初めに出席をとります。出席は1回しかとりません。		
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590041022 授業科目/(英語名)	●中国語 I (T五) Chinese I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) T五	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 高山 乾忠 / takayama@wesleyan.ac.jp / 非常勤講師控室 / /			
担当教員	高山 乾忠		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 入門段階で必要と思われる中国語のローマ字表記法であるピンインと声調を習得させ、発音の基礎を作り、音節を聞き分け、発音できるようにする。置き換え練習などを通じて、約 300 の単語を習得させ、簡単な会話ができるようにさせる。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 日本語と中国語の発音を比較することによって音の特徴をつかませ、辞書を用いて発音を調べ、読めるようにする。授業の中で集中的に繰り返し発音練習を行い、会話能力を身につけながら単語・文法についての基礎を固める。 <b>到達目標:</b> 中国語のローマ字表記と声調並びに発音の基礎をできるようにし、約 150 の単語を習得させ、簡単な会話ができるようにする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 第 1 回 4月16日 第1課 発音 1. 短聞き取り母音 声調 半三声 無気音と有気音 第 2 回 4月23日 第1課 発音 2. 子音 そり舌音 複母音 声調の変化 軽声 第 3 回 4月30日 第1課 発音 3. 鼻母音 アル化音 声調符号の位置 第 4 回 5月7日 第1課 発音 4. 二音節声調の組合せ 発音の総復習 第 5 回 5月14日 第2課 您是哪国人? (1) 人称代名詞 (2) 名前の聞き方 第 6 回 5月21日 第2課 (3) 判断文 (4) “喝” 疑問文 (5) 疑問詞疑問文 第 7 回 5月28日 第3課 一起去图书馆 (1) 動詞述語文 (2) 所有を表す“有” 第 8 回 6月4日 中間テスト 第 9 回 6月11日 第3課 (3) 副詞“都”“还”“再” 第 10 回 6月18日 第4課 家人 (1) 家族を聞く (2) 年齢を聞く 第 11 回 6月25日 第4課 (3) 数の数え方 (4) 形容詞述語文 第 12 回 7月2日 第5課 食堂在哪儿? (1) 指示代名詞 (2) 所在を表す“在” 第 13 回 7月9日 第5課 (3) 動作の行われる場所を表す前置詞“在～” 第 14 回 7月16日 第6課 过生日 (1) 年月日、曜日、時間の言い方 第 15 回 7月23日 第6課 (2) 判断を示す動詞“是”の省略 (3) 動詞の重ね ※ 8月6日 定期試験			
キーワード	言語 外国語 中国語 文化		
教科書・教材・参考書	(株) (白帝社)「簡明基礎中国語」、日中・中日辞典／中日電子辞書		
成績評価の方法・基準等	全体が 100%。授業への積極的な参加状況、平素の学習意欲や態度など 20%、中間テスト 10%、定期試験 70%。		
受講要件(履修条件)	原則として全回講義の出席を条件とする		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590041021 授業科目/(英語名)	●中国語 I (T六) Chinese I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) T六	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 楊 曉安 / xiaoran@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部新館 1階 / 095-819-2166 (内線 2166) / 火曜日、金曜日 (16:10-18:00)			
担当教員	楊 曉安		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。 授業方法(学習指導法):1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。 到達目標:1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。 16回 8月6日:定期試験 第1回 第1課 発音1 子音(1)唇音・舌尖音 / 四声 / 単母音 / 特殊母音 er / アル化 / 簡単な挨拶(1) 第2回 第2課 発音2 子音(2)舌根音・舌面音 / 複合母音(1) / 軽声 / 簡単な挨拶(2) 第3回 第3課 発音3 子音(3)捲舌音・舌歯音 / 複合母音(2) / 三声の変調 / 一・不の変調 / 簡単な挨拶(3) 第4回 発音のまとめ 小テスト 第5回 第4課『こんにちは』 文法:姓の呼び方 / 人称代名詞 / 中国人の姓名 第6回 第5課『あなたは先生ですか』 文法:判断文の肯定・否定・疑問 / 指示代名詞 第7回 第6課『中国語は難しいですか』 文法:形容詞述語文 / 「呢」 / 時の表現 第8回 第7課『あなたの友だちは来ますか』 文法:動詞述語文 / 語気助詞「了」① / 場所代名詞 第9回 第4課から第7課までのまとめ 小テスト 第10回 第8課『書棚には何がありますか』 文法:「在」と「有」 / 「是～的」 / 常用量詞 第11回 第9課『自動車の運転ができますか』 文法:「会・能・可以」 / 語気助詞「了」② / 「就」 / 疑問代詞 第12回 第10課『どこに行ったのですか』 文法:時態助詞「了」と語気助詞「了」 / 「一点儿」と「有点儿」 第13回 第11課『もうすぐ雨が降ってきます』 文法:存現文 / 「跟」 / 「快要」 第14回 第8課から第11課までのまとめ 小テスト 第15回 総合復習			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキスト:黒坂満輝・村上公一・楊曉安『コミュニケーション中国語I』(同学社) 辞書:上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)		
成績評価の方法・基準等	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 月1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590043002 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅱ (E8) Chinese II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) E8	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 高 芳 / g_fangyuan@yahoo.co.jp / 非常勤講師室 / 090-6264-6497 / 非常勤講師室にて随時・要確認			
担当教員	高 芳		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b>			
<p><b>ねらい:</b>本講では学習者が実際に中国語を使ってコミュニケーションできるようになるために現実の具体的場面と関連させながら「聞く、話す、読む、書く」の四つの技能を総合的にしていくことをめざしています。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>発言や質問が活発になるように、自由でオープンな雰囲気を作る。学生が発話する機会をできるだけ多く設ける。ペアワークやグループワークを活用する。また、クラス全体の活動も学生の発表の場とする。中国語のインプットを増やす工夫(教師自らでできるだけ中国語を使うよう心がける、内容に関連する小道具、音声資料の利用など)をする。</p> <p><b>到達目標:</b>日常生活レベルのことを簡単な中国語で「聞く、話す、読む、書く」できるようになる。</p>			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>			
概要: 基本的な文法、買い物、注文、家庭訪問、道を尋ねる、計画など日常の身近なテーマや場面での表現などを習得する。			
16回 2月14日: 定期試験			
第1回 第7課『買い物』(1) 会話: ①リンゴは500グラムいくらですか ②映画のチケットを一枚ください 文法: 可能、許可の表現 量詞3 中国事情: 自由市場			
第2回 確認小テスト 第7課『買い物』(2) 会話: ③電気店街はどこですか ④このチャイナ・ドレスは本当にきれいですね 文法: 「少し、ちょっと」の表現 ヒヤリング: 「これはいかがですか」			
第3回 確認小テスト 第8課『レストラン』(1) 会話: ①どうぞこちらに座ってください ②ビールを一本ください 文法: 量詞4 中国事情: 中国人の金銭意識			
第4回 確認小テスト第8課『レストラン』(2) 会話: ③温かいのにしますかそれとも冷たいのにしますか ④今日は私がお馳走します 文法: 選択疑問文 ヒヤリング: 「たくさん飲んでください」			
第5回 確認小テスト 第9課『パーティ』(1) 会話: ①ここに座ってもいいですか ②皆さんの勉学の前進をお祈り致します 文法: 能力、可能の表現 中国事情: 中国のお酒			
第6回 確認小テスト第9課『パーティ』(2) 会話: ③私は飲みません ④暇があったら遊びに来てください 文法: 助詞 ヒヤリング: 「すみません、失礼しました」			
第7回 中間口頭試験及び中国語スピーチ、中間筆記試験			
第8回 第10課『訪問』(1) 会話: ①ずっとあなたを待っていました ②お茶をどうぞ 文法: 進行と持続の表現 中国事情: 礼儀作法1			
第9回 確認小テスト 第10課『訪問』(2) 会話: ③おばさんが作ったのですか ④もう帰らなければなりません 文法: 数量補語 ヒヤリング 「ダイエット中ですか」			
第10回 確認小テスト 第11課『道を尋ねる』(1) 会話: ①お宅から駅までどのくらいですか ②もし雨が降ったら地下鉄に乗ります 文法: 前置詞 中国事情: 礼儀作法2			
第11回 確認小テスト 第11課『道を尋ねる』(2) 会話: ③曲がるとすぐです ④タクシー乗り場はどこですか 文法: 動詞、前置詞、副詞としての「在」 ヒヤリング: 「大変ですね」			
第12回 確認小テスト 第12課『年越し』(1) 会話: ①もうすぐ新年です ②冬休みはいつですか 文法: 色々な前置詞 中国事情: 「旧正月」			
第13回 確認小テスト 第12課『年越し』(2) 会話: ③元旦に日本に帰れなくなりました ④中国人はどのようにお正月を迎えますか ヒヤリング: 「旧正月は日本に帰りますか」			
第14回 期末口頭試験及び中国語スピーチ			
第15回 全授業の総括			
<b>キーワード</b>			
<b>教科書・教材・参考書</b>	テキスト: 山本範子・高芳『場面で学ぶ中国語1』(三修社) 辞書: 上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)		
<b>成績評価の方法・基準等</b>	筆記試験(50%)、小テスト・課題(30%)、口頭試験(20%)などを総合して評価する。		
<b>受講要件(履修条件)</b>	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
<b>本科目の位置づけ/学習・教育目標</b>			
<b>備考(準備学習等)</b>			

2010年度 後期	曜日・校時 月1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590043001 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅱ (E9) Chinese II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) E9	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 池 玉杰 / chi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp / 非常勤講師控室 / 840-2000 / 授業の前後、講義室にて			
担当教員	池 玉杰		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 聞く、話す、書く、読むの4つの要素を繰り返し訓練します。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 単語の書き取り、会話の暗記、短文の作成、文の朗読、先生の質問に対して中国語で答え、あるいは3人または4人で1つのグループで模擬会話を行うなどの方法を授業の中に取り組み。 <b>到達目標:</b> 一般的な日常コミュニケーションができる中国語レベルを目標とする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 主に発音を学習し、動詞述語文、疑問詞疑問文、年、月、日、曜日、時間の言い方、前置詞の“从”，“到”、助数詞、助動詞“会、能”などの中国文化、比較的にレベルアップした会話を講習する。  第16回 2月14日 期末試験(筆記) 第1回 10月4日 第1課 DVDはいくらですか?(上) 第2回 10月18日 第1課 DVDはいくらですか?(下) 第3回 10月25日 第2課 昨日は何を買いましたか?(上) 第4回 11月1日 第2課 昨日は何を買いましたか?(下) 第5回 11月8日 第3課 昨日は何月何日何曜日ですか?(上) 第6回 11月15日 第3課 昨日は何月何日何曜日ですか?(下) 第7回 11月22日 第4課 列車の切符はもう予約しましたか?(上) 第8回 11月29日 第4課 列車の切符はもう予約しましたか?(下) 第9回 12月6日 第5課 貴方は西安に来たことがありますか?(上) 第10回 12月13日 第5課 貴方は西安に来たことがありますか?(下) 第11回 12月20日 第6課 楽しく遊べましたか?(上) 第12回 1月17日 第6課 楽しく遊べましたか?(下) 第13回 1月24日 第7課 また中国に来てください。 第14回 1月31日 第7課 また中国に来てください。 第15回 2月7日 口頭発表			
キーワード			
教科書・教材・参考書	* <ベーシック中国語> 作者;張/重松/杜 出版社;郁文堂 * 日中、中日辞典		
成績評価の方法・基準等	期末試験50、口頭発表20、授業への積極的な取組状況10、学習態度10、宿題10		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	期末試験50、口頭発表20、授業での積極的な態度10、学習態度10、宿題10		
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 月3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590043004 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅱ (La～b) Chinese II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) La～b	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 高 芳 / g_fangyuan@yahoo.co.jp / 非常勤講師室 / 090-6264-6497 / 非常勤講師室にて随時・要確認			
担当教員	高 芳		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b>			
<p><b>ねらい:</b>本講では学習者が実際に中国語を使ってコミュニケーションができるようになるために現実の具体的場面と関連させながら「聞く、話す、読む、書く」の四つの技能を総合的にしていくことをめざしています。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>発言や質問が活発になるように、自由でオープンな雰囲気を作る。学生が発話する機会をできるだけ多く設ける。ペアワークやグループワークを活用する。また、クラス全体の活動も学生の発表の場とする。中国語のインプットを増やす工夫(教師自らできるだけ中国語を使うよう心がける、内容に関連する小道具、音声資料の利用など)をする。</p> <p><b>到達目標:</b>日常生活レベルのことを簡単な中国語で「聞く、話す、読む、書く」できるようになる。</p>			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>			
概要: 基本的な文法、買い物、注文、家庭訪問、道を尋ねる、計画など日常の身近なテーマや場面での表現などを習得する。			
16回 2月14日: 定期試験			
第1回 第7課『買い物』(1)会話: ①リンゴは500グラムいくらですか ②映画のチケットを一枚ください 文法: 可能、許可の表現 量詞3 中国事情: 自由市場			
第2回 確認小テスト 第7課『買い物』(2)会話: ③電気店街はどこですか ④このチャイナ・ドレスは本当にきれいですね 文法: 「少し、ちょっと」の表現 ヒヤリング: 「これはいかがですか」			
第3回 確認小テスト 第8課『レストラン』(1) 会話: ①どうぞこちらに座ってください ②ビールを一本ください 文法: 量詞4 中国事情: 中国人の金銭意識			
第4回 確認小テスト第8課『レストラン』(2) 会話: ③温かいのにしますかそれとも冷たいのにしますか ④今日は私がご馳走します 文法: 選択疑問文 ヒヤリング: 「たくさん飲んでください」			
第5回 確認小テスト 第9課『パーティ』(1) 会話: ①ここに座ってもいいですか ②皆さんの勉学の前進をお祈り致します 文法: 能力、可能の表現 中国事情: 中国のお酒			
第6回 確認小テスト第9課『パーティ』(2) 会話: ③私は飲みません ④暇があったら遊びに来てください 文法: 助詞 ヒヤリング: 「すみません、失礼しました」			
第7回 中間口頭試験及び中国語スピーチ、中間筆記試験			
第8回 第10課『訪問』(1) 会話: ①ずっとあなたを待っていました ②お茶をどうぞ 文法: 進行と持続の表現 中国事情: 礼儀作法1			
第9回 確認小テスト 第10課『訪問』(2) 会話: ③おばさんが作ったのですか ④もう帰らなければなりません 文法: 数量補語 ヒヤリング 「ダイエット中ですか」			
第10回 確認小テスト 第11課『道を尋ねる』(1) 会話: ①お宅から駅までどのくらいですか ②もし雨が降ったら地下鉄に乗ります 文法: 前置詞 中国事情: 礼儀作法2			
第11回 確認小テスト 第11課『道を尋ねる』(2) 会話: ③曲がるとすぐです ④タクシー乗り場はどこですか 文法: 動詞、前置詞、副詞としての「在」 ヒヤリング: 「大変ですね」			
第12回 確認小テスト 第12課『年越し』(1) 会話: ①もうすぐ新年です ②冬休みはいつですか 文法: 色々な前置詞 中国事情: 「旧正月」			
第13回 確認小テスト 第12課『年越し』(2) 会話: ③元旦に日本に帰れなくなってしまいました ④中国人はどのようにお正月を迎えますか ヒヤリング: 「旧正月は日本に帰りますか」			
第14回 期末口頭試験及び中国語スピーチ			
第15回 全授業の総括			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	テキスト: 山本範子・高芳『場面で学ぶ中国語1』(三修社) 辞書: 上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)		
成績評価の方法・基準等	筆記試験(50%)、小テスト・課題(30%)、口頭試験(20%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590043005 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅱ (Lc～d) Chinese II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) 中国語Ⅱ Lc～d	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 趙 紅林 / honglin1-4@docomo.ne.jp / 非常勤講師室 / 050-6621-0781 / 授業前後			
担当教員	趙 紅林		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい:本講義は中国語の発音を身につけて、漢字、語句、本文の「翻訳」「聞く」「読む」「話す」「書く」「文を造る」と中国語会話ができるような基礎力を習得する。</p> <p>授業方法(学習指導法):発音練習、本文、文法の説明、文の作り、「翻訳」、「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」、ペアで会話などの練習をする。</p> <p>到達目標:中国語の発音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにすること、中国語の音声表記ともっとも基本となる構文を身につけること。日常的な会話表現ができるようになること。中国語検定試験の準四級資格を取得できると目標にする。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>授業内容(概要)</p> <p>内容: 前期習ったものを復習しながら、新しい単語、言葉、文法事項などを勉強し、もっと多く日常的な会話表現をマスターする。授業中に触れる中国の現代社会事情、風俗習慣などを随時紹介する。(授業中に教える教科書以外の単語なども内容の一部になるので筆記用具を用意すること)</p> <p>(16回試験日2月8日)</p> <p>第1回 2010/10/5 前期の第6課までの復習などと第7かの単語</p> <p>第2回 2010/10/12 第7課文読み練習と文法の説明(動作進行中の言い方、“快～了、想～、打算～”と助数詞)</p> <p>第3回 2010/10/19 本文の訳、会話の練習などと第8課の単語</p> <p>第4回 2010/10/26 第8課の本文読み練習と文法の説明(時間の長さ、動作の時点、動作の継続時間、“得”を用いる状態補語)</p> <p>第5回 2010/11/2 本文の訳、会話の練習などと第9課の単語</p> <p>第6回 2010/11/9 第9課の本文読み練習と文法の説明(助詞“了”、助動詞“会、能、可以”、中国のお金)</p> <p>第7回 2010/11/16 本文の訳、会話の練習などと次のまとめ内容の説明</p> <p>第8回 2010/11/30 6～9課までのまとめテスト(あるいは個人発表)</p> <p>第9回 2010/12/7 第10課の単語、本文読み練習と文法の説明(過去の経験を表す“过”と“听说”、“喜欢”、“对……感兴趣”)</p> <p>第10回 2010/12/14 本文の訳、会話の練習などと第11課の単語</p> <p>第11回 2010/12/21 第11課の本文読み練習と文法の説明(存在を表す“有”、前置詞の“离”と“从”、“到”)</p> <p>第12回 2010/1/11 本文の訳、会話の練習などと第12課の単語</p> <p>第13回 2010/1/18 第12課の本文読み練習と文法の説明(比較を表す前置詞“比”“是……的”の構文、など)</p> <p>第14回 2010/1/25 本文の訳、会話の練習など次のまとめ内容の説明</p> <p>第15回 2010/2/1 6～12課のまとめ練習と期末試験について</p>			
キーワード	発音 会話 文法 練習問題		
教科書・教材・参考書	テキスト: 『簡明基礎中国語』 高山 乾忠 著 (白帝社) 中国語辞書あるいは中国語電子辞書 (出版社指定なし)		
成績評価の方法・基準等	授業参加、授業時の姿勢、勉強の態度20点(三分の二出席不足すると試験を受けられない、無断欠席1回3点マイナス)、期間小テスト、個人発表など30点、最後のまとめ筆記テストあるいは発表50点。(中国語検定試験、中国語コンクールに参加した人には5-10点プラスして評価する。)		
受講要件(履修条件)	出席重視、教科書、筆記用具、辞書必携で真面目に受講すること		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	習ったもの80%身につけること。		
備考(準備学習等)	予習、復習が必要、授業積極的に質問に答え、練習すること。習った単語を覚え、宿題を完成すること。		

2010年度 後期	曜日・校時 火1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590043003 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅱ (Le～f) Chinese II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) Le～f	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 劉 愛莉 / kym_ar@hotmail.com / 非常勤講師室 / 095-887-3467 / 火曜日12:00～13:00 非常勤講師室・要確認			
担当教員	劉 愛莉		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 中国語の発音を身に付け、簡単な中国語会話(天気・気候について、日付け・曜日・時刻の言い方、一日の紹介、買い物、中国語の学習について、中国旅行)ができるよう基礎力を養う。 授業方法(学習指導法): 本文、会話の発音練習を重点に、また文法の説明を行う。「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」などの練習をする。 到達目標: 中国語の正しい発音を身に付け、漢字の書き方に慣れると同時に単語をしっかりと覚え、初歩的な中国語文法を習得する。中国語検定試験準4級資格取得を目指す。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 単語、文法「名詞述語文、形容詞述語文、動詞述語文、反復疑問文、・・・など」、短文・会話文(天気・気候、日付け・曜日・時刻、私の一日、買い物、・・・)などを勉強する。練習問題にも取り組み、中国の現代社会事情、風俗習慣などを授業中随時紹介する。文法を習得する。16回2月8日定期試験 第1回 10月5日 第5課 「天気」 第2回 10月12日 形容詞述語文 反復疑問文と選択疑問文 省略疑問文 程度副詞 第3回 10月19日 第6課 「何月何日」 第4回 10月26日 年月日、曜日、時刻の言い方 動詞述語文 名詞述語文 第5回 11月2日 第7課 「私の一日」 第6回 11月9日 前置詞 時間を表す文 時間副詞“已经” “常” “马上” 構造助詞“地” “得” 第7回 11月16日 単元復習(第5課～第7課 構造助詞“得”) 第8回 11月30日 中間試験 第9回 12月7日 第8課 「買い物」 第10回 12月14日 “了”について 前置詞 “量詞”(2) 第11回 12月21日 第9課 「中国語を学ぼう」 第12回 1月11日 数量補語(時間の量) 比較の表現 可能を表す助動詞 “会” “能” “可以” 第13回 1月18日 第10課 「旅行」 第14回 1月25日 過去の経験“過” 数量補語(動作の回数) 助動詞 “想” “要” “打算” 連動文 第15回 2月1日 総合復習(第8課～第10課)			
キーワード	発音 会話 文法 練習問題		
教科書・教材・参考書	テキスト: 『実用中国語10課』(白帝社) 中国語辞書(出版社指定なし) あるいは中国語電子辞書		
成績評価の方法・基準等	授業への参加・態度20% 中間試験40% 定期試験40%。		
受講要件(履修条件)	出席を重視し且つ授業中積極的に会話練習に参加すること。教科書、筆記用具、辞書必携。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	日本中国語検定協会試験準4級合格を目指す。		
備考(準備学習等)	予習、復習が必要。CDを聞き本文・会話文を暗記すること。宿題を完成すること。		

2010年度 後期	曜日・校時 火2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590043008 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅱ (E5) Chinese II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) 中国語Ⅱ(E5)	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 趙 紅林 / honglin1-4@docomo.ne.jp / 非常勤講師室 / 050-6621-0781 / 授業前後			
担当教員	趙 紅林		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 本講義は中国語の発音を身につけて、漢字、語句、本文の「翻訳」「聞く」「読む」「話す」「書く」「文を造る」と中国語会話ができるような基礎力を習得する。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 発音練習、本文、文法の説明、文の作り、「翻訳」、「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」、ペアで会話などの練習をする。 <b>到達目標:</b> 中国語の発音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにすること、中国語の音声表記ともっとも基本となる構文を身につけること。日常的な会話表現ができるようになること。中国語検定試験の準四級資格を取得できると目標にする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 授業内容(概要) 内容：前期習ったものを復習しながら、新しい単語、言葉、文法事項などを勉強し、もっと多く日常的な会話表現をマスターする。授業中に触れる中国の現代社会事情、風俗習慣などを随時紹介する。(授業中に教える教科書以外の単語なども内容の一部になるので筆記用具を用意すること) (16回試験日2月8日) 第1回 2010/10/5 前期の第6課までの復習などと第7かの単語 第2回 2010/10/12 第7課文読み練習と文法の説明(動作進行中の言い方、“快～了、想～、打算～”と助数詞) 第3回 2010/10/19 本文の訳、会話の練習などと第8課の単語 第4回 2010/10/26 第8課の本文読み練習と文法の説明(時間の長さ、動作の時点、動作の継続時間、“得”を用いる状態補語) 第5回 2010/11/2 本文の訳、会話の練習などと第9課の単語 第6回 2010/11/9 第9課の本文読み練習と文法の説明(助詞“了”、助動詞“会、能、可以”、中国のお金) 第7回 2010/11/16 本文の訳、会話の練習などと次のまとめ内容の説明 第8回 2010/11/30 6～9課までのまとめテスト(あるいは個人発表) 第9回 2010/12/7 第10課の単語、本文読み練習と文法の説明(過去の経験を表す“过”と“听说”、“喜欢”、“对……感兴趣”) 第10回 2010/12/14 本文の訳、会話の練習などと第11課の単語 第11回 2010/12/21 第11課の本文読み練習と文法の説明(存在を表す“有”、前置詞の“离”と“从”、“到”) 第12回 2010/1/11 本文の訳、会話の練習などと第12課の単語 第13回 2010/1/18 第12課の本文読み練習と文法の説明(比較を表す前置詞“比”、“是……的”の構文、など) 第14回 2010/1/25 本文の訳、会話の練習など次のまとめ内容の説明 第15回 2010/2/1 6～12課のまとめ練習と期末試験について			
キーワード	発音 会話 文法 練習問題		
教科書・教材・参考書	テキスト：『簡明基礎中国語』高山 乾忠 著(白帝社) 中国語辞書あるいは中国語電子辞書(出版社指定なし)		
成績評価の方法・基準等	授業参加、授業時の姿勢、勉強の態度20点(三分の二出席不足すると試験を受けられない、無断欠席1回3点マイナス)、期間小テスト、個人発表など30点、最後のまとめ筆記テストあるいは発表50点。(中国語検定試験、中国語コンクールに参加した人には5-10点プラスして評価する。)		
受講要件(履修条件)	出席重視、教科書、筆記用具、辞書必携で真面目に受講すること		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	習ったもの80%身につけること。		
備考(準備学習等)	予習、復習が必要、授業積極的に質問に答え、練習すること。 習った単語を覚え、宿題を完成すること。		

2010年度 後期	曜日・校時 火2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590043007 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅱ (E6) Chinese II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) E6	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 劉 愛莉 / kym_ar@hotmail.com / 非常勤講師室 / 095-887-3467 / 火曜日12:00～13:00非常勤講師室・要確認			
担当教員	劉 愛莉		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:中国語の発音を身に付け、簡単な中国語会話(天気・気候について、日付け・曜日・時刻の言い方、一日の紹介、買い物、中国語の学習について、中国旅行)ができるよう基礎力を養う。 授業方法(学習指導法):本文、会話の発音練習を重点に、また文法の説明を行う。「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」などの練習をする。 到達目標:中国語の正しい発音を身に付け、漢字の書き方に慣れると同時に単語をしっかり覚え、初歩的な中国語文法を習得する。中国語検定試験準4級資格取得を目指す。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 単語、文法「名詞述語文、形容詞述語文、動詞述語文、反復疑問文、・・・など」、短文・会話文(天気・気候、日付け・曜日・時刻、私の一日、買い物、・・・)などを勉強する。練習問題にも取り組み、中国の現代社会事情、風俗習慣などを授業中随時紹介する。16回2月8日定期試験 第1回 10月5日 第5課 「天気」 第2回 10月12日 形容詞述語文 反復疑問文と選択疑問文 省略疑問文 程度副詞 第3回 10月19日 第6課 「何月何日」 第4回 10月26日 年月日、曜日、時刻の言い方 動詞述語文 名詞述語文 第5回 11月2日 第7課 「私の一日」 第6回 11月9日 前置詞 時間を表す文 時間副詞“已经” “常” “马上” 構造助詞“地” “得” 第7回 11月16日 単元復習(第5課～第7課 構造助詞“得”) 第8回 11月30日 中間試験 第9回 12月7日 第8課 「買い物」 第10回 12月14日 “了”について 前置詞 “量詞”(2) 第11回 12月21日 第9課 「中国語を学ぼう」 第12回 1月11日 数量補語(時間の量) 比較の表現 可能を表す助動詞 “会” “能” “可以” 第13回 1月18日 第10課 「旅行」 第14回 1月25日 過去の経験“過” 数量補語(動作の回数) 助動詞 “想” “要” “打算” 連動文 第15回 2月1日 総合復習(第8課～第10課)			
キーワード	発音 会話 文法 練習問題		
教科書・教材・参考書	テキスト: 『実用中国語10課』(白帝社) 中国語辞書(出版社指定なし) あるいは中国語電子辞書		
成績評価の方法・基準等	授業への参加・態度20% 中間試験40% 定期試験40%。		
受講要件(履修条件)	出席を重視し且つ授業中積極的に会話練習に参加すること。教科書、筆記用具、辞書必携。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	日本中国語検定協会試験準4級合格を目指す。		
備考(準備学習等)	予習、復習が必要。CDを聞き本文・会話文を暗記すること。宿題を完成すること。		

2010年度 後期	曜日・校時 火2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590043006 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅱ (E7) Chinese II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) E7	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 楊 曉安 / xiaolan@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部新館1階 / 095-819-2166 (内線 2166) / 火曜日、金曜日 (16:10-18:00)			
担当教員	楊 曉安		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b>			
<p><b>ねらい:</b>発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。</p> <p><b>到達目標:</b>1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。</p>			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>			
<p>発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらおう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。</p> <p>16回 2月14日：定期試験</p> <p>第1回 第1課『お久しぶりです』 文法：副詞の「好」 / 時態助詞「着」  第2回 第2課『どうして休むのですか』 文法：「聽說」と「聴～説」 / 動詞の重ね型  第3回 第3課『毎日何コマありますか』 文法：「有時」 / 「从～到～」 / 程度副詞  第4回 第1課から第3課までのまとめ 小テスト  第5回 第4課『そばに何がありますか』 文法：方向名詞 / 前置詞「离」 / 前置詞「往」  第6回 第5課『まだ気分がよくありませんか』 文法：比較の表現 / 「再」と「又」  第7回 第6課『彼にビールを買いに行かせる』 文法：使役の表現 / 前置詞「給」  第8回 第7課『ある人が訪ねて来る』 文法：兼語文 / 受け身  第9回 第4課から第7課までのまとめ 小テスト  第10回 第8課『多くのところが分からない』 文法：結果補語 / 選択疑問文  第11回 第9課『聞いて分かりますか』 文法：可能補語 / 動詞句が目的語の文  第12回 第10課『中国語を話すのが流暢になった』 文法：様態補語 / 文が目的語  第13回 第11課『あなたに良い知らせを教えます』 文法：二重目的語 / 「把」構文  第14回 第8課から第11課までのまとめ 小テスト  第15回 総合復習</p>			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	<p>テキスト：黒坂満輝・村上公一・楊曉安『コミュニケーション中国語Ⅱ』(同学社)  辞書：上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)</p>		
成績評価の方法・基準等	<p>期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。</p>		
受講要件(履修条件)	<p>単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。</p>		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 水1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590043011 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅱ (M11～12) Chinese II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 303	
対象学生(クラス等) M11～12	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 劉 愛莉 / kym_ar@hotmail.com / 非常勤講師室 / 095-887-3467 / 水曜日 12:00～13:00 非常勤講師室・要確認			
担当教員	劉 愛莉		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 中国語の発音を身に付け、簡単な中国語会話(天気・気候について、日付け・曜日・時刻の言い方、一日の紹介、買い物、中国語の学習について、中国旅行)ができるよう基礎力を養う。 授業方法(学習指導法): 本文、会話の発音練習を重点に、また文法の説明を行う。「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」などの練習をする。 到達目標: 本文、会話の発音練習を重点に、また文法の説明を行う。「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」などの練習をする。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 単語、文法「名詞述語文、形容詞述語文、動詞述語文、反復疑問文、・・・など」、短文・会話文(天気・気候、日付け・曜日・時刻、私の一日、買い物、・・・)などを勉強する。練習問題にも取り組み、中国の現代社会事情、風俗習慣などを授業中随時紹介する。16回2月9日定期試験 第1回 10月6日 第5課 「天気」 第2回 10月13日 形容詞述語文 反復疑問文と選択疑問文 省略疑問文 程度副詞 第3回 10月20日 第6課 「何月何日」 第4回 10月27日 年月日、曜日、時刻の言い方 動詞述語文 名詞述語文 第5回 11月10日 第7課 「私の一日」 第6回 11月17日 前置詞 時間を表す文 時間副詞 “已经” “常” “马上” 構造助詞 “地” “得” 第7回 11月24日 単元復習(第5課～第7課 構造助詞 “得”) 第8回 12月1日 中間試験 第9回 12月8日 第8課 「買い物」 第10回 12月15日 “了”について 前置詞 “量詞”(2) 第11回 12月22日 第9課 「中国語を学ぼう」 第12回 1月12日 数量補語(時間の量) 比較の表現 可能を表す助動詞 “会” “能” “可以” 第13回 1月19日 第10課 「旅行」 第14回 1月26日 過去の経験 “過” 数量補語(動作の回数) 助動詞 “想” “要” “打算” 連動文 第15回 2月2日 総合復習(第8課～第10課)			
キーワード	発音 会話 文法 練習問題		
教科書・教材・参考書	テキスト: 『実用中国語10課』(白帝社) 中国語辞書(出版社指定なし) あるいは中国語電子辞書		
成績評価の方法・基準等	授業への参加・態度20% 中間試験40% 定期試験40%。		
受講要件(履修条件)	出席を重視し且つ授業中積極的に会話練習に参加すること。教科書、筆記用具、辞書必携。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	日本中国語検定協会試験準4級合格を目指す。		
備考(準備学習等)	予習、復習が必要。CDを聞き本文・会話文を暗記すること。宿題を完成すること。		

2010年度 後期	曜日・校時 水1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590043010 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅱ (M13～15) Chinese II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) M13～15	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 陳 振華 / chzh@hotmai.com / 非常勤講師控室 / / 火曜日 16:00～17:00			
担当教員	陳 振華		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 前置詞を更に勉強し、中国語の基本的な前置詞が全部わかります。基本的な助動詞を学ぶほか、動量、時量、過去の経験などの表現方法も学ばなければなりません。最後、将来の中級中国語を勉強することに繋がるために中国語の補語を少し勉強します。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 講義形式を基本としながら、会話練習に力を入れる。小テスト、学生も自主的に中国語の発音をしなければなりません、学生と先生はお互いに発音、会話をする必要があります。従いまして、学生はテキストには新出単語と補充単語を、授業の前に予習、暗記する上で、授業中の中国語会話を積極的に参加しなければなりません。授業では本文の朗読、暗誦をさせ、リスニングもしなければなりません。買物、料理作り、交通、及び中国語コンテンツ、帰国などの中国語で表現できるように会話の練習を繰り返します。また中国語の学習の成果を固める為に、宿題もしてもらいます。 <b>到達目標:</b> 授業到達目標は次の通りです。 1、各助動詞の意味をちゃんと区別できる上で正確に且つ自然に使えます。 2、中国語によく使われる前置詞や「把」の構文を全部理解できるし、また自由に使えるレベルに達します。 3、中国語の語順をしっかり覚えて、動量、時量、過去の経験の表現などの語順を間違えないように流暢にできます。 4、完全否定と部分否定の区別や表現しかたなどを理解できるし、具体的に応用できます。 5、存現文と因果関係の複文を勉強し、正しく表現できる水準に達します。 6、また結果補語や方向補語を勉強して学生諸君の中			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 第1回～第3回 第6課 我来日本两年了 1. 過去の経験 2. 動量 3. 時量 第4回～第6回 第7課 你会包饺子吗 1. 助動詞(一) 2. 完全否定と部分否定 第7回～第9回 第8課 你是怎么知道的 1. 前置詞 2. 助動詞(二) 第10回～第12回 第9課 已经准备好了 1. 結果補語 2. 存現文 第13回～第15回 第10課 你喜欢喝什么茶 1. 方向補語 2. “把”構文 3. 複文(一) 第1回 10月6日 第6課 我来日本两年了 過去の経験、動量、時量 第2回 10月13日 第6課 我来日本两年了 本文の説明、本文の暗誦、会話の実践 第3回 10月20日 第6課 我来日本两年了 トレーニング1、リスニング2、小テスト 第4回 10月27日 第7課 你会包饺子吗 助動詞(一)、完全否定と部分否定 第5回 11月10日 第7課 你会包饺子吗 本文の説明、本文の暗誦、会話の実践 第6回 11月17日 第7課 你会包饺子吗 トレーニング1、リスニング2、小テスト 第7回 11月24日 第8課 你是怎么知道的 前置詞、助動詞(二) 第8回 12月1日 第8課 你是怎么知道的 本文の説明、本文の暗誦、会話の実践 第9回 12月8日 第8課 你是怎么知道的 トレーニング1、リスニング2、小テスト 第10回 12月15日 第9課 已经准备好了 結果補語、存現文 第11回 12月22日 第9課 已经准备好了 本文の説明、本文の暗誦、会話の実践 第12回 1月12日 第9課 已经准备好了 トレーニング1、リスニング2、小テスト 第13回 1月19日 第10課 你喜欢喝什么茶 方向補語、“把”構文、複文(一) 第14回 1月26日 第10課 你喜欢喝什么茶 本文の説明、本文の暗誦、会話の実践 第15回 2月2日 第10課 你喜欢喝什么茶 トレーニング1、リスニング2、小テスト			
キーワード			
教科書・教材・参考書	石川泰成 王曉芳 金繩初美など 著 『五星漢語』(会話編) 中国書店(福岡)		
成績評価の方法・基準等	授業への参加状況と平素の学習態度および出席 20%、宿題と小テスト 20%、定期試験 60%		
受講要件(履修条件)	履修上の注意: 単位を取得するのは定期試験、宿題と小テストの成績の次第だけではない、出席も見るので、無断欠席しないでください。		
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 水1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590043009 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅱ (E10) Chinese II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) 中国語Ⅱ (E10)	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 趙 紅林 / honglin1-4@docomo.ne.jp / 非常勤講師室 / 050-6621-0781 / 授業前後			
担当教員	趙 紅林		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 本講義は中国語の発音を身につけて、漢字、語句、本文の「翻訳」「聞く」「読む」「話す」「書く」「文を造る」と中国語会話ができるような基礎力を習得する。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 発音練習、本文、文法の説明、文の作り、「翻訳」、「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」、ペアで会話などの練習をする。 <b>到達目標:</b> 中国語の発音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにすること。 中国語の音声表記ともっとも基本となる構文を身につけること。 日常的な会話表現ができるようになること。 中国語検定試験の準四級資格を取得できると目標にする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> <b>授業内容(概要)</b> 内容： 前期習ったものを復習しながら、新しい単語、言葉、文法事項などを勉強し、もっと多く日常的な会話表現をマスターする。授業中に触れる中国の現代社会事情、風俗習慣などを随時紹介する。(授業中に教える教科書以外の単語なども内容の一部になるので筆記用具を用意すること) (16回試験日2月9日) 第1回 2010/10/6 前期の第6課までの復習などと第7課の単語 第2回 2010/10/13 第7課本文読み練習と文法の説明(動作進行中の言い方、“快～了、想～、打算～”と助数詞) 第3回 2010/10/20 本文の訳、会話の練習などと第8課の単語 第4回 2010/10/27 第8課の本文読み練習と文法の説明(時間の長さ、動作の時点、動作の継続時間、“得”を用いる状態補語) 第5回 2010/11/10 本文の訳、会話の練習などと第9課の単語 第6回 2010/11/17 第9課の本文読み練習と文法の説明(助詞“了”、助動詞“会、能、可以”、中国のお金) 第7回 2010/11/24 本文の訳、会話の練習などと次のまとめ内容の説明 第8回 2010/12/1 6～9課までのまとめテスト(あるいは個人発表) 第9回 2010/12/8 第10課の単語、本文読み練習と文法の説明(過去の経験を表す“过”と“听说”、“喜欢”、“对……感兴趣”) 第10回 2010/12/15 本文の訳、会話の練習などと第11課の単語 第11回 2010/12/22 第11課の本文読み練習と文法の説明(存在を表す“有”、前置詞の“离”と“从”、“到”) 第12回 2011/1/12 本文の訳、会話の練習などと第12課の単語 第13回 2011/1/19 第12課の本文読み練習と文法の説明(比較を表す前置詞“比”、“是……的”の構文、など) 第14回 2011/1/26 本文の訳、会話の練習など次のまとめ内容の説明 第15回 2011/2/2 6～12課のまとめ練習と期末試験について			
キーワード	発音 会話 文法 練習問題		
教科書・教材・参考書	テキスト：『簡明基礎中国語』 高山 乾忠 著 (白帝社) 中国語辞書あるいは中国語電子辞書 (出版社指定なし)		
成績評価の方法・基準等	授業参加、授業時の姿勢、勉強の態度20点(三分の二出席不足すると試験を受けられない、無断欠席1回3点マイナス)、期間小テスト、個人発表など3点、最後のまとめ筆記テストあるいは発表50点。(中国語検定試験、中国語コンクーに参加した人には5-10点プラスして評価する。)		
受講要件(履修条件)	出席重視、教科書、筆記用具、辞書必携で真面目に受講すること		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	習ったもの80%身につけること。		
備考(準備学習等)	予習、復習が必要、授業積極的に質問に答え、練習すること。 習った単語を覚え、宿題を完成すること。		

2010年度 後期	曜日・校時 水2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590043014 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅱ (P18～19・F二) Chinese II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 303	
対象学生(クラス等) P18～19・ F二	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 劉 愛莉 / kym_ar@hotmail.com / 非常勤講師室 / 095-887-3467 / 水曜日 12:00～13:00 非常勤講師室・要確認			
担当教員	劉 愛莉		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 中国語の発音を身に付け、簡単な中国語会話(天気・気候について、日付け・曜日・時刻の言い方、一日の紹介、買い物、中国語の学習について、中国旅行)ができるよう基礎力を養う。 授業方法(学習指導法): 本文、会話の発音練習を重点に、また文法の説明を行う。「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」などの練習をする。 到達目標: 本文、会話の発音練習を重点に、また文法の説明を行う。「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」などの練習をする。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 単語、文法「名詞述語文、形容詞述語文、動詞述語文、反復疑問文、・・・など」、短文・会話文(天気・気候、日付け・曜日・時刻、私の一日、買い物、・・・)などを勉強する。練習問題にも取り組み、中国の現代社会事情、風俗習慣などを授業中随時紹介する。16回2月9日定期試験 第1回 10月6日 第5課 「天気」 第2回 10月13日 形容詞述語文 反復疑問文と選択疑問文 省略疑問文 程度副詞 第3回 10月20日 第6課 「何月何日」 第4回 10月27日 年月日、曜日、時刻の言い方 動詞述語文 名詞述語文 第5回 11月10日 第7課 「私の一日」 第6回 11月17日 前置詞 時間を表す文 時間副詞 “已经” “常” “马上” 構造助詞 “地” “得” 第7回 11月24日 単元復習(第5課～第7課 構造助詞 “得”) 第8回 12月1日 中間試験 第9回 12月8日 第8課 「買い物」 第10回 12月15日 “了”について 前置詞 “量詞”(2) 第11回 12月22日 第9課 「中国語を学ぼう」 第12回 1月12日 数量補語(時間の量) 比較の表現 可能を表す助動詞 “会” “能” “可以” 第13回 1月19日 第10課 「旅行」 第14回 1月26日 過去の経験 “過” 数量補語(動作の回数) 助動詞 “想” “要” “打算” 連動文 第15回 2月2日 総合復習(第8課～第10課)			
キーワード	発音 会話 文法 練習問題		
教科書・教材・参考書	テキスト: 『実用中国語10課』(白帝社) 中国語辞書(出版社指定なし) あるいは中国語電子辞書		
成績評価の方法・基準等	授業への参加・態度20% 中間試験40% 定期試験40%。		
受講要件(履修条件)	出席を重視し且つ授業中積極的に会話練習に参加すること。教科書、筆記用具、辞書必携。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	日本中国語検定協会試験準4級合格を目指す。		
備考(準備学習等)	予習、復習が必要。CDを聞き本文・会話文を暗記すること。宿題を完成すること。		

2010年度 後期	曜日・校時 水2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590043013 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅱ (F一) Chinese II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) F一	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 陳 振華 / chzh@hotmai.com / 非常勤講師控室 / / 火曜日 16:00～17:00			
担当教員	陳 振華		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 前置詞を更に勉強し、中国語の基本的な前置詞が全部わかります。基本的な助動詞を学ぶほか、動量、時量、過去の経験などの表現方法も学ばなければなりません。最後、将来の中級中国語を勉強することに繋がるために中国語の補語を少し勉強します。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 講義形式を基本としながら、会話練習に力を入れる。小テスト、学生も自主的に中国語の発音をしなければなりません、学生と先生はお互いに発音、会話をする必要があります。従いまして、学生はテキストには新出単語と補充単語を、授業の前に予習、暗記する上で、授業中の中国語会話を積極的に参加しなければなりません。授業では本文の朗読、暗誦をさせ、リスニングもしなければなりません。買物、料理作り、交通、及び中国語コンテンツ、帰国などの中国語で表現できるように会話の練習を繰り返します。また中国語の学習の成果を固める為に、宿題もしてもらいます。 <b>到達目標:</b> 授業到達目標は次の通りです。 1、各助動詞の意味をちゃんと区別できる上で正確に且つ自然に使えます。 2、中国語によく使われる前置詞や「把」の構文を全部理解できるし、また自由に使えるレベルに達します。 3、中国語の語順をしっかり覚えて、動量、時量、過去の経験の表現などの語順を間違えないように流暢にできます。 4、完全否定と部分否定の区別や表現しかたなどを理解できるし、具体的に応用できます。 5、存現文と因果関係の複文を勉強し、正しく表現できる水準に達します。 6、また結果補語や方向補語を勉強して学生諸君の中			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 第1回～第3回 第6課 我来日本两年了 1. 過去の経験 2. 動量 3. 時量 第4回～第6回 第7課 你会包饺子吗 1. 助動詞(一) 2. 完全否定と部分否定 第7回～第9回 第8課 你是怎么知道的 1. 前置詞 2. 助動詞(二) 第10回～第12回 第9課 已经准备好了 1. 結果補語 2. 存現文 第13回～第15回 第10課 你喜欢喝什么茶 1. 方向補語 2. “把”構文 3. 複文(一) 第1回 10月6日 第6課 我来日本两年了過去の経験、動量、時量 第2回 10月13日 第6課 我来日本两年了 本文の説明、本文の暗誦、会話の実践 第3回 10月20日 第6課 我来日本两年了 トレーニング1、リスニング2、小テスト 第4回 10月27日 第7課 你会包饺子吗 助動詞(一)、完全否定と部分否定 第5回 11月10日 第7課 你会包饺子吗 本文の説明、本文の暗誦、会話の実践 第6回 11月17日 第7課 你会包饺子吗 トレーニング1、リスニング2、小テスト 第7回 11月24日 第8課 你是怎么知道的 前置詞、助動詞(二) 第8回 12月1日 第8課 你是怎么知道的 本文の説明、本文の暗誦、会話の実践 第9回 12月8日 第8課 你是怎么知道的 トレーニング1、リスニング2、小テスト 第10回 12月15日 第9課 已经准备好了 結果補語、存現文 第11回 12月22日 第9課 已经准备好了 本文の説明、本文の暗誦、会話の実践 第12回 1月12日 第9課 已经准备好了 トレーニング1、リスニング2、小テスト 第13回 1月19日 第10課 你喜欢喝什么茶 方向補語、“把”構文、複文(一) 第14回 1月26日 第10課 你喜欢喝什么茶 本文の説明、本文の暗誦、会話の実践 第15回 2月2日 第10課 你喜欢喝什么茶 トレーニング1、リスニング2、小テスト			
キーワード			
教科書・教材・参考書	石川泰成 王晓芳 金縄初美など 著 『五星漢語』(会話編) 中国書店(福岡)		
成績評価の方法・基準等	授業への参加状況と平素の学習態度および出席 20%、宿題と小テスト 20%、定期試験 60%		
受講要件(履修条件)	履修上の注意:単位を取得するのは定期試験、宿題と小テストの成績の次第だけではない、出席も見るので、無断欠席しないでください。		
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 水2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590043012 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅱ (T三) Chinese II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) 中国語Ⅱ (T三)	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 趙 紅林 / honglin1-4@docomo.ne.jp / 非常勤講師室 / 050-6621-0781 / 授業前後			
担当教員	趙 紅林		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 本講義は中国語の発音を身につけて、漢字、語句、本文の「翻訳」「聞く」「読む」「話す」「書く」「文を造る」と中国語会話ができるような基礎力を習得する。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 発音練習、本文、文法の説明、文の作り、「翻訳」、「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」、ペアで会話などの練習をする。 <b>到達目標:</b> 中国語の発音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにすること。 中国語の音声表記ともっとも基本となる構文を身につけること。 日常的な会話表現ができるようになること。 中国語検定試験の準四級資格を取得できると目標にする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> <b>授業内容(概要)</b> 内容： 前期習ったものを復習しながら、新しい単語、言葉、文法事項などを勉強し、もっと多く日常的な会話表現をマスターする。授業中に触れる中国の現代社会事情、風俗習慣などを随時紹介する。(授業中に教える教科書以外の単語なども内容の一部になるので筆記用具を用意すること) (16回試験日2月9日) 第1回 2010/10/6 前期の第6課までの復習などと第7課の単語 第2回 2010/10/13 第7課文読み練習と文法の説明(動作進行中の言い方、“快～了、想～、打算～”と助数詞) 第3回 2010/10/20 本文の訳、会話の練習などと第8課の単語 第4回 2010/10/27 第8課の本文読み練習と文法の説明(時間の長さ、動作の時点、動作の継続時間、“得”を用いる状態補語) 第5回 2010/11/10 本文の訳、会話の練習などと第9課の単語 第6回 2010/11/17 第9課の本文読み練習と文法の説明(助詞“了”、助動詞“会、能、可以”、中国のお金) 第7回 2010/11/24 本文の訳、会話の練習などと次のまとめ内容の説明 第8回 2010/12/1 6～9課までのまとめテスト(あるいは個人発表) 第9回 2010/12/8 第10課の単語、本文読み練習と文法の説明(過去の経験を表す“过”と“听说”、“喜欢”、“对……感兴趣”) 第10回 2010/12/15 本文の訳、会話の練習などと第11課の単語 第11回 2010/12/22 第11課の本文読み練習と文法の説明(存在を表す“有”、前置詞の“离”と“从”、“到”) 第12回 2011/1/12 本文の訳、会話の練習などと第12課の単語 第13回 2011/1/19 第12課の本文読み練習と文法の説明(比較を表す前置詞“比”、“是……的”の構文、など) 第14回 2011/1/26 本文の訳、会話の練習など次のまとめ内容の説明 第15回 2011/2/2 6～12課のまとめ練習と期末試験について			
キーワード	発音 会話 文法 練習問題		
教科書・教材・参考書	テキスト：『簡明基礎中国語』 高山 乾忠 著(白帝社) 中国語辞書あるいは中国語電子辞書 (出版社指定なし)		
成績評価の方法・基準等	授業参加、授業時の姿勢、勉強の態度20点(三分の二出席不足すると試験を受けられない、無断欠席1回3点マイナス)、期間小テスト、個人発表など30点、最後のまとめ筆記テストあるいは発表50点。(中国語検定試験、中国語コンクールに参加した人には5-10点プラスして評価する。)		
受講要件(履修条件)	出席重視、教科書、筆記用具、辞書必携で真面目に受講すること		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	習ったもの80%身につけること。		
備考(準備学習等)	予習、復習が必要、授業積極的に質問に答え、練習すること。 習った単語を覚え、宿題を完成すること。		

2010年度 後期	曜日・校時 水3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590043016 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅱ (T二) Chinese II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) 中国語Ⅱ (T二)	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 趙 紅林 / honglin1-4@docomo.ne.jp / 非常勤講師室 / 050-6621-0781 / 授業前後			
担当教員	趙 紅林		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 本講義は中国語の発音を身につけて、漢字、語句、本文の「翻訳」「聞く」「読む」「話す」「書く」「文を造る」と中国語会話ができるような基礎力を習得する。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 発音練習、本文、文法の説明、文の作り、「翻訳」、「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」、ペアで会話などの練習をする。 <b>到達目標:</b> 中国語の発音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにすること。 中国語の音声表記ともっとも基本となる構文を身につけること。 日常的な会話表現ができるようになること。 中国語検定試験の準四級資格を取得できると目標にする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> <b>授業内容(概要)</b> 内容： 前期習ったものを復習しながら、新しい単語、言葉、文法事項などを勉強し、もっと多く日常的な会話表現をマスターする。授業中に触れる中国の現代社会事情、風俗習慣などを随時紹介する。(授業中に教える教科書以外の単語なども内容の一部になるので筆記用具を用意すること) (16回試験日2月9日) 第1回 2010/10/6 前期の第6課までの復習などと第7課の単語 第2回 2010/10/13 第7課文読み練習と文法の説明(動作進行中の言い方、“快～了、想～、打算～”と助数詞) 第3回 2010/10/20 本文の訳、会話の練習などと第8課の単語 第4回 2010/10/27 第8課の本文読み練習と文法の説明(時間の長さ、動作の時点、動作の継続時間、“得”を用いる状態補語) 第5回 2010/11/10 本文の訳、会話の練習などと第9課の単語 第6回 2010/11/17 第9課の本文読み練習と文法の説明(助詞“了”、助動詞“会、能、可以”、中国のお金) 第7回 2010/11/24 本文の訳、会話の練習などと次のまとめ内容の説明 第8回 2010/12/1 6～9課までのまとめテスト(あるいは個人発表) 第9回 2010/12/8 第10課の単語、本文読み練習と文法の説明(過去の経験を表す“过”と“听说”、“喜欢”、“对……感兴趣”) 第10回 2010/12/15 本文の訳、会話の練習などと第11課の単語 第11回 2010/12/22 第11課の本文読み練習と文法の説明(存在を表す“有”、前置詞の“离”と“从”、“到”) 第12回 2011/1/12 本文の訳、会話の練習などと第12課の単語 第13回 2011/1/19 第12課の本文読み練習と文法の説明(比較を表す前置詞“比”、“是……的”の構文、など) 第14回 2011/1/26 本文の訳、会話の練習など次のまとめ内容の説明 第15回 2011/2/2 6～12課のまとめ練習と期末試験について			
キーワード	発音 会話 文法 練習問題		
教科書・教材・参考書	テキスト：『簡明基礎中国語』 高山 乾忠 著 (白帝社) 中国語辞書あるいは中国語電子辞書 (出版社指定なし)		
成績評価の方法・基準等	授業参加、授業時の姿勢、勉強の態度20点(三分の二出席不足すると試験を受けられない、無断欠席1回3点マイナス)、期間小テスト、個人発表など3点、最後のまとめ筆記テストあるいは発表50点。(中国語検定試験、中国語コンクールに参加した人には5-10点プラスして評価する)		
受講要件(履修条件)	出席重視、教科書、筆記用具、辞書必携で真面目に受講すること		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	習ったもの80%身につけること。		
備考(準備学習等)	予習、復習が必要、授業積極的に質問に答え、練習すること。 習った単語を覚え、宿題を完成すること。		

2010年度 後期	曜日・校時 水3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590043015 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅱ (D16～17) Chinese II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 103	
対象学生(クラス等) D16～17	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 高 季文 / jgypk388@ybb.ne.jp / 非常勤講師室 / 095-843-3675 / 木曜日 14:30-15:50			
担当教員	高 季文		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 最初に徹底的正確な発音のマスターと、基本構造の理解を目指す。それを元にして、発音、基礎的文法、慣用表現を修得する。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 発音の練習を繰り返すとともに、多くの慣用句を身につけ、さらに日常的な表現を学び、実際に会話ができるようにする。 <b>到達目標:</b> 日常会話ができること。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 16回目 定期考査 第1回 1回目 復習 第2回 2回目 第5課 天気 形容詞述語 反復疑問文 第3回 3回目 形容詞述語 省略疑問文 第4回 4回目 テスト 第5回 5回目 第6課 几月几号 名詞述語文 第6回 6回目 日付 曜日 時刻 動詞述語文 第7回 7回目 我的一天 第8回 8回目 介詞「从」「离」復習② 第9回 9回目 暗記テスト 第8課 生日礼物 第10回 10回目 「了」について 量詞 第11回 11回目 第9課 学汉语 第12回 12回目 比較の表現 可能の助動詞「会」「能」:～できる。 第13回 13回目 第10課 旅游 アスペクト助詞「过」 第14回 14回目 心理動詞 「想」「要」「打算」 第15回 まとめ			
キーワード			
教科書・教材・参考書	『<新版>実用中国語』(劉愛莉等、白帝社)		
成績評価の方法・基準等	1, 課題(宿題) 5点×4回=20点 2, 定期試験60% 3, 出席20%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	中国語による簡単な日常会話を話せるようにする。現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
備考(準備学習等)	現在中国の社会状況		

2010年度 後期	曜日・校時 木1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590043017 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅱ (T四) Chinese II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) T四	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 周 国強 / zgg@sun.ac.jp / 非常勤講師控室 / 095-813-5158 / 授業の前後			
担当教員	周 国強		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 1.内容は基本的にテキストにそって進める。 2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。 3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。 <b>到達目標:</b> 1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらい。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。			
第16回 試験 第1回 第1回 第1課『お久しぶりです』 文法：副詞の「好」 / 時態助詞「着」 第2回 第2回 第2課『どうして休むのですか』 文法：「听说」と「听～说」 / 動詞の重ね型 第3回 第3回 第3課『毎日何コマありますか』 文法：「有时」 / 「从～到～」 / 程度副詞 第4回 第4回 第1課から第3課までのまとめ 小テスト 第5回 第5回 第4課『そばに何がありますか』 文法：方向名詞 / 前置詞「离」 / 前置詞「往」 第6回 第6回 第5課『まだ気分がよくありませんか』 文法：比較の表現 / 「再」と「又」 第7回 第7回 第6課『彼にビールを買いに行かせる』 文法：使役の表現 / 前置詞「给」 第8回 第8回 第7課『ある人が訪ねて来る』 文法：兼語文 / 受け身 第9回 第9回 第4課から第7課までのまとめ 小テスト 第10回 第10回 第8課『多くのところが分からない』 文法：結果補語 / 選択疑問文 第11回 第11回 第9課『聞いて分かりますか』 文法：可能補語 / 動詞句が目的語の文 第12回 第12回 第10課『中国語を話すのが流暢になった』 文法：様態補語 / 文が目的語 第13回 第13回 第11課『あなたに良い知らせを教えます』 文法：二重目的語 / 「把」構文 第14回 第14回 第8課から第11課までのまとめ 小テスト 第15回 第15回 総合復習			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	テキスト：黒坂満輝・村上公一・楊曉安『コミュニケーション中国語Ⅱ』(同学社) 辞書：上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)		
成績評価の方法・基準等	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 木2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590043018 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅱ (T一) Chinese II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) T一	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 秦 耕司 / / 非常勤講師控室 / 0956-47-6673 / 教室在室時			
担当教員	秦 耕司		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 中国語の基礎力(基礎学力と基礎技術力)を習得します。 ・発音、文法、日本語訳、中国語訳、音読、聴く力等、全般にわたって中国語の基礎力を身に付けます。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 教科書には予習欄がありますので、予習を前提として授業を進めます。 ・発音練習と文法説明の後、学生に日本語訳をしてもらい、補足説明の後、徹底した音読練習をします。 ・聴き取りの小テストを随時行います。 <b>到達目標:</b> 基本的な文法知識と全般的な基礎技術力の習得を目指します。 ・ピンインを見て正しく発音できるようにする。 ・学習した文法事項を用いて中国語訳ができるようにする。 ・ピンインのない中国文がしっかりした発音で音読できるようにする。 ・学習した中国文の聴き取りができるようにする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 文法説明と音読練習を中心とした授業で、日本語訳と練習問題は学生に提供されます。漢字と発音が直接結び付くようにピンインのない中国文での音読練習に力を入れ、正確な発音を確実に身に付けるようにします。 授業内容(週毎) 2回半の授業で1課を終了します。予習のポイントで文法の説明をし、本文の日本語訳と音読練習、文法用例の日本語訳の後に文法の補足説明、練習問題の順に進めます。1課終る毎に聴き取りテストをします。 16回目 2月10日 定期試験 第1回 10/7 第5課 文法:数詞、量詞(2)、動詞“有”、接続詞“和”、進行表現“在”、主述述語文、反復疑問文。本文 第2回 10/14 第5課 文法用例、練習問題 第3回 10/21 第5課 練習問題、聴き取り 第4回 10/28 第6課 文法:介詞“離”、主語(2)、選択疑問文、方位詞、助詞“的”(2)。本文。 第5回 11/4 第6課 文法用例、練習問題 第6回 11/11 第6課 練習問題、聴き取り 第7回 11/18 第7課 文法:助動詞“会、能”、全体否定と部分否定、“有”兼語文、時刻表現、介詞“从、到”。本文 第8回 11/25 第7課 文法用例、練習問題 第9回 12/2 第7課 練習問題 聴き取り 第10回 12/9 第8課 文法:動詞+“点儿”、形容詞+“的”、“在”と“有”、“几”と“多少”。本文。 第11回 12/16 第8課 文法用例、練習問題 第12回 1/6 第8課 練習問題、聴き取り 第13回 1/13 第9課 文法:名詞述語文、経験態、疑問詞+“都”、月、曜日、日付。本文 第14回 1/20 第9課 文法用例、練習問題 第15回 1/27 第9課 練習問題、聴き取り 授業の総括			
キーワード			
教科書・教材・参考書	『総合中国語基礎』 秦 耕司 著 『総合中国語基礎 練習問題集』 (自習用) 重要:『練習問題集』でしっかり反訳練習をして下さい。		
成績評価の方法・基準等	定期試験(100%) 注:授業では十分時間をかけて音読練習や聴き取りをし、試験ではそれを反映した問題を出題するので、欠席をすると自然に合格することが難しくなります。		
受講要件(履修条件)	予習 1回目予習:「予習のポイント」を参照しながら、本文の日本語訳と発音練習をしておいて下さい。 2回目予習:文法用例の日本語訳と「作業」をしておいて下さい。 毎回授業の初めに出席をとります。出席は1回しかとりません。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 木3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590043020 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅱ (K25) Chinese II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) K25	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 高 季文 / jgypk388@ybb.ne.jp / 非常勤講師室 / 095-843-3675 / 木曜日 14:30-15:50			
担当教員	高 季文		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 最初に徹底的正確な発音のマスターと、基本構造の理解を目指す。それを元にして、発音、基礎的文法、慣用表現を修得する。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 発音の練習を繰り返すとともに、多くの慣用句を身につけ、さらに日常的な表現を学び、実際に会話ができるようにする。 <b>到達目標:</b> 日常会話ができること。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 16回目 定期考査 第1回 1回目 復習 第2回 2回目 第5課 天気 形容詞述語 反復疑問文 第3回 3回目 形容詞述語 省略疑問文 第4回 4回目 テスト 第5回 5回目 第6課 几月几号 名詞述語文 第6回 6回目 日付 曜日 時刻 動詞述語文 第7回 7回目 我的一天 第8回 8回目 介詞「从」「离」復習② 第9回 9回目 暗記テスト 第8課 生日礼物 第10回 10回目 「了」について 量詞 第11回 11回目 第9課 学汉语 第12回 12回目 比較の表現 可能の助動詞「会」「能」:~できる。 第13回 13回目 第10課 旅游 アスペクト助詞「过」 第14回 14回目 心理動詞 「想」「要」「打算」 第15回 まとめ			
キーワード			
教科書・教材・参考書	『<新版>実用中国語』(劉愛莉等、白帝社)		
成績評価の方法・基準等	1, 課題(宿題) 5点×4回=20点 2, 定期試験60% 3, 出席20%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	中国語による簡単な日常会話を話せるようにする。現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
備考(準備学習等)	現在中国の社会状況		

2010年度 後期	曜日・校時 木3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590043019 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅱ (K26) Chinese II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) K26	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 秦 耕司 / / 非常勤講師控室 / 0956-47-6673 / 教室在室時			
担当教員	秦 耕司		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 中国語の基礎力(基礎学力と基礎技術力)を習得します。 ・発音、文法、日本語訳、中国語訳、音読、聴く力等、全般にわたって中国語の基礎力を身に付けます。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 教科書には予習欄がありますので、予習を前提として授業を進めます。 ・発音練習と文法説明の後、学生に日本語訳をしてもらい、補足説明の後、徹底した音読練習をします。 ・聴き取りの小テストを随時行います。 <b>到達目標:</b> 基本的な文法知識と全般的な基礎技術力の習得を目指します。 ・ピンインを見て正しく発音できるようにする。 ・学習した文法事項を用いて中国語訳ができるようにする。 ・ピンインのない中国文がしっかりした発音で音読できるようにする。 ・学習した中国文の聴き取りができるようにする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 文法説明と音読練習を中心とした授業で、日本語訳と練習問題は学生に提供されます。漢字と発音が直接結び付くようにピンインのない中国文での音読練習に力を入れ、正確な発音を確実に身に付けるようにします。 授業内容(週毎) 2回半の授業で1課を終了します。予習のポイントで文法の説明をし、本文の日本語訳と音読練習、文法用例の日本語訳の後に文法の補足説明、練習問題の順に進めます。1課終る毎に聴き取りテストをします。 16回目 2月10日 定期試験 第1回 10/7 第5課 文法:数詞、量詞(2)、動詞“有”、接続詞“和”、進行表現“在”、主述述語文、反復疑問文。本文 第2回 10/14 第5課 文法用例、練習問題 第3回 10/21 第5課 練習問題、聴き取り 第4回 10/28 第6課 文法:介詞“離”、主語(2)、選択疑問文、方位詞、助詞“的”(2)。本文。 第5回 11/4 第6課 文法用例、練習問題 第6回 11/11 第6課 練習問題、聴き取り 第7回 11/18 第7課 文法:助動詞“会、能”、全体否定と部分否定、“有”兼語文、時刻表現、介詞“从、到”。本文 第8回 11/25 第7課 文法用例、練習問題 第9回 12/2 第7課 練習問題 聴き取り 第10回 12/9 第8課 文法:動詞+“点儿”、形容詞+“的”、“在”と“有”、“几”と“多少”。本文。 第11回 12/16 第8課 文法用例、練習問題 第12回 1/6 第8課 練習問題、聴き取り 第13回 1/13 第9課 文法:名詞述語文、経験態、疑問詞+“都”、月、曜日、日付。本文 第14回 1/20 第9課 文法用例、練習問題 第15回 1/27 第9課 練習問題、聴き取り 授業の総括			
キーワード			
教科書・教材・参考書	『総合中国語基礎』 秦 耕司 著 『総合中国語基礎 練習問題集』 (自習用) 重要:『練習問題集』でしっかり反訳練習をして下さい。		
成績評価の方法・基準等	定期試験(100%) 注:授業では十分時間をかけて音読練習や聴き取りをし、試験ではそれを反映した問題を出題するので、欠席をすると自然に合格することが難しくなります。		
受講要件(履修条件)	予習 1回目予習:「予習のポイント」を参照しながら、本文の日本語訳と発音練習をしておいて下さい。 2回目予習:文法用例の日本語訳と「作業」をしておいて下さい。 毎回授業の初めに出席をとります。出席は1回しかとりません。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590043022 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅱ (T五) Chinese II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) T五	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 高山 乾忠 / takayama@wesleyan.ac.jp / 非常勤講師控室 / /			
担当教員	高山 乾忠		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 中国語Ⅰに引き続き、発音と声調の基礎を固める。辞書を用いて発音を調べ、正しく読めるようにする。新たに約300の単語を習得させる。中国語独特の文法事項を中心に解説し、日本人の間違いを克服していく。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 会話到達目標を提示し、文法をふまえた正しい日常会話ができるように徹底して練習を行い、中国語を聞いて書き取り、黒板を使って添削する。また、中国の文化知識を教授し、理解を深めさせる。 <b>到達目標:</b> (財)アジア国際交流奨学財団主催、「実用中語技能検定試験」(準5)の資格を目指す。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 第1回 10月1日 第7課 打扫房间 (1) 動作の進行中を表す副詞の“在” (2) “快……了” 第2回 10月8日 第7課 (3) “想～、打算～” (4) 助数詞 第3回 10月15日 第8課 我学汉语 (1) 時間の長さ (2) 動作の時点 第4回 10月22日 第8課 (3) 動作の継続時間 (4) “得”を用いる状態補語 第5回 10月29日 第9課 我买词典了 (1) 助詞“了” 第6回 11月5日 第9課 (2) 助動詞“会”“能”、“可以” (3) 中国のお金 第7回 11月12日 第10課 京劇和歌曲 (1) 過去の経験を表す“过” (2) “听说” 第8回 11月26日 中間テスト 第9回 12月3日 第10課 (3) “喜欢” (4) “对……感兴趣” 第10回 12月10日 第11課 开车去长城 (1) 存在を表す“有” 第11回 12月17日 第11課 (2) 前置詞“离” 第12回 12月24日 第11課 (3) 前置詞“从”、“到” 第13回 1月7日 第12課 陈霞和小李 (1) 比較を表す前置詞“比” 第14回 1月21日 第12課 (3) 選択疑問文“～还是～” (2) “是……的”の構文 第15回 1月28日 第12課 (4) 副詞“有点儿”と数量詞“一点儿” (5) 「動詞+“一 点儿”」 ※ 2月4日 定期試験			
キーワード	言語 外国語 中国語 文化		
教科書・教材・参考書	(株)白帝社 「簡明基礎中国語」日中・中日辞典/中日電子辞書		
成績評価の方法・基準等	全体が100%。授業への積極的な参加状況、平素の学習意欲や態度など20%、中間テスト10%、定期試験70%。		
受講要件(履修条件)	原則として全回講義の出席を条件とする		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590043021 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅱ (T六) Chinese II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) T六	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 楊 曉安 / xiaolan@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部新館1階 / 095-819-2166 (内線 2166) / 火曜日、金曜日 (16:10-18:00)			
担当教員	楊 曉安		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b>			
<p><b>ねらい:</b>発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。</p> <p><b>到達目標:</b>1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。</p>			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>			
<p>発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらおう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。</p> <p>16回 2月4日：定期試験</p> <p>第1回 第1課『お久しぶりです』 文法：副詞の「好」 / 時態助詞「着」  第2回 第2課『どうして休むのですか』 文法：「聽說」と「聴～説」 / 動詞の重ね型  第3回 第3課『毎日何コマありますか』 文法：「有時」 / 「从～到～」 / 程度副詞  第4回 第1課から第3課までのまとめ 小テスト  第5回 第4課『そばに何がありますか』 文法：方向名詞 / 前置詞「离」 / 前置詞「往」  第6回 第5課『まだ気分がよくありませんか』 文法：比較の表現 / 「再」と「又」  第7回 第6課『彼にビールを買いに行かせる』 文法：使役の表現 / 前置詞「給」  第8回 第7課『ある人が訪ねて来る』 文法：兼語文 / 受け身  第9回 第4課から第7課までのまとめ 小テスト  第10回 第8課『多くのところが分からない』 文法：結果補語 / 選択疑問文  第11回 第9課『聞いて分かりますか』 文法：可能補語 / 動詞句が目的語の文  第12回 第10課『中国語を話すのが流暢になった』 文法：様態補語 / 文が目的語  第13回 第11課『あなたに良い知らせを教えます』 文法：二重目的語 / 「把」構文  第14回 第8課から第11課までのまとめ 小テスト  第15回 総合復習</p>			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	<p>テキスト：黒坂満輝・村上公一・楊曉安『コミュニケーション中国語Ⅱ』(同学社)  辞書：上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)</p>		
成績評価の方法・基準等	<p>期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。</p>		
受講要件(履修条件)	<p>単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。</p>		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 月2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590045001 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅲ (2M11～12) Chinese III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) 2M11～12	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 高 芳 / g_fangyuan@yahoo.co.jp / 非常勤講師室 / 090-6264-6497 / 非常勤講師室にて随時・要確認			
担当教員	高 芳		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b>			
<p><b>ねらい:</b>本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。</p> <p><b>到達目標:</b>1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。</p>			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>			
<p>概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。16回 8月9日：定期試験</p> <p>第1回 第1課『休日の前』(1)会話①「メーデーは何日間休みになりますか」 会話②「どこでアルバイトをするのですか」 文法：[助動詞]要・想+動詞 / [副詞]更 / [接続詞]不过</p> <p>第2回 第1課『休日の前』(2) 確認小テスト：第一課会話①と②会話③「中国人は祝日をどう過ごしますか」 会話④「宿題をやり終えましたか」 文法：「把」構文、 豆知識「中国の記念日と休日」</p> <p>第3回 第2課『旅行』(1) 確認小テスト：第一課会話③と④会話①「どうしてまだここで食べているのですか」 会話②「ガールフレンドと一緒に行ったのです」文法：[助詞]着,了,过</p> <p>第4回 第2課『旅行』(2) 確認小テスト第二課会話①と②会話③「写真を撮ってはいけません」 会話④「一番印象に残ったのは何ですか」 文法：[疑問詞]誰 / 什么 / 哪儿,哪里 / 什么时候 / 为什么 / 怎么 豆知識「中国人の国民性」</p> <p>第5回 第3課『スポーツ』(1) 確認小テスト：第二課会話③と④会話①「本当に恥ずかしいです」 会話②「私はジャッキー・チェンの弟子です」 文法：兼語文 / 「听说,听～说」</p> <p>第6回 第3課『スポーツ』(2) 確認小テスト：第三課会話①と②会話③「オリンピック大会を見に行きましたか」 会話④「選手を応援しています」 文法：「毎」と「隔」 / [接続詞]可是 豆知識「中国朝の風景」</p> <p>第7回 第1課～第3課の復習及び口頭試験</p> <p>第8回 第4課『銀行で』(1) 確認小テスト：第三課会話③と④会話①「短期留学生です」 会話②「この百元をくずしてくれませんか」 文法：数の言い方</p> <p>第9回 第4課『銀行で』(2) 確認小テスト：第四課会話①と②会話③「お金を引き出したいのですが」 会話④「両替したいのですが」 文法：「二」と「兩」 / 小数と比率の読み方 豆知識「中国人の金銭観」</p> <p>第10回 第5課『郵便局で』(1) 確認小テスト：第四課会話③と④会話①「切手をください」 会話②「日本まで何日かかりますか」 文法：名詞述語文 / ～左右 / 至少～</p> <p>第11回 第5課『郵便局で』(2) 確認小テスト：第五課会話①と② 会話③「タクシーをよびましょう」 会話④「身分証明書をお持ちですか」 文法：可能補語 豆知識「中国の郵便局」</p> <p>第12回 第6課『電話をする』(1) 確認小テスト：第五課会話③と④会話①「今どこにいますか」 会話②「ちょうど電話を掛けようとしたところ」 文法：「吗」と「呢」</p> <p>第13回 第6課『電話をする』(2) 会話 確認小テスト：第六課会話①と②会話③「お電話です」 会話④「メールアドレスが変わりました」 文法：因为～所以～ / 不是～吗 豆知識「中国の常用電話番号」</p> <p>第14回 第4課～第6課の復習及び口頭試験</p> <p>第15回 総合復習</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキスト：高芳・山本範子等『中級中国語へのアクセス』（三修社） 辞書：上野恵司『標準中国語辞典』（白帝社）		
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50%）、小テスト・課題（30%）、口頭試験（20%）などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 月3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590045002 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅲ (2D16～17) Chinese III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) 2D16・17	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 池 玉杰 / chi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp / 非常勤講師控室 / 840-2000 / 授業の前後、講義室にて			
担当教員	池 玉杰		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 聞く、話す、書く、読むの4つの要素を繰り返し訓練します。  <b>授業方法(学習指導法):</b> 単語の書き取り、会話の暗記、文の朗読、文法の応用、言葉を作る、先生の質問に対して中国語で答え、あるいは3人または4人で1つのグループで模擬会話を行うなどの方法を授業に取り組む。 <b>到達目標:</b> 日常のコミュニケーションができる中国語レベルを目標とする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 日常会話を中心とし、動詞述語文、形容詞述語文、反復疑問文、副詞“在”、連体修飾同土“的”の省略、動作の時点、時間の長さ、動作の継続時間、動詞の重複型、助詞の“了”の使い方、疑問詞の不定用法など、日中、中日の翻訳あるいは通訳、日常会話を講習する。  第16回 8月9日 期末試験(筆記)			
第1回 4月12日 第1回 第1課 始めまして。(上) 第2回 4月19日 第2回 第1課 始めまして。(下) 第3回 4月26日 第3回 第1課 貴方は日本人ですか?(上) 第4回 5月10日 第4回 第2課 学校を参観しましょう。(下) 第5回 5月17日 第5回 口頭発音表 第6回 5月24日 第6回 第3課 私の家族(上) 第7回 6月7日 第7回 第3課 私の家族(下) 第8回 6月14日 第8回 第4課 彼女は今日中国の授業がありますか?(上) 第9回 6月21日 第9回 第4課 彼女は今日中国の授業がありますか?(下) 第10回 6月28日 第10回 口頭発音表 第11回 7月5日 第11回 第5課 私は朝いつもはやく起きます。(上) 第12回 7月12日 第12回 第5課 私は朝いつもはやく起きます。(下) 第13回 7月26日 第13回 第6課 どこへ行きましたか?(上) 第14回 7月30日(金) 第14回 第6課 どこへ行きましたか?(下) 第15回 8月2日 第15回 口頭発音表			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	*『学説中国語』 作者;池 玉杰/胡 振剛/趙 紅林 出版社;白帝社 *日中、中日辞典		
成績評価の方法・基準等	期末試験50%、授業への積極的な取組態度20%、学習態度15%、宿題15%		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	期末試験50、口頭発表20、授業での積極的な態度10、学習態度10、宿題10		
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 月4 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590045003 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅲ (2T一) Chinese III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) 2T一	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 池 玉杰 / chi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp / 非常勤講師控室 / 840-2000 / 授業の前後、講義室にて			
担当教員	池 玉杰		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 聞く、話す、書く、読むの4つの要素を繰り返し訓練します。  <b>授業方法(学習指導法):</b> 単語の書き取り、会話の暗記、文の朗読、文法の応用、言葉を作る、先生の質問に対して中国語で答え、あるいは3人または4人で1つのグループで模擬会話を行うなどの方法を授業に取り組む。 <b>到達目標:</b> 日常のコミュニケーションができる中国語レベルを目標とする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 日常会話を中心とし、動詞述語文、形容詞述語文、反復疑問文、副詞“在”、連体修飾同土“的”の省略、動作の時点、時間の長さ、動作の継続時間、動詞の重複型、助詞の“了”の使い方、疑問詞の不定用法など、日中、中日の翻訳あるいは通訳、日常会話を講習する。  第16回 8月9日 期末試験(筆記)			
第1回 4月12日 第1回 第1課 始めまして。(上) 第2回 4月19日 第2回 第1課 始めまして。(下) 第3回 4月26日 第3回 第2課 学校を参観しましょう。(上) 第4回 5月10日 第4回 第2課 学校を参観しましょう。(下) 第5回 5月17日 第5回 口頭発音表 第6回 5月24日 第6回 第3課 私の家族(上) 第7回 6月7日 第7回 第3課 私の家族(下) 第8回 6月14日 第8回 第4課 彼女は今日中国の授業がありますか?(上) 第9回 6月21日 第9回 第4課 彼女は今日中国の授業がありますか?(下) 第10回 6月28日 第10回 口頭発表 第11回 7月5日 第11回 第5課 私は朝いつもはやく起きます。(上) 第12回 7月12日 第12回 第5課 私は朝いつもはやく起きます。(下) 第13回 7月26日 第13回 第6課 どこへ行きましたか?(上) 第14回 7月30日(金) 第14回 第6課 どこへ行きましたか?(下) 第15回 8月2日 第15回 口頭発表			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	*『学説中国語』 作者;池 玉杰/胡 振剛/趙 紅林 出版社;白帝社 *日中、中日辞典		
成績評価の方法・基準等	期末試験50%、授業への積極的な取組態度20%、学習態度15%、宿題15%		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	期末試験50、口頭発表20、授業での積極的な態度10、学習態度10、宿題10		
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590045007 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅲ (2T 三) Chinese III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) 2T 三	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 張 美玉 / yrc210814@ezweb.ne.jp / 非常勤講師控室 / / 授業の前後			
担当教員	張 美玉		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 中国語の勉強を通して、中国語に興味を持ってもらいます。また、学生の興味と必要に応じて様々な教材を使い、中国の歴史や中国社会に対する理解を深めることが狙いです。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 授業では、イラストや図を使うことで理解の助けとします。口頭や動作を使つての練習や学生同士の会話練習も行います。 <b>到達目標:</b> 発声練習、朗読などを通して、より正確な発音を身に付け、日常会話能力を高めると同時に基本的な文法・語彙を取得し、四技能ともにバランスよく定着し、簡単な文章の読み書きができるようになることを目標とします。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 授業内容(概要): 自宅での予習や復習をしたり、各課のCDを聞いたりしてから授業に望んで欲しい。また、各課で補足した言葉も覚え、宿題を時間通りに提出するようにしてほしい。			
第1回 第1課 「上学」 “怎么”を使った疑問文/是…的構文/連動文 第2回 第1課 「上学」 本文・会話・練習問題・関連単語 第3回 第2課 「四季」 “会” “能” “可以” / 虽然…但是…/又…又… 第4回 第2課 「四季」 本文・会話・練習問題・関連単語 第5回 第3課 「一日遊」 様態補語“得” / 助詞“的” / 語気助詞“吧” 第6回 第3課 「一日遊」 本文・会話・練習問題・関連単語 第7回 復習① 第1課～第3課 ポイント復習” 第8回 復習① 本文・会話表現の確認復習 第9回 第4課 「願望」 “正在～呢” / “有点儿” “一点儿” “一下” 第10回 第4課 「願望」 本文・会話・練習問題・関連単語 第11回 第5課 「暑假」 方向補語“来” “去” / 助詞“着” 第12回 第5課 「暑假」 本文・会話・練習問題・関連単語 第13回 復習② 第1課～第5課までの総復習 第14回 復習② 期末試験に向けての総復習 第15回 復習② 全授業の総括(期末試験含む)			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	実用中国語 10課 2 劉愛莉 連清浩 高季文 王桂紅 著 白帝社		
成績評価の方法・基準等	定期試験、授業への積極的参加状況などを考慮して評価します 学習態度と授業への積極的参加状況30% 課題提出と小テスト20% 定期試験50%		
受講要件(履修条件)	原則として全回出席しなければ単位は取れません。ただし、やむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は、個別指導を行う。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590045006 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅲ (2T 二) Chinese III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) 2T 二	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 陳 振華 / chzh@hotmai.com / 非常勤控え室 / / 火曜日 16:00～17:00			
担当教員	陳 振華		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b>			
<p><b>ねらい:</b> 中国語の単語や文法などを更に習得し、授業の狙いは次の通りです。  1、全ての中国語の補語を学ぶ。 2、全ての中国語の比較表現を学ぶ。 3、兼語文を学ぶ。 4、全ての「把」の構文を学ぶ。 5、仮定を表す複文及び条件関係複文を学ぶ。 6、逆接関係及び連続関係を学ぶ。以上の文法のほか、人と対面する会話及びショッピング、外食、観光などの会話を勉強し、中国語の日常生活の会話をやや流暢に出来る。やや中級気味中国語文を閲読し、中国の文化</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>講義形式を基本としながら、会話練習に力を入れる。教師と学生はお互いに中国語の会話をしたり、学生練習をしてもらったりします。学生諸君は授業の前に事前予習する必要があります。今回採用されたテキストの本文新出単語に中国語の解釈がないので、授業の前に辞書で調べる必要があります。習ったものを固めるために、宿題をしてもらいますし、学習の成果を検証するために、三週間一回小テストを行います。</p> <p><b>到達目標:</b> 授業到達目標は次の通りです。  1、中国語の補語を全てしっかり身につけ、全ての補語を自然に応用できるレベルに達する。 2、中国語の比較表現を全て間違いなくに  応用できる水準に達する。 3、兼語文と「把」の構文の目的語位置を間違いなく、正しく使えること。 4、仮定を表す複文と条件関係  複文の区別できるし、自然に応用できること。 5、逆接関係及び連続関係を自然に応用で</p>			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>			
第1回～第3回 第10課 咱们什么时候见面？ ①イントネーション疑問文 ②結果補語 ③疑問詞+“都/也” ④連用修飾の目印“地” ⑤“有点儿”と“一点儿” 第4回～第6回 第11課 这个电视塔真高。 ①方向補語 ②比較表現(1) ③比較表現(2) ④百以上の数の言い方 ⑤金額の言い方 第7回～第9回 第12課 你喜欢什么样的？ ①“A是A, 但是～” ②可能補語 ③“叫”を用いる兼語文 ④“先～然后～” ⑤比較の表現(3) 第10回～第12回 第13課 味道怎么样？ ①様態補語 ②“请”を用いる兼語文 ③“把”構文(1) ④指示代詞 ⑤“几”と“多少” 第13回～第15回 第14課 祝你新年快乐 ①“一～就～” ②“要是～” ③可能を表す助動詞と可能補語の違い ④“多”+形容詞 感嘆文 ⑤程度補語 第1回 4月13日 第10課 新出単語のチェック、ポイントの説明、本文の説明 第2回 4月20日 第10課 本文の暗誦、会話の練習、短文の閲読 第3回 4月27日 第10課 練習、ドリル、小テスト 第4回 5月11日 第11課 新出単語のチェック、ポイントの説明、本文の説明 第5回 5月18日 第11課 本文の暗誦、会話の練習、短文の閲読 第6回 5月25日 第11課 練習、ドリル、小テスト 第7回 6月1日 第12課 新出単語のチェック、ポイントの説明、本文の説明 第8回 6月8日 第12課 本文の暗誦、会話の練習、短文の閲読 第9回 6月15日 第12課 練習、ドリル、小テスト 第10回 6月22日 第13課 新出単語のチェック、ポイントの説明、本文の説明 第11回 6月29日 第13課 本文の暗誦、会話の練習、短文の閲読 第12回 7月6日 第13課 練習、ドリル、小テスト 第13回 7月13日 第14課 新出単語のチェック、ポイントの説明、本文の説明 第14回 7月20日 第14課 本文の暗誦、会話の練習、短文の閲読 第15回 7月27日 第14課 練習、ドリル、小テスト			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	王 紅艷など編集 『話す中国語・読む中国語 你好！晴佳』 朝日出版社 ISBN978-4-255-45185-5		
成績評価の方法・基準等	授業への参加状況と平素の学習態度 20%、宿題と小テスト 20%、定期試験 60%		
受講要件(履修条件)	履修上の注意：単位を取得するのは定期試験、宿題と小テストの成績の次第だけではなく、出席も見るので、無断欠席しないでください。		
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590045005 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅲ (2K26) Chinese III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) 2K26		科目分類 外国語科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 楊 曉安 / xiaoan@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部新館1階 / 095-819-2166 (内線2166) / 火曜日、金曜日 (16:10-18:00)			
担当教員	楊 曉安		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p><b>ねらい:</b>本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。</p> <p><b>到達目標:</b>1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <p>16回 8月9日：定期試験</p> <p>第1回 第1課『休日の前』(1)①「それはたいへん残念です」 ②「ゴールデンウィークは旅行に行きたい」 文法：[助動詞]要・想+動詞 / [副詞]更 / [接続詞]不过</p> <p>第2回 第1課『休日の前』(2) ③「中国人はゴールデンウィークをどう過ごしますか」 ④「ちょっと手伝って」 文法：「把」構文</p> <p>第3回 第2課『旅行』(1)①「どうしてまだここで食べているのですか」 ②「ガールフレンドと一緒に行ったのです」文法：[助動詞]着,了,過</p> <p>第4回 第2課『旅行』(2) ③「写真を撮ってはいけません」 ④「一番印象に残ったのは何ですか」 文法：[疑問詞]谁 / 什么 / 哪儿,哪里 / 什么时候 / 为什么 / 怎么</p> <p>第5回 第3課『スポーツ』(1) ①「本当に恥ずかしいです」 ②「私はジャッキー・チェンの弟子です」 文法：兼語文 / 「听说,听～说」</p> <p>第6回 第3課『スポーツ』(2) ③「オリンピックは北京で開催します」 ④「選手を応援しています」 文法：「毎」と「隔」 / [接続詞]可是</p> <p>第7回 第1課～第3課の復習</p> <p>第8回 第4課『銀行で』(1) ①「口座を作ってください」 ②「確認してください」 文法：数の言い方</p> <p>第9回 第4課『銀行で』(2) ③「お金を引き出したいのですが」 ④「両替したいのですが」 文法：「二」と「兩」 / 小数と比率の読み方</p> <p>第10回 第5課『郵便局で』(1) ①「切手をください」 ②「日本まで何日かかりますか」 文法：名詞述語文 / ～左右 / 至少～</p> <p>第11回 第5課『郵便局で』(2) ③「タクシーをよびましょう」 ④「身分証明書をお持ちですか」 文法：可能補語</p> <p>第12回 第6課『電話をする』(1) ①「大都大学の電話番号は何番ですか」 ②「中国語教育センターをお願いします」文法：「吗」と「呢」</p> <p>第13回 第6課『電話をする』(2) ③「お電話です」 ④「メールアドレスが変わりました」 文法：因为～所以～ / 不是～吗</p> <p>第14回 第14回 第4課～第6課の復習</p> <p>第15回 総合復習</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	<p>テキスト：高芳・山本範子等『中級中国語へのアクセス』(三修社)</p> <p>辞書：上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)</p>		
成績評価の方法・基準等	期末テスト(50%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ/学習			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590045004 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅲ (2K25) Chinese III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) 環境科学部	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 連 清吉 / lien@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部 B405 / 819-2741 / 火曜日 4 時限			
担当教員	連 清吉		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b>			
<p><b>ねらい:</b>本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。</p> <p><b>到達目標:</b>1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。</p>			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>			
<p>第1回 第1課『休日の前』(1)①「それはたいへん残念です」 ②「ゴールデンウィークは旅行に行きたい」 文法:[助動詞]要・想+動詞/[副詞]更 / [接続詞]不过</p> <p>第2回 第1課『休日の前』(2) ③「中国人はゴールデンウィークをどう過ごしますか」 ④「ちょっと手伝って」 文法:「把」構文</p> <p>第3回 第2課『旅行』(1)①「どうしてまだここで食べているのですか」 ②「ガールフレンドと一緒に行ったのです」 文法:[助詞]着,了,过</p> <p>第4回 第2課『旅行』(2) ③「写真を撮ってはいけません」 ④「一番印象に残ったのは何ですか」 文法:[疑問詞]谁 / 什么 / 哪儿,哪里 / 什么时候 / 为什么 / 怎么</p> <p>第5回 第3課『スポーツ』(1) ①「本当に恥ずかしいです」 ②「私はジャッキー・チェンの弟子です」 文法:兼語文 / 「听说,听～说」</p> <p>第6回 第3課『スポーツ』(2) ③「オリンピックは北京で開催します」 ④「選手を応援しています」 文法:「毎」と「隔」/[接続詞]可是</p> <p>第7回 第1課～第3課の復習</p> <p>第8回 第4課『銀行で』(1) ①「口座を作ってください」 ②「確認してください」 文法:数の言い方</p> <p>第9回 第4課『銀行で』(2) ③「お金を引き出したいのですが」 ④「両替したいのですが」 文法:「二」と「兩」/小数と比率の読み方</p> <p>第10回 第5課『郵便局で』(1) ①「切手をください」 ②「日本まで何日かかりますか」 文法:名詞述語文 / ～左右 / 至少～</p> <p>第11回 第5課『郵便局で』(2) ③「タクシーをよびましょう」 ④「身分証明書をお持ちですか」 文法:可能補語</p> <p>第12回 第6課『電話をする』(1) ①「大都大学の電話番号は何番ですか」 ②「中国語教育センターをお願いします」 文法:「吗」と「呢」</p> <p>第13回 第6課『電話をする』(3) ③「お電話です」 ④「メールアドレスが変わりました。」 文法:因为～所以～ / 不是～吗</p> <p>第14回 第4課～第6課の復習</p> <p>第15回 総合復習</p> <p>第16回 期末試験</p>			
<b>キーワード</b>			
<b>教科書・教材・参考書</b>	<p>テキスト:高芳・山本範子等『中級中国語へのアクセス』(三修社)</p> <p>辞書:上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)</p>		
<b>成績評価の方法・基準等</b>	期末テスト(50%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
<b>受講要件(履修条件)</b>	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
<b>本科目の位置づけ / 学習・教育目標</b>	中国語による簡単な日常会話を話せるようにする。 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
<b>備考(準備学習等)</b>	中国語Ⅰ、Ⅱを修得すること		

2010年度 前期	曜日・校時 火4 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590045010 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅲ (2T 六) Chinese III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) 2T 六	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 劉 愛莉 / kym_ar@hotmail.com / 非常勤講師室 / 095-887-3467 / 火曜日12:00～13:00 非常勤講師室・要確認			
担当教員	劉 愛莉		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:一年次で学んだ基礎内容を復習しながら、より多くの文法事項(疑問詞“怎么”を使った疑問文、“是……的”構文、様態補語)など及び通学手段、夏休みの計画など実用的な会話文を習得する。言葉の学習を通じて、現代中国の事情(日本旅行ブーム、大学生生活)を知り、中国文化にもふれる。 授業方法(学習指導法):音読練習をする。またテキスト第1課から第5課までの本文、文法の説明を行い、繰り返し「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」などを練習する。 到達目標:既習文型、文法、表現を基礎に中国語の会話、応用能力を高め、中国語検定試験4級資格取得を目指す。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 一年次で習った「“是”構文、疑問文、述語文、前置詞……」などの文法事項を復習し、応用練習する。語彙を増やし、日常生活のさまざまな場面に即した会話(通学、四季、小旅行、将来の夢、夏休みの生活)を勉強する。多くの練習問題にも取り組み、中国の学生の生活、中国人の季節の楽しみ方などを紹介する。16回8月3日定期試験 第1回 4月13日 一年次に習った中国語の復習 第2回 4月20日 第1課 「通学」 第3回 4月27日 疑問詞“怎么”を使った疑問文 “是……的”構文 第4回 5月11日 第2課 「四季」 第5回 5月18日 接続詞 副詞の連用 第6回 5月25日 第3課 「日帰り旅行」 第7回 6月1日 様態補語 助詞 語気助詞 第8回 6月8日 復習①(第1課～第3課) 第9回 6月15日 中間試験 第10回 6月22日 第4課 「ゆめ」 第11回 6月29日 動作の進行を表す文 ちょっとの表現(1)、(2) 動詞の重ね形 第12回 7月6日 第5課 「夏休み」 第13回 7月13日 方向補語 アスペクト助詞 第14回 7月20日 復習②(第4課～第5課) 第15回 7月27日 まとめ 閲読練習①			
キーワード	会話 文法 練習問題 中国事情		
教科書・教材・参考書	テキスト:『実用中国語10課 2』(白帝社) 辞書:中国語辞書(一年生で使ったもの可)		
成績評価の方法・基準等	授業への参加・態度 20% 中間試験 40% 定期記試験 40%。		
受講要件(履修条件)	出席を重視し且つ授業中積極的に会話練習に参加すること。教科書、筆記用具、辞書必携。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	日本中国語検定協会試験4級合格を目指す。		
備考(準備学習等)	予習、復習が必要、習った単語を覚え、宿題を完成すること。		

2010年度 前期	曜日・校時 火4 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590045009 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅲ (2T五) Chinese III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) 2T五	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 張 美玉 / yrc210814@ezweb.ne.jp / 非常勤講師控室 / / 授業の前後			
担当教員	張 美玉		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 中国語の勉強を通して、中国語に興味を持ってもらいます。また、学生の興味と必要に応じて様々な教材を使い、中国の歴史や中国社会に対する理解を深めることが狙いです。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 授業では、イラストや図を使うことで理解の助けとします。口頭や動作を使つての練習や学生同士の会話練習も行います。 <b>到達目標:</b> 発声練習、朗読などを通して、より正確な発音を身に付け、日常会話能力を高めると同時に基本的な文法・語彙を取得し、四技能ともにバランスよく定着し、簡単な文章の読み書きができるようになることを目標とします。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 授業内容(概要): 自宅での予習や復習をしたり、各課のCDを聞いたりしてから授業に望んで欲しい。また、各課で補足した言葉も覚え、宿題を時間通りに提出するようにしてほしい。			
第1回 第1課 「上学」 “怎么”を使った疑問文/是…的構文/連動文 第2回 第1課 「上学」 本文・会話・練習問題・関連単語 第3回 第2課 「四季」 “会” “能” “可以” / 虽然…但是… / 又…又… 第4回 第2課 「四季」 本文・会話・練習問題・関連単語 第5回 第3課 「一日遊」 様態補語“得” / 助詞“的” / 語気助詞“吧” 第6回 第3課 「一日遊」 本文・会話・練習問題・関連単語 第7回 復習① 第1課～第3課 ポイント復習” 第8回 復習① 本文・会話表現の確認復習 第9回 第4課 「願望」 “正在～呢” / “有点儿” “一点儿” “一下” 第10回 第4課 「願望」 本文・会話・練習問題・関連単語 第11回 第5課 「暑假」 方向補語“来” “去” / 助詞“着” 第12回 第5課 「暑假」 本文・会話・練習問題・関連単語 第13回 復習② 第1課～第5課までの総復習 第14回 復習② 期末試験に向けての総復習 第15回 復習② 全授業の総括(期末試験含む)			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	実用中国語 10課 2 劉愛莉 連清浩 高季文 王桂紅 著 白帝社		
成績評価の方法・基準等	定期試験、授業への積極的参加状況などを考慮して評価します 学習態度と授業への積極的参加状況30% 課題提出と小テスト20% 定期試験50%		
受講要件(履修条件)	原則として全回出席しなければ単位は取れません。ただし、やむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は、個別指導を行う。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火4 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590045008 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅲ (2T 四) Chinese III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) 2T 四	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 陳 振華 / chzh@hotmail.com / 非常勤控え室 / / 火曜日 16:00～17:00			
担当教員	陳 振華		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい</b> : 中国語の単語や文法などを更に習得し、授業の狙いは次の通りです。 1、全ての中国語の補語を学ぶ。 2、全ての中国語の比較表現を学ぶ。 3、兼語文を学ぶ。 4、全ての「把」の構文を学ぶ。 5、仮定を表す複文及び条件関係複文を学ぶ。 6、逆接関係及び連続関係を学ぶ。以上の文法のほか、人と対面する会話及びショッピング、外食、観光などの会話を勉強し、中国語の日常生活の会話をやや流暢に出来る。やや中級気味中国語文を閲読し、中国の文化 <b>授業方法(学習指導法)</b> : 講義形式を基本としながら、会話練習に力を入れる。教師と学生はお互いに中国語の会話をしたり、学生練習をしてもらったりします。学生諸君は授業の前に事前予習する必要があります。今回採用されたテキストの本文新出単語に中国語の解釈がないので、授業の前に辞書で調べる必要があります。習ったものを固めるために、宿題をしてもらいますし、学習の成果を検証するために、三週間一回小テストを行います。 <b>到達目標</b> : 授業到達目標は次の通りです。 1、中国語の補語を全てしっかり身につけ、全ての補語を自然に応用できるレベルに達する。 2、中国語の比較表現を全て間違いないに応用できる水準に達する。 3、兼語文と「把」の構文の目的語位置を間違いなく、正しく使えること。 4、仮定を表す複文と条件関係複文の区別できるし、自然に応用できること。 5、逆接関係及び連続関係を自然に応用で			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 第1回～第3回 第10課 咱们什么时候见面？ ①イントネーション疑問文 ②結果補語 ③疑問詞+“都/也” ④連用修飾の目印“地” ⑤“有点儿”と“一点儿” 第4回～第6回 第11課 这个电视塔真高。 ①方向補語 ②比較表現(1) ③比較表現(2) ④百以上の数の言い方 ⑤金額の言い方 第7回～第9回 第12課 你喜欢什么样的？ ①“A是A, 但是～” ②可能補語 ③“叫”を用いる兼語文 ④“先～然后～” ⑤比較の表現(3) 第10回～第12回 第13課 味道怎么样？ ①様態補語 ②“请”を用いる兼語文 ③“把”構文(1) ④指示代詞 ⑤“几”と“多少” 第13回～第15回 第14課 祝你新年快乐 ①“一～就～” ②“要是～” ③可能を表す助動詞と可能補語の違い ④“多”+形容詞 感嘆文 ⑤程度補語 第1回 4月13日 第10課 新出単語のチェック、ポイントの説明、本文の説明 第2回 4月20日 第10課 本文の暗誦、会話の練習、短文の閲読 第3回 4月27日 第10課 練習、ドリル、小テスト 第4回 5月11日 第11課 新出単語のチェック、ポイントの説明、本文の説明 第5回 5月18日 第11課 本文の暗誦、会話の練習、短文の閲読 第6回 5月25日 第11課 練習、ドリル、小テスト 第7回 6月1日 第12課 新出単語のチェック、ポイントの説明、本文の説明 第8回 6月8日 第12課 本文の暗誦、会話の練習、短文の閲読 第9回 6月15日 第12課 練習、ドリル、小テスト 第10回 6月22日 第13課 新出単語のチェック、ポイントの説明、本文の説明 第11回 6月29日 第13課 本文の暗誦、会話の練習、短文の閲読 第12回 7月6日 第13課 練習、ドリル、小テスト 第13回 7月13日 第14課 新出単語のチェック、ポイントの説明、本文の説明 第14回 7月20日 第14課 本文の暗誦、会話の練習、短文の閲読 第15回 7月27日 第14課 練習、ドリル、小テスト			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	王 紅艷など編集 『話す中国語・読む中国語 你好！晴佳』 朝日出版社 ISBN978-4-255-45185-5		
成績評価の方法・基準等	授業への参加状況と平素の学習態度 20%、宿題と小テスト 20%、定期試験 60%		
受講要件(履修条件)	履修上の注意：単位を取得するのは定期試験、宿題と小テストの成績の次第だけではない、出席も見るので、無断欠席しないでください。		
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590045013 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅲ (2E5) Chinese III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) 2E5	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 周 国強 / zgg@sun.ac.jp / 非常勤講師控室 / / 授業の前後			
担当教員	周 国強		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。 <b>到達目標:</b> 1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。 第16回目 8月5日 定期試験 第1回 第1回 第1課『休日の前』(1)①「それはたいへん残念です」 ②「ゴールデンウィークは旅行に行きたい」 文法：[助動詞]要・想+動詞 / [副詞]更 / [接続詞]不过 第2回 第2回 第1課『休日の前』(2) ③「中国人はゴールデンウィークをどう過ごしますか」 ④「ちょっと手伝って」 文法：「把」構文 第3回 第3回 第2課『旅行』(1)①「どうしてまだここで食べているのですか」 ②「ガールフレンドと一緒に行ったのです」 文法：[助詞]着,了,过 第4回 第4回 第2課『旅行』(2) ③「写真を撮ってはいけません」 ④「一番印象に残ったのは何ですか」 文法：[疑問詞]谁 / 什么 / 哪儿,哪里 / 什么时候 / 为什么 / 怎么 第5回 第5回 第3課『スポーツ』(1) ①「本当に恥ずかしいです」 ②「私はジャッキー・チェンの弟子です」 文法：兼語文 / 「听说,听～说」 第6回 第6回 第3課『スポーツ』(2) ③「オリンピックは北京で開催します」 ④「選手を応援しています」 文法：「毎」と「隔」 / [接続詞]可是 第7回 第7回 第1課～第3課の復習 第8回 第8回 第4課『銀行で』(1) ①「口座を作ってください」 ②「確認してください」 文法：数の言い方 第9回 第9回 第4課『銀行で』(2) ③「お金を引き出したいのですが」 ④「両替したいのですが」 文法：「二」と「兩」 / 小数と比率の読み方 第10回 第10回 第5課『郵便局で』(1) ①「切手をください」 ②「日本まで何日かかりますか」 文法：名詞述語文 / ～左右 / 至少～ 第11回 第11回 第5課『郵便局で』(2) ③「タクシーをよびましょう」 ④「身分証明書をお持ちですか」 文法：可能補語 第12回 第12回 第6課『電話をする』(1) ①「大都大学の電話番号は何番ですか」 ②「中国語教育センターをお願いします」 文法：「吗」と「呢」 第13回 第13回 第6課『電話をする』(2) ③「お電話です」 ④「メールアドレスが変わりました」 文法：因为～所以～ / 不是～吗 第14回 第14回 第4課～第6課の復習 第15回 第15回 総合復習			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキスト：高芳・劉軍『中級中国語へのアクセス』（三修社） 辞書：上野恵司『標準中国語辞典』（白帝社）		
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ/学習			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590045012 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅲ (2E7) Chinese III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) 2E7	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 楊 曉安 / xiaoran@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部新館1階 / 095-819-2166 (内線 2166) / 火曜日、金曜日 (16:10-18:00)			
担当教員	楊 曉安		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b>			
ねらい:本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。			
授業方法(学習指導法):1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。			
到達目標:1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>			
概要:語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
16回 8月5日:定期試験			
第1回 第1課『休日の前』(1)①「それはたいへん残念です」 ②「ゴールデンウィークは旅行に行きたい」 文法:[助動詞]要・想+動詞/[副詞]更/[接続詞]不过			
第2回 第1課『休日の前』(2)③「中国人はゴールデンウィークをどう過ごしますか」 ④「ちょっと手伝って」 文法:「把」構文			
第3回 第2課『旅行』(1)①「どうしてまだここで食べているのですか」 ②「ガールフレンドと一緒にいったのです」 文法:[助詞]着,了,過			
第4回 第2課『旅行』(2) ③「写真を撮ってはいけません」 ④「一番印象に残ったのは何ですか」文法:[疑問詞]谁/什么/哪儿,哪里/什么时候/为什么/怎么			
第5回 第3課『スポーツ』(1)①「本当に恥ずかしいです」 ②「私はジャッキー・チェンの弟子です」 文法:兼語文/「听说,听~说」			
第6回 第3課『スポーツ』(2)③「オリンピックは北京で開催します」 ④「選手を応援しています」 文法:「毎」と「隔」/[接続詞]可是			
第7回 第1課~第3課の復習			
第8回 第4課『銀行で』(1)①「口座を作ってください」 ②「確認してください」 文法:数の言い方			
第9回 第4課『銀行で』(2)③「お金を引き出したいのですが」 ④「両替したいのですが」 文法:「二」と「兩」/小数と比率の読み方			
第10回 第5課『郵便局で』(1)①「切手をください」 ②「日本まで何日かかりますか」 文法:名詞述語文/~左右/至少~			
第11回 第5課『郵便局で』(2)③「タクシーをよびましょう」 ④「身分証明書をお持ちですか」 文法:可能補語			
第12回 第6課『電話をする』(1)①「大都大学の電話番号は何番ですか」 ②「中国語教育センターをお願いします」 文法:「吗」と「呢」			
第13回 第6課『電話をする』(2)③「お電話です」 ④「メールアドレスが変わりました」 文法:因为~所以~/不是~吗			
第14回 第14回 第4課~第6課の復習			
第15回 総合復習			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	テキスト:高芳・山本範子等『中級中国語へのアクセス』(三修社) 辞書:上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)		
成績評価の方法・基準等	期末テスト(50%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590045011 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅲ (2E6) Chinese III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等)		科目分類 外国語科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 高 季文 / jgypk388@ybb.ne.jp / 非常勤講師室 / 095-843-3675 / 木曜日 14:30-15:50			
担当教員	高 季文		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 最初に徹底的正確な発音のマスターと、基本ちょっと「の表現「有点儿、一点儿」構造の理解を目指す。それを元にして、発音、基礎的文法、慣用表現を修得する。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 発音の練習を繰り返すとともに、多くの慣用句を身につけ、さらに日常的な表現を学び、実際に会話ができるようにする。 <b>到達目標:</b> 日常会話ができること。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 16回目 定期考査 第1回 発音の復習・自己紹介 第2回 第一課上学 疑問詞「怎么」を使って疑問文 第3回 「是~的」 構文 第4回 第二課 四季 第5回 助動詞「会 能 可以」 接続語 「虽然 A 但是 B」 第6回 第三課 一日游 第7回 様態補語 語気助詞「吧」 第8回 復習① テスト 第9回 第四課 愿望 第10回 動作の進行を表す文 第11回 ちょっと「の表現「有点儿、一点儿」 第12回 第五課 暑假 第13回 方向補語 アスペクト助詞「着」 第14回 復習② 第15回 まとめ			
キーワード			
教科書・教材・参考書	『実用中国語10課 2』(劉愛莉等、白帝社)		
成績評価の方法・基準等	1, 課題(宿題) 5点×4回=20点 2, 定期試験60% 3, 出席20%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	中国語による簡単な日常会話を話せるようにする。現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
備考(準備学習等)	現在中国の社会状況		

2010年度 前期	曜日・校時 金2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590045016 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅲ (2P18～19・2F 二) Chinese III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 303	
対象学生(クラス等)	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 祁 建民 / qjmjp@sun.ac.jp / 非常勤教員控室 / 095-813-5138 /			
担当教員	祁 建民		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。 <b>到達目標:</b> 1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。「16回目 8月16日 定期試験」 第1回 4月9日 第1課 『休日の前』(1) 会話1～4 第2回 4月16日 第1課 『休日の前』(2) 中国の記念日と休日 第3回 4月23日 第2課 『旅行』(1) 会話1～4 第4回 4月30日 第2課 『旅行』(2) 劉ペンさんからの手紙(1) 第5回 5月7日 第3課 『スポーツ』(1) 会話1～4 第6回 5月14日 第3課 『スポーツ』(2) 劉ペンさんからの手紙(2) 第7回 5月21日 第1課～第3課の復習 第8回 5月28日 第4課 『銀行で』(1) 会話1～4 第9回 6月4日 第4課 『銀行で』(2) 留学生は中国の銀行からお金が借りられますか 第10回 6月11日 第5課 『郵便局で』(1) 会話1～4 第11回 6月18日 第5課 『郵便局で』(2) 中国語の雑誌を予約購読します 第12回 6月25日 第6課 『電話をする』(1) 会話1～4 第13回 7月2日 第6課 『電話をする』(2) 救急センターの電話番号は120です 第14回 7月9日 第4課～第6課の復習 第15回 7月16日 総合復習、文法のまとめ			
<b>キーワード</b>			
<b>教科書・教材・参考書</b>	テキスト：高芳・山本範子・劉軍・肖爽『中級中国語へのアクセス』（三修社） 辞書：上野恵司『標準中国語辞典』（白帝社）		
<b>成績評価の方法・基準等</b>	期末テスト（50%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
<b>受講要件(履修条件)</b>	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
<b>本科目の位置づけ/学習・教育目標</b>			
<b>備考(準備学習等)</b>			

2010年度 前期	曜日・校時 金2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590045015 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅲ (2F一) Chinese III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) 2F-	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 高山 乾忠 / takayama@wesleyan.ac.jp / 非常勤室 / /			
担当教員	高山 乾忠		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 1年次に習得した文法事項などを確認しながら、正しい会話能力を身につけさせ、作文能力(理解・運用)など平易な読解能力を養い、会話力の向上を図る。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 生活の中でよく使われる定型表現や、会話の基本的な決まり文句などの習熟に力点をおき、聞き取りや読み練習をする。また、異文化に対する理解を深める為に、中国の文化などを各教科に取り込みながら、紹介していくことをこころがける。 <b>到達目標:</b> (財)アジア国際交流奨学財団主催、「実用中国技能検定試験」(準4級)の資格を目指す。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 第1回 4月16日 第1/2課 発音編(I) 第2回 4月23日 第3/4課 発音編(II) 第3回 4月30日 第5課 会話文 単語 文法 1,2 練習問題 第4回 5月7日 第6課 会話文 単語 文法 1,2 練習問題 第5回 5月14日 第7課 会話文 単語 文法 1,2 練習問 第6回 5月21日 第8課 会話文 単語 文法 1,2 練習問題 第7回 5月28日 第9課 会話文 単語 文法 1,2,3,4,5 第8回 6月4日 中間テスト 第9回 6月11日 第9/10課 練習問題 課会話文 単語 第10回 6月18日 第10課 文法 1,2 練習問題 第11回 6月25日 第11課 会話文 単語 文法 1,2,3,4,5 第12回 7月2日 第11/12課 練習問題 会話文 第13回 7月9日 第12課 単語 文法 1,2, 3,4, 練習問題 第14回 7月16日 第13課 会話文 単語 文法 1,2,3,4 第15回 7月23日 第13/14課 練習問題 会話文 単語 ※8月6日 前期試験			
キーワード	言語 外国語 中国語 文化		
教科書・教材・参考書	(北京大学 出版)「易読中国語Ⅰ」 日中辞典・中日辞典		
成績評価の方法・基準等	出席状況、平素の学習意欲や態度など20%、中間テスト10%、定期試験70%で総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)	原則として全回講義の出席を条件とする		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590045014	●中国語Ⅲ (2L1～2) Chinese III		
授業科目/(英語名)			
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) 2L1～2	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 楊 曉安 / xiaoan@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部新館1階 / 095-819-2166 (内線2166) / 火曜日、金曜日 (16:10-18:00)			
担当教員	楊 曉安		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p><b>ねらい:</b>本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。</p> <p><b>到達目標:</b>1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>概要: 語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <p>16回 8月6日: 定期試験</p> <p>第1回 第1課『休日の前』(1)①「それはたいへん残念です」 ②「ゴールデンウィークは旅行に行きたい」 文法: [助動詞]要・想+動詞 / [副詞]更 / [接続詞]不过</p> <p>第2回 第1課『休日の前』(2) ③「中国人はゴールデンウィークをどう過ごしますか」 ④「ちょっと手伝って」 文法: 「把」構文</p> <p>第3回 第2課『旅行』(1)①「どうしてまだここで食べているのですか」 ②「ガールフレンドと一緒にいったのです」 文法: [助詞]着,了,過</p> <p>第4回 第2課『旅行』(2) ③「写真を撮ってはいけません」 ④「一番印象に残ったのは何ですか」 文法: [疑問詞]誰 / 什么 / 哪儿,哪里 / 什么时候 / 为什么 / 怎么</p> <p>第5回 第3課『スポーツ』(1) ①「本当に恥ずかしいです」 ②「私はジャッキー・チェンの弟子です」 文法: 兼語文 / 「听说,听～说」</p> <p>第6回 第3課『スポーツ』(2) ③「オリンピックは北京で開催します」 ④「選手を応援しています」 文法: 「毎」と「隔」 / [接続詞]可是</p> <p>第7回 第1課～第3課の復習</p> <p>第8回 第4課『銀行で』(1) ①「口座を作ってください」 ②「確認してください」 文法: 数の言い方</p> <p>第9回 第4課『銀行で』(2) ③「お金を引き出したいのですが」 ④「両替したいのですが」 文法: 「二」と「兩」 / 小数と比率の読み方</p> <p>第10回 第5課『郵便局で』(1) ①「切手をください」 ②「日本まで何日かかりますか」 文法: 名詞述語文 / ～左右 / 至少～</p> <p>第11回 第5課『郵便局で』(2) ③「タクシーをよびましょう」 ④「身分証明書をお持ちですか」 文法: 可能補語</p> <p>第12回 第6課『電話をする』(1) ①「大都市の電話番号は何番ですか」 ②「中国語教育センターをお願いします」 文法: 「吗」と「呢」</p> <p>第13回 第6課『電話をする』(2) ③「お電話です」 ④「メールアドレスが変わりました」 文法: 因为～所以～ / 不是～吗</p> <p>第14回 第14回 第4課～第6課の復習</p> <p>第15回 総合復習</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキスト: 高芳・山本範子等『中級中国語へのアクセス』(三修社) 辞書: 上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)		
成績評価の方法・基準等	期末テスト(50%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590045019 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅲ (2E8) Chinese III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 303	
対象学生(クラス等)		科目分類 外国語科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 祁 建民 / qjmjp@sun.ac.jp / 非常勤教員控室 / 095-813-5138 /			
担当教員	祁 建民		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。 <b>到達目標:</b> 1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。「16回目 8月6日 定期試験」 第1回 4月9日 第1課 『休日の前』(1) 会話1～4 第2回 4月16日 第1課 『休日の前』(2) 中国の記念日と休日 第3回 4月23日 第2課 『旅行』(1) 会話1～4 第4回 4月30日 第2課 『旅行』(2) 劉ピンさんからの手紙(1) 第5回 5月7日 第3課 『スポーツ』(1) 会話1～4 第6回 5月14日 第3課 『スポーツ』(2) 劉ピンさんからの手紙(2) 第7回 5月21日 第1課～第3課の復習 第8回 5月28日 第4課 『銀行で』(1) 会話1～4 第9回 6月4日 第4課 『銀行で』(2) 留学生は中国の銀行からお金が借りられますか 第10回 6月11日 第5課 『郵便局で』(1) 会話1～4 第11回 6月18日 第5課 『郵便局で』(2) 中国語の雑誌を予約購読します 第12回 6月25日 第6課 『電話をする』(1) 会話1～4 第13回 7月2日 第6課 『電話をする』(2) 救急センターの電話番号は120です 第14回 7月9日 第4課～第6課の復習 第15回 7月16日 総合復習、文法のまとめ			
<b>キーワード</b>			
<b>教科書・教材・参考書</b>	テキスト：高芳・山本範子・劉軍・肖爽『中級中国語へのアクセス』(三修社) 辞書：上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)		
<b>成績評価の方法・基準等</b>	期末テスト(50%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
<b>受講要件(履修条件)</b>	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
<b>本科目の位置づけ/学習・教育目標</b>			
<b>備考(準備学習等)</b>			

2010年度 前期	曜日・校時 金3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590045018 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅲ (2E9) Chinese III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) 2E9	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 高山 乾忠 / takayama@wesleyan.ac.jp / 非常勤室 / /			
担当教員	高山 乾忠		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 1年次に習得した文法事項などを確認しながら、正しい会話能力を身につけさせ、作文能力(理解・運用)など平易な読解能力を養い、会話力の向上を図る。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 生活の中でよく使われる定型表現や、会話の基本的な決まり文句などの習熟に力点をおき、聞き取りや読み練習をする。また、異文化に対する理解を深める為に、中国の文化などを各教科に取り込みながら、紹介していくことをこころがける。 <b>到達目標:</b> (財)アジア国際交流奨学財団主催、「実用中国技能検定試験」(準4級)の資格を目指す。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 第1回 4月16日 第1/2課 発音編(I) 第2回 4月23日 第3/4課 発音編(II) 第3回 4月30日 第5課 会話文 単語 文法 1,2 練習問題 第4回 5月7日 第6課 会話文 単語 文法 1,2 練習問題 第5回 5月14日 第7課 会話文 単語 文法 1,2 練習問 第6回 5月21日 第8課 会話文 単語 文法 1,2 練習問題 第7回 5月28日 第9課 会話文 単語 文法 1,2,3,4,5 第8回 6月4日 中間テスト 第9回 6月11日 第9/10課 練習問題 課会話文 単語 第10回 6月18日 第10課 文法 1,2 練習問題 第11回 6月25日 第11課 会話文 単語 文法 1,2,3,4,5 第12回 7月2日 第11/12課 練習問題 会話文 第13回 7月9日 第12課 単語 文法 1,2, 3,4, 練習問題 第14回 7月16日 第13課 会話文 単語 文法 1,2,3,4 第15回 7月23日 第13/14課 練習問題 会話文 単語 ※8月6日 前期試験			
キーワード	言語 外国語 中国語 文化		
教科書・教材・参考書	(北京大学 出版)「易読中国語Ⅰ」 日中辞典・中日辞典		
成績評価の方法・基準等	出席状況、平素の学習意欲や態度など20%、中間テスト10%、定期試験70%で総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)	原則として全回講義の出席を条件とする		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590045017 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅲ (2E10) Chinese III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) 2E10	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 楊 曉安 / xiaoan@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部新館1階 / 095-819-2166 (内線 2166) / 火曜日、金曜日 (16:10-18:00)			
担当教員	楊 曉安		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。 <b>到達目標:</b> 1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> <b>概要:</b> 語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
16回 8月6日:定期試験			
第1回 第1課『休日の前』(1)①「それはたいへん残念です」 ②「ゴールデンウィークは旅行に行きたい」 文法:[助動詞]要・想+動詞/[副詞]更/[接続詞]不过			
第2回 第1課『休日の前』(2)③「中国人はゴールデンウィークをどう過ごしますか」 ④「ちょっと手伝って」 文法:「把」構文			
第3回 第2課『旅行』(1)①「どうしてまだここで食べているのですか」 ②「ガールフレンドと一緒にいったのです」 文法:[助詞]着,了,過			
第4回 第2課『旅行』(2)③「写真を撮ってはいけません」 ④「一番印象に残ったのは何ですか」 文法:[疑問詞]谁/什么/哪儿,哪里/什么时候/为什么/怎么			
第5回 第3課『スポーツ』(1)①「本当に恥ずかしいです」 ②「私はジャッキー・チェンの弟子です」 文法:兼語文/「听说,听~说」			
第6回 第3課『スポーツ』(2) ③「オリンピックは北京で開催します」 ④「選手を応援しています」 文法:「每」と「隔」/[接続詞]可是			
第7回 第1課~第3課の復習			
第8回 第4課『銀行で』(1)①「口座を作ってください」 ②「確認してください」 文法:数の言い方			
第9回 第4課『銀行で』(2)③「お金を引き出したいのですが」 ④「両替したいのですが」 文法:「二」と「兩」/小数と比率の読み方			
第10回 第5課『郵便局で』(1)①「切手をください」 ②「日本まで何日かかりますか」 文法:名詞述語文/~左右/至少~			
第11回 第5課『郵便局で』(2)③「タクシーをよびましょう」 ④「身分証明書をお持ちですか」 文法:可能補語			
第12回 第6課『電話をする』(1)①「大都大学の電話番号は何番ですか」 ②「中国語教育センターをお願いします」 文法:「吗」と「呢」			
第13回 第6課『電話をする』(2)③「お電話です」 ④「メールアドレスが変わりました」 文法:因为~所以~/不是~吗			
第14回 第14回 第4課~第6課の復習			
第15回 総合復習			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキスト:高芳・山本範子等『中級中国語へのアクセス』(三修社) 辞書:上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)		
成績評価の方法・基準等	期末テスト(50%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 月2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590047001 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅳ (2M11～12) Chinese IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) 2M11～12		科目分類 外国語科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 高 芳 / g_fangyuan@yahoo.co.jp / 非常勤講師室 / 090-6264-6497 / 非常勤講師室にて随時・要確認			
担当教員	高 芳		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。 <b>到達目標:</b> 1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週の授業内容を含む)</b> 概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
16回 2月14日：定期試験			
第1回 第7課『天気』(1) 会話①「今日は暖かいですね」 会話②「真夏でもあまり暑くありません」 文法：主述述語文 / 即使～也～			
第2回 第7課『天気』(2) 確認小テスト第7課会話①と② 会話③「紅葉狩に行きましょう」 会話④「もうすぐ冬至です」 文法：只要～就～ / 了 / 有时～有时～ 豆知識「中国の気候」			
第3回 第8課『京劇』(1) 確認小テスト第7課会話③と④ 会話①「京劇に興味があります」 会話②「私は京劇のファンです」 文法：対～感(有)興味 時間状況語			
第4回 第8課『京劇』(2) 確認小テスト第8課会話①と② 会話③「私がおっと好きなのは京劇の歌詞です」 会話④「見れば見るほど面白くなります」 文法：～了～了 / 越～越～ 豆知識「京劇」			
第5回 第9課『病気』(1) 確認小テスト第8課会話③と④ 会話①「健康保険証を持っていますか」 会話②「どうしましたか」 文法：受身文(～られる) / 動量補語			
第6回 第9課『病気』(2) 確認小テスト第9課会話①と② 会話③「目薬を買いたいのですが」 会話④「苦いですか」 文法：一～就～ 豆知識「中国の病院」			
第7回 第7課～第9課の復習			
第8回 第10課『寮で』(1) 確認小テスト第9課会話③と④ 会話①「キッチンにあります」 会話②「学生寮より広いです」 文法：比較の表現			
第9回 第10課『寮で』(2) 確認小テスト第10課会話①と② 会話③「家具の置き方がとても合理的です」 会話④「カーテンがきれいです」 文法：[構造助詞]的、地、得 豆知識「中国の学生寮」			
第10回 第11課『勉強する』(1) 確認小テスト第10課会話③と④ 会話①「明日先生に渡さなければなりません」 会話②「もう先生に叱られました」 文法：結果補語 / 連～也(都)～			
第11回 第11課『勉強する』(2) 確認小テスト第11課会話①と② 会話③「今日のテストはどうでしたか」 会話④「将来何になりたいですか」 文法：不但～而且～ / 又、还、再 / 連動文 豆知識「中国の進学事情」			
第12回 第12課『別れ』(1) 確認小テスト第11課会話③と④ 会話①「時間がたつのは本当に速いですね」 会話②「とても緊張しています」 文法：(虽然)～但是～			
第13回 第12課『別れ』(2) 確認小テスト第12課会話①と② 会話③「開けて見てもいいですか」 会話④「送別をしてくださってありがとう」 文法：二重目的語 / 为(了)～ 豆知識「中国の留学生活」			
第14回 第10課～第12課の復習及び口頭試験			
第15回 総合復習			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキスト：高芳・山本範子等『中級中国語へのアクセス』(三修社) 辞書：上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)		
成績評価の方法・基準等	期末テスト(50%)、小テスト・課題、授業への積極的な参加(30%)、口頭試験(20%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 月3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590047002 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅳ (2D16～17) Chinese IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) 2D16・17	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 池 玉杰 / chi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp / 非常勤講師控室 / 840-2000 / 授業の前後、講義室にて			
担当教員	池 玉杰		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 聞く、話す、書く、読むの4つの要素を繰り返し訓練します。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 単語の書き取り、会話の暗記、文の朗読、文法の応用、言葉を作る、先生の質問に対して、中国語で答え、あるいは3人または4人の1つのグループで模擬会話を行うなどの方法を使って、授業に取り組む。 <b>到達目標:</b> 聞く、話す、書く、読むの4つ要素を練習し、中国の実用会話レベル能力を目標とする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 日常会話を中心とし、結果補語、“得”を用いる状態補語、“～得了”の使い方、連動文、家庭を表わす“如果、要是～的话”、兼語文、比較を表わす前置詞“比”、副詞“就”、方向補語、中国のお金の言い方など、日中、中日の翻訳あるいは通訳、日常会話を講習する。  第16回 2月14日 期末試験(筆記)  第1回 10月4日 第1課 泳ぎに行きました。(上) 第2回 10月18日 第1課 泳ぎに行きました。(下) 第3回 10月25日 第2課 私は北京ダックを食べたことはありません。(上) 第4回 11月1日 第2課 私は北京ダックを食べたことはありません。(下) 第5回 11月8日 口頭発表 第6回 11月15日 第3課 家庭教師をします。(上) 第7回 11月22日 第3課 家庭教師をします。(下) 第8回 11月29日 第4課 彼女は旅行に行きました。(上) 第9回 12月6日 第4課 彼女は旅行に行きました。(下) 第10回 12月13日 口頭発表 第11回 12月20日 第5課 明日のお天気はどうですか?(上) 第12回 1月17日 第5課 明日のお天気はどうですか?(下) 第13回 1月24日 第6課 休み中に帰国して休日を過ごします。(上) 第14回 1月31日 第6課 休み中に帰国して休日を過ごします。(下) 第15回 2月7日 口頭発表			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	*『学説中国語』 作者;池 玉杰/胡 振剛/趙 紅林 出版社;白帝社 日中、中日辞典		
成績評価の方法・基準等	期末試験50、口頭発表20、授業への積極的な取組状10、学習態度10、宿題10		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	期末試験50、口頭発表20、授業での積極的な態度10、学習態度10、宿題10		
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 月4 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590047003 授業科目/(英語名)	●中国語IV (2T一) Chinese IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) 2T一	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 池 玉杰 / chi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp / 非常勤講師控室 / 840-2000 / 授業の前後、講義室にて			
担当教員	池 玉杰		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 聞く、話す、書く、読むの4つの要素を繰り返し訓練します。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 単語の書き取り、会話の暗記、文の朗読、文法の応用、言葉を作る、先生の質問に対して、中国語で答え、あるいは3人または4人の1つのグループで模擬会話を行うなどの方法を使って、授業に取り組む。 <b>到達目標:</b> 聞く、話す、書く、読むの4つ要素を練習し、中国の実用会話レベル能力を目標とする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 日常会話を中心とし、結果補語、“得”を用いる状態補語、“～得了”の使い方、連動文、家庭を表わす“如果、要是～的话”、兼語文、比較を表わす前置詞“比”、副詞“就”、方向補語、中国のお金の言い方など、日中、中日の翻訳あるいは通訳、日常会話を講習する。  第16回 2月14日 期末試験(筆記)			
第1回 10月4日 第1課 泳ぎに行きました。(上) 第2回 10月18日 第1課 泳ぎに行きました。(下) 第3回 10月25日 第2課 私は北京ダックを食べたことはありません。(上) 第4回 11月1日 第2課 私は北京ダックを食べたことはありません。(下) 第5回 11月8日 口頭発表 第6回 11月15日 第3課 家庭教師をします。(上) 第7回 11月22日 第3課 家庭教師をします。(下) 第8回 11月29日 第4課 彼女は旅行に行きました。(上) 第9回 12月6日 第4課 彼女は旅行に行きました。(下) 第10回 12月13日 口頭発表 第11回 12月20日 第5課 明日のお天気はどうですか?(上) 第12回 1月17日 第5課 明日のお天気はどうですか?(下) 第13回 1月24日 第6課 休み中に帰国して休日を過ごします。(上) 第14回 1月31日 第6課 休み中に帰国して休日を過ごします。(下) 第15回 2月7日 口頭発表			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	*『学説中国語』 作者;池 玉杰/胡 振剛/趙 紅林 出版社;白帝社 日中、中日辞典		
成績評価の方法・基準等	期末試験50、口頭発表20、授業への積極的な取組状10、学習態度10、宿題10		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	期末試験50、口頭発表20、授業での積極的な態度10、学習態度10、宿題10		
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590047007 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅳ (2T三) Chinese IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) 2T三	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 張 美玉 / yrc210814@ezweb.ne.jp / 非常勤講師控室 / / 授業の前後			
担当教員	張 美玉		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 中国語の勉強を通して、中国語に興味を持ってもらいます。また、学生の興味と必要に応じて様々な教材を使い、中国の歴史や中国社会に対する理解を深めることが狙いです。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 授業では、イラストや図を使うことで理解の助けとし、会話文作成及びその発表の練習も行います。 <b>到達目標:</b> 前期の学習内容を固めながら、四技能の総合的な運用能力を身に付けることが目的です。簡単な文章の読み書きは勿論、中国語圏の人々との日常的なコミュニケーションがとれるようになることを目標とします。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 授業内容(概要): 自宅での予習や復習をしたり、各課のCDを聞いたりしてから授業に望んで欲しい。また、各課で補足した言葉も覚え、宿題を時間通りに提出するようにしてほしい。			
第1回 第6課 「兴趣」 結果補語“好”“完”“到”“懂”“错”など 第2回 第6課 「兴趣」 本文・会話・練習問題・関連単語 第3回 第7課 「读书」 可能補語“得”“不” / “得了”“不了” / “不但…而且” 第4回 第7課 「读书」 本文・会話・練習問題・関連単語 第5回 復習③ 第6・7課の復習 第6回 復習③ 本文・会話表現の確認復習 第7回 第8課 「过年」 兼語文“请”“叫”“让”“使” 第8回 第8課 「过年」 本文・会話・練習問題・関連単語 第9回 第9課 「网上聊天儿」 “把” / “要是” 第10回 第9課 「网上聊天儿」 本文・会話・練習問題・関連単語 第11回 第10課 「短期留学」 第11回 一边…一边 / 既…又 / 因为…所以 / 都 / 也 + 不 / 没 / 助動詞“得” 第12回 第10課 「短期留学」 第12回 本文・会話・練習問題・関連単語 第13回 復習④ 第6課～第10課までの総復習 第14回 復習④ 期末試験に向けての総復習 第15回 復習④ 全授業の総括(期末試験含む)			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	実用中国語 10課 2 劉愛莉 連清浩 高季文 王桂紅 著		
成績評価の方法・基準等	定期試験、授業への積極的参加状況などを考慮して評価します 学習態度と授業への積極的参加状況30% 課題提出と小テスト20% 定期試験50%		
受講要件(履修条件)	原則として全回出席しなければ単位は取れません。ただし、やむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は、個別指導を行う。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590047006 授業科目(英語名)	●中国語IV (2T 二) Chinese IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) 2T 二		科目分類 外国語科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 陳 振華 / chzh@hotmai.com / 非常勤控え室 / / 火曜日 16:00~17:00			
担当教員	陳 振華		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
ねらい:授業の狙いは次の通りです。 1、受身文及び意味上の受身文と「讓」を用いる兼語文(使役文)を学ぶ。 2、疑問詞の呼応用法、「是不是」疑問文及び反語文という疑問と関連がある文を学ぶ。 3、存現文を学ぶ。 4、因果関係、並列関係、累加関係などの複文を学ぶ。 5、診療を受ける、外出、お祝いなどの中国語日常会話と以上の文法と文型を学んで、中級中国語レベルに達する。 授業方法(学習指導法):講義形式を基本としながら、会話練習に力を入れる。教師と学生はお互いに中国語の会話をしたり、学生練習をしてもらったりします。学生諸君は授業の前に事前予習する必要があります。今回採用されたテキストの本文新出単語に中国語の解釈がないので、授業の前に辞書で調べる必要があります。習ったものを固めるために、宿題をしてもらいますし、学習の成果を検証するために、三週間一回小テストを行います。 到達目標:1、受身文及び意味上の受身文と「讓」を用いる兼語文(使役文)を自由に使える程度になる。2、疑問詞の呼応用法、「是不是」疑問文及び反語文という疑問と関連がある文を区別できるし、自然に話せます。3、存現文の意味が分かるし、書けます。 4、因果関係、並列関係、累加関係などの複文を自然に話せる、書けるの水準に達する。5、診療を受ける、外出、お祝いなどの中国語日常会話の勉強によって、本文を全部暗誦できるし、中国語日常会話の基本の言葉を身につけ、日常生活に簡単な会話を自由に行える程度になる。6、また、半年リスニングの訓練によって、中国語簡単な日常会話を聞き取れる水準に達する。7、テキストの短文を閲読することにより、中国語簡単な文章を辞書を引きながら、読めるレベルになる。8、中国語の総合能力は中級に相当する。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週の授業内容を含む)			
第1回~第3回 第16課 “珍珠”又聪明又可爱。 ①“又~又~” ②疑問詞の呼応用法 ③名詞・量詞の重ね型 ④受身文 ⑤文末助詞“了”(2)			
第4回~第6回 第17課 是不是感冒了? ①“一下” ②“~着~”疑問詞の呼応用法 ③“让”を用いる兼語文 ④“是不是”疑問文			
第7回~第9回 第18課 你没爬过富士山吗? ①意味上の受身文 ②反語文 ③文末助詞“了”(3) ④“就”と“才”(2)			
第10回~第12回 第19課 下雨了 ①存現文 ②推測を表す“可能” ③“~的时候” ④“连~都/也”			
第13回~第15回 第20課 祝你新年快乐 ①比較に用いる“多了” ②“因为~所以~” ③“一边~一边~” ④“祝~” ⑤“越~越~”			
第1回 10月5日	第15課	新出単語のチェック、ポイントの説明、本文の説明	
第2回 10月12日	第15課	本文の暗誦、会話の練習、短文の閲読	
第3回 10月19日	第15課	練習、ドリル、小テスト	
第4回 10月26日	第16課	新出単語のチェック、ポイントの説明、本文の説明、本文の暗誦、	
第5回 11月2日	第16課	会話の練習、短文の閲読、練習、ドリル、小テスト	
第6回 11月9日	第17課	新出単語のチェック、ポイントの説明、本文の説明、本文の暗誦	
第7回 11月16日	第17課	会話の練習、短文の閲読、練習、ドリル、小テスト	
第8回 11月30日	第18課	新出単語のチェック、ポイントの説明、本文の説明、本文の暗誦、	
第9回 12月7日	第18課	会話の練習、短文の閲読、練習、ドリル、小テスト	
第10回 12月14日	第19課	新出単語のチェック、ポイントの説明、本文の説明	
第11回 12月21日	第19課	本文の暗誦、会話の練習、短文の閲読	
第12回 1月11日	第19課	練習、ドリル、小テスト	
第13回 1月18日	第20課	新出単語のチェック、ポイントの説明、本文の説明	
第14回 1月25日	第20課	本文の暗誦、会話の練習、短文の閲読	
第15回 2月1日	第20課	練習、ドリル、小テスト	
キーワード			
教科書・教材・参考書	王 紅艷など編集 『話す中国語・読む中国語 你好!晴佳』 朝日出版社 ISBN978-4-255-45185-5		
成績評価の方法・基準等	授業への参加状況と平素の学習態度 20%、宿題と小テスト 20%、定期試験 60%		
受講要件(履修条件)	履修上の注意:単位を取得するのは定期試験、宿題と小テストの成績の次第だけではない、出席も見るので、無断欠席しないでください。		
本科目の位置づけ			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590047005 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅳ (2K26) Chinese IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 303	
対象学生(クラス等) 2K26	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 楊 曉安 / xiaoan@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部新館1階 / 095-819-2166 (内線 2166) / 火曜日、金曜日 (16:10-18:00)			
担当教員	楊 曉安		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p><b>ねらい:</b>本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。</p> <p><b>到達目標:</b>1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <p>16回 2月14日：定期試験</p> <p>第1回 第7課『天気』(1) ①「今日は暖かいですね」 ②「真夏でもあまり暑くありません」 文法：主述述語文 / 即使～也～</p> <p>第2回 第7課『天気』(2) ③「紅葉狩に行きましょう」 ④「もうすぐ冬至です」 文法：只要～就～ / 了 / 有时～有时～</p> <p>第3回 第8課『京劇』(1) ①「京劇に興味があります」 ②「私は京劇のファンです」 文法：对～感(有)兴趣 時間状況語</p> <p>第4回 第8課『京劇』(2) ③「私がおっと好きなのは京劇の歌詞です」 ④「見れば見るほど面白くなります」 文法：～了～了 / 越～越～</p> <p>第5回 第9課『病気』(1) ①「健康保険証を持っていますか」 ②「どうしましたか」 文法：受身文(～られる) / 動量補語</p> <p>第6回 第9課『病気』(2) ③「目薬を買いたいのですが」 ④「苦いですか」 文法：一～就～</p> <p>第7回 第7課～第9課の復習</p> <p>第8回 第10課『寮で』(1) ①「キッチンにあります」 ②「学生寮より広いです」 文法：比較の表現</p> <p>第9回 第10課『寮で』(2) ③「家具の置き方がとても合理的です」 ④「カーテンがきれいです」 文法：[構造助詞]的、地、得</p> <p>第10回 第11課『勉強する』(1) ①「明日先生に渡さなければなりません」 ②「もう先生に叱られました」 文法：結果補語 / 连～也(都)～</p> <p>第11回 第11課『勉強する』(2) ③「今日のテストはどうでしたか」 ④「将来何になりたいですか」 文法：不但～而且～ / 又、还、再 / 連動文</p> <p>第12回 第12課『別れ』(1) ①「時間がたつのは本当に速いですね」 ②「とても緊張しています」 文法：(虽然)～但是～</p> <p>第13回 第12課『別れ』(2) ③「開けて見てもいいですか」 ④「送別をしてくださってありがとう」 文法：二重目的語 / 为(了)～</p> <p>第14回 第10課～第12課の復習</p> <p>第15回 総合復習</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキスト：高芳・山本範子等『中級中国語へのアクセス』(三修社) 辞書：上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)		
成績評価の方法・基準等	期末テスト(50%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590047004 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅳ (2K25) Chinese IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) 環境科学部	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー ミテイ / lien@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部 B405 / 819-2741 / 火曜日 4時限			
担当教員	ミテイ		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。 <b>到達目標:</b> 1. 簡単な日常会話を話せるようにする。2. 基本的な中国語を読めるようにする。3. 基本的な中国語を書けるようにする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 第1回 第7課『天気』(1) ①「今日は暖かいですね」 ②「真夏でもあまり暑くありません」 文法: 主述述語文 / 即使～也～ 第2回 第7課『天気』(2) ③「紅葉狩に行きましょう」 ④「もうすぐ冬至です」 文法: 只要～就～ / 了 / 有时～有时～ 第3回 第8課『京劇』(1) ①「京劇に興味があります」 ②「私は京劇のファンです」 文法: 对～感(有)兴趣 時間状況語 第4回 第8課『京劇』(2) ③「私をもっと好きなのは京劇の歌詞です」 ④「見れば見るほど面白くなります。」 文法: ～了～了 / 越～越～ 第5回 第9課『病気』(1) ①「健康保険証を持っていますか」 ②「どうしましたか」 文法: 受身文(～られる) / 動量補語 第6回 第9課『病気』(2) ③「目薬を買いたいのですが」 ④「苦いですか」 文法: 一～就～ 第7回 第7課～第9課の復習 第8回 第10課『寮で』(1) ①「キッチンにあります」 ②「学生寮より広いです」 文法: 比較の表現 第9回 第10課『寮で』(2) ③「家具の置き方がとても合理的です」 ④「カーテンがきれいです」 文法: [構造助詞]的、地、得 第10回 第11課『勉強する』(1) ①「明日先生に渡さなければなりません」 ②「もう先生に叱られました」 文法: 結果補語 / 连～也(都)～ 第11回 第11課『勉強する』(2) ③「今日のテストはどうでしたか」 ④「将来何になりたいですか」 文法: 不但～而且～ / 又、还、再 / 連動文 第12回 第12課『別れ』(1) ①「時間がたつのは本当に速いですね」 ②「とても緊張しています」 文法: (虽然)～但是～ 第13回 第12課『別れ』(2) ③「開けて見てもいいですか」 ④「送別をしてくださってありがとう」 文法: 二重目的語 / 为(了)～ 第14回 第10課～第12課の復習 第15回 総合復習 第16回 期末試験			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	テキスト: 高芳・山本範子等『中級中国語へのアクセス』(三修社) 辞書: 上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)		
成績評価の方法・基準等	期末テスト(50%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ /学習・教育目標	中国語による簡単な日常会話を話せるようにする。 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
備考(準備学習等)	中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを修得すること。		

2010年度 後期	曜日・校時 火4 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590047010 授業科目/(英語名)	●中国語IV (2T 六) Chinese IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) 2T 六	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 劉 愛莉 / kym_ar@hotmail.com / 非常勤講師室 / 095-887-3467 / 火曜日12:00～13:00非常勤講師室・要確認			
担当教員	劉 愛莉		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:一年次で学んだ基礎内容を復習しながら、より多くの文法事項(疑問詞“怎么”を使った疑問文、“是……的”構文、様態補語)など及び通学手段、夏休みの計画など実用的な会話文を習得する。言葉の学習を通じて、現代中国の事情(日本旅行ブーム、大学生生活)を知り、中国文化にもふれる。 授業方法(学習指導法):音読練習をする。またテキスト第1課から第5課までの本文、文法の説明を行い、繰り返し「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」などを練習する。 到達目標:既習文型、文法、表現を基礎に中国語の会話、応用能力を高め、中国語検定試験4級資格取得を目指す。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 既習文法事項を復習し、応用する。さらに「結果補語、二重目的語、可能補語、兼語文、使役文、“把”構文……」などの文法事項を習う。語彙を増やし、日常生活のさまざまな場面に即した会話(趣味、お正月、インターネット、留学などについての話し)を勉強する。多くの練習問題にも取り組み、また中国の祝祭日や旧正月、有名な観光地などを紹介する。16回2月8日定期試験 第1回 10月5日 前期に習った中国語の復習、第6課 新出単語の音読 第2回 10月12日 第6課 「趣味」 第3回 10月19日 結果補語 二重目的語 第4回 10月26日 第7課 「読書」 第5回 11月2日 可能補語 接続詞 第6回 11月9日 復習③(第6課～第7課) 第7回 11月16日 中間試験 第8回 11月30日 第8課 「お正月」 第9回 12月7日 兼語文 使役文 比較文 第10回 12月14日 第9課 「チャットする」 第11回 12月21日 “把”構文 接続詞 第12回 1月11日 第10課 「短期留学」 第13回 1月18日 疑問詞(+名詞)+“都”/“也” 助動詞“得” 第14回 1月25日 復習④(第8課～第10課) 第15回 2月1日 まとめ 閲読練習②			
キーワード	会話 文法 練習問題 中国事情		
教科書・教材・参考書	テキスト:『実用中国語10課 2』(白帝社) 辞書:中国語辞書(一年生で使ったもの可)		
成績評価の方法・基準等	授業への参加・態度20% 中間試験40% 定期記試験40%。		
受講要件(履修条件)	出席を重視し且つ授業中積極的に会話練習に参加すること。教科書、筆記用具、辞書必携。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	日本中国語検定協会試験4級合格を目指す。		
備考(準備学習等)	予習、復習が必要、習った単語を覚え、宿題を完成すること。		

2010年度 後期	曜日・校時 火4 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590047009 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅳ (2T五) Chinese IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) 2T五	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 張 美玉 / yrc210814@ezweb.ne.jp / 非常勤講師控室 / / 授業の前後			
担当教員	張 美玉		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 中国語の勉強を通して、中国語に興味を持ってもらいます。また、学生の興味と必要に応じて様々な教材を使い、中国の歴史や中国社会に対する理解を深めることが狙いです。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 授業では、イラストや図を使うことで理解の助けとし、会話文作成及びその発表の練習も行います。 <b>到達目標:</b> 前期の学習内容を固めながら、四技能の総合的な運用能力を身に付けることが目的です。簡単な文章の読み書きは勿論、中国語圏の人々との日常的なコミュニケーションがとれるようになることを目標とします。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 授業内容(概要): 自宅での予習や復習をしたり、各課のCDを聞いたりしてから授業に望んで欲しい。また、各課で補足した言葉も覚え、宿題を時間通りに提出するようにしてほしい。			
第1回 第6課 「兴趣」 結果補語“好”“完”“到”“懂”“错”など 第2回 第6課 「兴趣」 本文・会話・練習問題・関連単語 第3回 第7課 「读书」 可能補語“得”“不” / “得了”“不了” / 不但…而且 第4回 第7課 「读书」 本文・会話・練習問題・関連単語 第5回 復習③ 第6・7課の復習 第6回 復習③ 本文・会話表現の確認復習 第7回 第8課 「过年」 兼語文“请”“叫”“让”“使” 第8回 第8課 「过年」 本文・会話・練習問題・関連単語 第9回 第9課 「网上聊天儿」 “把” / “要是” 第10回 第9課 「网上聊天儿」 本文・会話・練習問題・関連単語 第11回 第10課 「短期留学」 第11回 一边…一边 / 既…又 / 因为…所以 / 都 / 也 + 不 / 没 / 助動詞“得” 第12回 第10課 「短期留学」 第12回 本文・会話・練習問題・関連単語 第13回 復習④ 第6課～第10課までの総復習 第14回 復習④ 期末試験に向けての総復習 第15回 復習④ 全授業の総括(期末試験含む)			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	実用中国語 10課 2 劉愛莉 連清浩 高季文 王桂紅 著		
成績評価の方法・基準等	定期試験、授業への積極的参加状況などを考慮して評価します 学習態度と授業への積極的参加状況30% 課題提出と小テスト20% 定期試験50%		
受講要件(履修条件)	原則として全回出席しなければ単位は取れません。ただし、やむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は、個別指導を行う。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590047008 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅳ (2T 四) Chinese IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) 2T 四	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 陳 振華 / chzhzh@hotmail.com / 非常勤控え室 / / 火曜日 16:00~17:00			
担当教員	陳 振華		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 授業の狙いは次の通りです。 1、受身文及び意味上の受身文と「讓」を用いる兼語文(使役文)を学ぶ。 2、疑問詞の呼応用法、「是不是」疑問文及び反語文という疑問と関連がある文を学ぶ。 3、存現文を学ぶ。 4、因果関係、並列関係、累加関係などの複文を学ぶ。 5、診療を受ける、外出、お祝いなどの中国語日常会話と以上の文法と文型を学んで、中級中国語レベルに達する。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 講義形式を基本としながら、会話練習に力を入れる。教師と学生はお互いに中国語の会話をしたり、学生練習をしてもらったりします。学生諸君は授業の前に事前予習する必要があります。今回採用されたテキストの本文新出単語に中国語の解釈がないので、授業の前に辞書で調べる必要があります。習ったものを固めるために、宿題をしてもらいますし、学習の成果を検証するために、三週間一回小テストを行います。 <b>到達目標:</b> 1、受身文及び意味上の受身文と「讓」を用いる兼語文(使役文)を自由に使える程度になる。2、疑問詞の呼応用法、「是不是」疑問文及び反語文という疑問と関連がある文を区別できるし、自然に話せます。3、存現文の意味が分かるし、書けます。4、因果関係、並列関係、累加関係などの複文を自然に話せる、書けるの水準に達する。5、診療を受ける、外出、お祝いなどの中国語日常会話の勉強によって、本文を全部暗誦できるし、中国語日常会話の基本の言葉を身につけ、日常生活に簡単な会話を自由にできる程度になる。6、また、半年リスニングの訓練によって、中国語簡単な日常会話を聞き取れる水準に達する。7、テキストの短文を閲読することにより、中国語簡単な文章を辞書を引きながら、読めるレベルになる。8、中国語の総合能力は中級に相当する。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 第1回~第3回 第16課 “珍珠”又聪明又可爱。 ① “又~又~” ② 疑問詞の呼応用法 ③ 名詞・量詞の重ね型 ④ 受身文 ⑤ 文末助詞“了”(2) 第4回~第6回 第17課 是不是感冒了? ① “一下” ② “~着~” 疑問詞の呼応用法 ③ “让”を用いる兼語文 ④ “是不是” 疑問文 第7回~第9回 第18課 你没爬过富士山吗? ① 意味上の受身文 ② 反語文 ③ 文末助詞“了”(3) ④ “就”と“才”(2) 第10回~第12回 第19課 下雨了 ① 存現文 ② 推測を表す“可能” ③ “~的时候” ④ “连~都/也” 第13回~第15回 第20課 祝你新年快乐 ① 比較に用いる“多了” ② “因为~所以~” ③ “一边~一边~” ④ “祝~” ⑤ “越~越~” 第1回 10月5日 第15課 新出単語のチェック、ポイントの説明、本文の説明 第2回 10月12日 第15課 本文の暗誦、会話の練習、短文の閲読 第3回 10月19日 第15課 練習、ドリル、小テスト 第4回 10月26日 第16課 新出単語のチェック、ポイントの説明、本文の説明、本文の暗誦、 第5回 11月2日 第16課 会話の練習、短文の閲読、練習、ドリル、小テスト 第6回 11月9日 第17課 新出単語のチェック、ポイントの説明、本文の説明、本文の暗誦 第7回 11月16日 第17課 会話の練習、短文の閲読、練習、ドリル、小テスト 第8回 11月30日 第18課 新出単語のチェック、ポイントの説明、本文の説明、本文の暗誦、 第9回 12月7日 第18課 会話の練習、短文の閲読、練習、ドリル、小テスト 第10回 12月14日 第19課 新出単語のチェック、ポイントの説明、本文の説明 第11回 12月21日 第19課 本文の暗誦、会話の練習、短文の閲読 第12回 1月11日 第19課 練習、ドリル、小テスト 第13回 1月18日 第20課 新出単語のチェック、ポイントの説明、本文の説明 第14回 1月25日 第20課 本文の暗誦、会話の練習、短文の閲読 第15回 2月1日 第20課 練習、ドリル、小テスト			
キーワード			
教科書・教材・参考書	王 紅艷など編集 『話す中国語・読む中国語 你好!晴佳』 朝日出版社 ISBN978-4-255-45185-5		
成績評価の方法・基準等	授業への参加状況と平素の学習態度 20%、宿題と小テスト 20%、定期試験 60%		
受講要件(履修条件)	履修上の注意: 単位を取得するのは定期試験、宿題と小テストの成績の次第だけではない、出席も見るので、無断欠席しないでください。		
本科目の位置づけ			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 木2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590047013	●中国語Ⅳ (2E5) Chinese IV		
授業科目/(英語名)			
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) 2E5	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 周 国強 / zgg@sun.ac.jp / 非常勤講師控室 / / 授業の前後			
担当教員	周 国強		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b>			
<p><b>ねらい:</b>本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。</p> <p><b>到達目標:</b>1. 簡単な日常会話を話せるようにする。2. 基本的な中国語を読めるようにする。3. 基本的な中国語を書けるようにする。4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。</p>			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>			
<p>語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p>			
第16回目 2月10日 定期試験			
第1回 第1回 第7課『天気』(1) ①「今日は暖かいですね」 ②「真夏でもあまり暑くありません」 文法：主述述語文 / 即使～也～			
第2回 第2回 第7課『天気』(2) ③「紅葉狩に行きましょう」 ④「もうすぐ冬至です」 文法：只要～就～ / 了 / 有时～有时～			
第3回 第3回 第8課『京劇』(1) ①「京劇に興味があります」 ②「私は京劇のファンです」 文法：对～感(有)兴趣 時間状況語			
第4回 第4回 第8課『京劇』(2) ③「私がおもったのは京劇の歌詞です」 ④「見れば見るほど面白くなります」 文法：～了～了 / 越～越～			
第5回 第5回 第9課『病気』(1) ①「健康保険証を持っていますか」 ②「どうしましたか」 文法：受身文(～られる) / 動量補語			
第6回 第6回 第9課『病気』(2) ③「目薬を買いたいのですが」 ④「苦いですか」 文法：一～就～			
第7回 第7回 第7課～第9課の復習			
第8回 第8回 第10課『寮で』(1) ①「キッチンにあります」 ②「学生寮より広いです」 文法：比較の表現			
第9回 第9回 第10課『寮で』(2) ③「家具の置き方がとても合理的です」 ④「カーテンがきれいです」 文法：[構造助詞]的、地、得			
第10回 第10回 第11課『勉強する』(1) ①「明日先生に渡さなければなりません」 ②「もう先生に叱られました」 文法：結果補語 / 连～也(都)～			
第11回 第11回 第11課『勉強する』(2) ③「今日のテストはどうでしたか」 ④「将来何になりたいですか」 文法：不但～而且～ / 又、还、再 / 連動文			
第12回 第12回 第12課『別れ』(1) ①「時間がたつのは本当に速いですね」 ②「とても緊張しています」 文法：(虽然)～但是～			
第13回 第13回 第12課『別れ』(2) ③「開けて見てもいいですか」 ④「送別をしてくださってありがとう」 文法：二重目的語 / 为(了)～			
第14回 第14回 第10課～第12課の復習			
第15回 第15回 総合復習			
<b>キーワード</b>			
<b>教科書・教材・参考書</b>	テキスト：高芳・劉軍『中級中国語へのアクセス』(三修社) 辞書：上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)		
<b>成績評価の方法・基準等</b>	期末テスト(50%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
<b>受講要件(履修条件)</b>	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
<b>本科目の位置づけ</b>			
<b>備考(準備学習等)</b>			

2010年度 後期	曜日・校時 木2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590047012	●中国語Ⅳ (2E7) Chinese IV		
授業科目/(英語名)	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象年次 2年	対象学生(クラス等) 2E7		
科目分類 外国語科目			
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 楊 曉安 / xiaoan@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部新館1階 / 095-819-2166 (内線2166) / 火曜日、金曜日 (16:10-18:00)			
担当教員	楊 曉安		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。 <b>到達目標:</b> 1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 概要:語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
16回 2月10日:定期試験			
第1回 第7課『天気』(1) ①「今日は暖かいですね」 ②「真夏でもあまり暑くありません」			
文法:主述述語文/即使～也～			
第2回 第7課『天気』(2) ③「紅葉狩に行きましょう」 ④「もうすぐ冬至です」			
文法:只要～就～/了/有时～有时～			
第3回 第8課『京劇』(1) ①「京劇に興味があります」 ②「私は京劇のファンです」			
文法:对～感(有)兴趣 時間状況語			
第4回 第8課『京劇』(2) ③「私がおっと好きなのは京劇の歌詞です」 ④「見れば見るほど面白くなります」			
文法:～了～了/越～越～			
第5回 第9課『病気』(1) ①「健康保険証を持っていますか」 ②「どうしましたか」			
文法:受身文(～られる)/動量補語			
第6回 第9課『病気』(2) ③「目薬を買いたいのですが」 ④「苦いですか」			
文法:一～就～			
第7回 第7課～第9課の復習			
第8回 第10課『寮で』(1) ①「キッチンにあります」 ②「学生寮より広いです」			
文法:比較の表現			
第9回 第10課『寮で』(2) ③「家具の置き方がとても合理的です」 ④「カーテンがきれいです」			
文法:[構造助詞]的、地、得			
第10回 第11課『勉強する』(1) ①「明日先生に渡さなければなりません」 ②「もう先生に叱られました」			
文法:結果補語/连～也(都)～			
第11回 第11課『勉強する』(2) ③「今日のテストはどうでしたか」 ④「将来何になりたいですか」			
文法:不但～而且～/又、还、再/連動文			
第12回 第12課『別れ』(1) ①「時間がたつのは本当に速いですね」 ②「とても緊張しています」			
文法:(虽然)～但是～			
第13回 第12課『別れ』(2) ③「開けて見てもいいですか」 ④「送別をしてくださってありがとう」			
文法:二重目的語/为(了)～			
第14回 第10課～第12課の復習			
第15回 総合復習			
<b>キーワード</b>			
<b>教科書・教材・参考書</b>			
テキスト:高芳・山本範子等『中級中国語へのアクセス』(三修社) 辞書:上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)			
<b>成績評価の方法・基準等</b>			
期末テスト(50%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。			
<b>受講要件(履修条件)</b>			
単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。			
<b>本科目の位置づけ</b>			
<b>備考(準備学習等)</b>			

2010年度 後期	曜日・校時 木2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590047011 授業科目/(英語名)	●中国語IV (2E6) Chinese IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等)		科目分類 外国語科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 高 季文 / jgypk388@ybb.ne.jp / 非常勤講師室 / 095-843-3675 / 木曜日 14:30-15:50			
担当教員	高 季文		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 1, 中国語の発音と基本文法を一通り終えたうえ、より実用的な会話を身につける授業を目指す。2, 日常生活状況を中国語で表現できるようにする。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 基本文型を取り上げて、そして会話の場面を設定し、そのまま会話で使える表現力を学習によって着実につけようとするのであります。 <b>到達目標:</b> 改革開放後の中国における衣食住など人々の日常生活様子を会話の学習に通じて、中国の最新情報を理解する。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 16回目 定期考査 第1回 第六課 興趣 第2回 結果補語 二重目的語文 第3回 第七課 読書 第4回 可能補語 接続語 「不但A而且B」 第5回 復習③ 第6回 テスト 第7回 第八課 過年 第8回 兼語文 「請」使役の表現 第9回 第九課 网上聊天 第10回 「把」構文 助動詞「应该」 第11回 補語まとめ 第12回 第十課 短期留学 第13回 副詞「一边A一边」 疑問詞+都/也 第14回 復習④ 第15回 まとめ 16回目 定期考査			
キーワード			
教科書・教材・参考書	『実用中国語10課 2』(劉愛莉等、白帝社)		
成績評価の方法・基準等	1,課題(宿題) 4%×5回=20% 2, 定期試験 60% 3, 出席20%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	中国語による簡単な日常会話を話せるようにする。現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
備考(準備学習等)	現在中国の社会状況		

2010年度 後期	曜日・校時 金2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590047016 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅳ (2P18～19・2F 二) Chinese IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等)		科目分類 外国語科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 祁 建民 / qjmjp@sun.ac.jp / 非常勤教員控室 / 095-813-5138 /			
担当教員	祁 建民		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p><b>ねらい:</b>本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>授業方法:1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。</p> <p><b>到達目標:</b>1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。「16回目 2月4日 定期試験」</p> <p>第1回 10月1日 第7課『天気』(1) ①「今日は本当に暖かいですね」 ②「真夏でもあまり暑くありません」 文法:主述述語文 / 即使～也～</p> <p>第2回 10月8日 第7課『天気』(2) ③「紅葉狩に行きましょう」 ④「まもなく冬至がやってきます」 文法:只要～就～ / 了 / 有时～有时～</p> <p>第3回 10月15日 第8課『京劇』(1) ①「京劇に興味があります」 ②「私は京劇のファンです」 文法:对～感(有)兴趣 時間状況語</p> <p>第4回 10月22日 第8課『京劇』(2) ③「私をもっと好きなのは京劇の歌詞です」 ④「見れば見るほど面白くなります」 文法:～了～了 / 越～越～</p> <p>第5回 10月29日 第9課『病気』(1) ①「犬にかまれてしまいました」 ②「どうしましたか」 文法:受身文(～られる) / 動量補語</p> <p>第6回 11月5日 第9課『病気』(2) ③「目薬を買いたいのですが」 ④「苦いですか」 文法:一～就～</p> <p>第7回 11月12日 第7課～第9課の復習</p> <p>第8回 11月26日 第10課『寮で』(1) ①「寮に何がありますか」 ②「学生寮より広いです」 文法:比較の表現</p> <p>第9回 12月3日 第10課『寮で』(2) ③「よく調べました」 ④「お部屋はきれいに飾っていますね」 文法:[構造助詞]的、地、得</p> <p>第10回 12月10日 第11課『勉強する』(1) ①「明日先生に渡さなければなりません」 ②「もう先生に叱られました」 文法:結果補語 / 连～也(都)～</p> <p>第11回 12月17日 第11課『勉強する』(2) ③「今日のテストはどうでしたか」 ④「将来何になりたいですか」 文法:不但～而且～ / 又、还、再 / 連動文</p> <p>第12回 12月24日 第12課『別れ』(1) ①「時間がたつのは本当に速いですね」 ②「とても緊張しています」 文法:(虽然)～但是～</p> <p>第13回 1月7日 第12課『別れ』(2) ③「開けて見てもいいですか」 ④「送別をしてくれてありがとう」 文法:二重目的語 / 为(了)～</p> <p>第14回 1月21日 第10課～第12課の復習</p> <p>第15回 1月28日 総合復習 文法のまとめ</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキスト:高芳・山本範子・劉軍・肖爽『中級中国語へのアクセス』(三修社) 辞書:上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)		
成績評価の方法・基準等	期末テスト(50%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590047015 授業科目/(英語名)	●中国語IV (2F一) Chinese IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) 2F・	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 高山 乾忠 / takayama@wesleyan.ac.jp / 非常勤室 / /			
担当教員	高山 乾忠		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> これまで習得した文法、文型、表現をベースに中国語の応用力の強化を図り、異文化間コミュニケーションの現場における真の即戦力の育成を目標とする。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 中国語独特の文法事項を数多くの文例を用いて解説し、そのつど練習問題を通して確認させる。本文の表現を反復練習したり、各種の文型が出現したら即その疑問文を教授したりして会話をする <b>到達目標:</b> (財)アジア国際交流奨学財団主催、「実用中国技能検定試験」(4級)の資格を目指す。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 第1回 10月1日 第14課 文法 1,2,3,4,5 練習問題 第2回 10月8日 第15課 会話文 単語 文法 1,2,3 第3回 10月15日 第15/16課 練習問題 会話文 単語 第4回 10月22日 第16課 文法 1,2,3 練習問題 第5回 10月29日 第17課 会話文 単語 文法 1,2,3 第6回 11月5日 第17/18課 練習問題 会話文 単語 第7回 11月12日 中間テスト 第8回 11月26日 第18課 文法 1,2 練習問題 第9回 12月3日 第19課 会話文 単語 文法 1,2,3,4 第10回 12月10日 第19/20課 練習問題 会話文 単語 第11回 12月17日 第20課 文法 1,2,3,4,5 練習問題 第12回 12月24日 第21課 会話文 単語 文法 1,2,3,4 第13回 1月7日 第21/22課 練習問題 会話文 単語 第14回 1月21日 第22課 文法 1,2,3,4,5 練習問題 第15回 1月28日 第23課 会話文 単語 文法 1,2,3, ※2月4日 後期 試験			
キーワード	言語 外国語 中国語 文化		
教科書・教材・参考書	(北京大学 出版)「易読中国語Ⅰ」		
成績評価の方法・基準等	出席状況、平素の学習意欲や態度など20%、中間テスト10%、定期試験70%で総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)	原則として全回講義の出席を条件とする		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590047014 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅳ (2L1～2) Chinese IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) 2L1～2		科目分類 外国語科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 楊 曉安 / xiaolan@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部新館1階 / 095-819-2166 (内線 2166) / 火曜日、金曜日 (16:10-18:00)			
担当教員	楊 曉安		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。 <b>到達目標:</b> 1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。			
16回 2月4日：定期試験 第1回 第7課『天気』(1) ①「今日は暖かいですね」 ②「真夏でもあまり暑くありません」 文法：主述述語文 / 即使～也～ 第2回 第7課『天気』(2) ③「紅葉狩に行きましょう」 ④「もうすぐ冬至です」 文法：只要～就～ / 了 / 有时～有时～ 第3回 第8課『京劇』(1) ①「京劇に興味があります」 ②「私は京劇のファンです」 文法：対～感(有)兴趣 時間状況語 第4回 第8課『京劇』(2) ③「私がおっと好きなのは京劇の歌詞です」 ④「見れば見るほど面白くなります」 文法：～了～了 / 越～越～ 第5回 第9課『病気』(1) ①「健康保険証を持っていますか」 ②「どうしましたか」 文法：受身文(～られる) / 動量補語 第6回 第9課『病気』(2) ③「目薬を買いたいのですが」 ④「苦いですか」 文法：一～就～ 第7回 第7課～第9課の復習 第8回 第10課『寮で』(1) ①「キッチンにあります」 ②「学生寮より広いです」 文法：比較の表現 第9回 第10課『寮で』(2) ③「家具の置き方がとても合理的です」 ④「カーテンがきれいです」 文法：構造助詞]的、地、得 第10回 第11課『勉強する』(1) ①「明日先生に渡さなければなりません」 ②「もう先生に叱られました」 文法：結果補語 / 连～也(都)～ 第11回 第11課『勉強する』(2) ③「今日のテストはどうでしたか」 ④「将来何になりたいですか」 文法：不但～而且～ / 又、还、再 / 連動文 第12回 第12課『別れ』(1) ①「時間がたつのは本当に速いですね」 ②「とても緊張しています」 文法：(虽然)～但是～ 第13回 第12課『別れ』(2) ③「開けて見てもいいですか」 ④「送別をしてくださってありがとう」 文法：二重目的語 / 为(了)～ 第14回 第10課～第12課の復習 第15回 総合復習			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキスト：高芳・山本範子等『中級中国語へのアクセス』(三修社) 辞書：上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)		
成績評価の方法・基準等	期末テスト(50%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590047019 授業科目/(英語名)	●中国語Ⅳ (2E8) Chinese IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等)	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 祁 建民 / qjmjp@sun.ac.jp / 非常勤教員控室 / 095-813-5138 /			
担当教員	祁 建民		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法) / 授業到達目標</b>			
<p><b>ねらい:</b>本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>授業方法: 1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。</p> <p><b>到達目標:</b> 1. 簡単な日常会話を話せるようにする。2. 基本的な中国語を読めるようにする。3. 基本的な中国語を書けるようにする。4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。</p>			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>			
<p>語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。「16回目 2月4日 定期試験」</p> <p>第1回 10月1日 第7課『天気』(1) ①「今日は本当に暖かいですね」 ②「真夏でもあまり暑くありません」 文法: 主述述語文 / 即使～也～</p> <p>第2回 10月8日 第7課『天気』(2) ③「紅葉狩に行きましょう」 ④「まもなく冬至がやってきます」 文法: 只要～就～ / 了 / 有时～有时～</p> <p>第3回 10月15日 第8課『京劇』(1) ①「京劇に興味があります」 ②「私は京劇のファンです」 文法: 对～感(有)兴趣 時間状況語</p> <p>第4回 10月22日 第8課『京劇』(2) ③「私をもっと好きなのは京劇の歌詞です」 ④「見れば見るほど面白くなります」 文 法: ～了～了 / 越～越～</p> <p>第5回 10月29日 第9課『病気』(1) ①「犬にかまれてしまいました」 ②「どうしましたか」 文法: 受身文(～られる) / 動量補語</p> <p>第6回 11月5日 第9課『病気』(2) ③「目薬を買いたいのですが」 ④「苦いですか」 文法: 一～就～</p> <p>第7回 11月12日 第7課～第9課の復習</p> <p>第8回 11月26日 第10課『寮で』(1) ①「寮に何がありますか」 ②「学生寮より広いです」 文法: 比較の表現</p> <p>第9回 12月3日 第10課『寮で』(2) ③「よく調べました」 ④「お部屋はきれいに飾っていますね」 文法: [構造助詞]的、地、得</p> <p>第10回 12月10日 第11課『勉強する』(1) ①「明日先生に渡さなければなりません」 ②「もう先生に叱られました」 文法: 結果補語 / 连～也(都)～</p> <p>第11回 12月17日 第11課『勉強する』(2) ③「今日のテストはどうでしたか」 ④「将来何になりたいですか」 文法: 不但～而且～ / 又、还、再 / 連動文</p> <p>第12回 12月24日 第12課『別れ』(1) ①「時間がたつのは本当に速いですね」 ②「とても緊張しています」 文法: (虽然)～但是～</p> <p>第13回 1月7日 第12課『別れ』(2) ③「開けて見てもいいですか」 ④「送別をしてくれてありがとう」 文法: 二重目的語 / 为(了)～</p> <p>第14回 1月21日 第10課～第12課の復習</p> <p>第15回 1月28日 総合復習 文法のまとめ</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキスト: 高芳・山本範子・劉軍・肖爽『中級中国語へのアクセス』(三修社) 辞書: 上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)		
成績評価の方法・基準等	期末テスト(50%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590047018 授業科目/(英語名)	●中国語IV (2E9) Chinese IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) 2E9	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 高山 乾忠 / takayama@wesleyan.ac.jp / 非常勤室 / /			
担当教員	高山 乾忠		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> これまで習得した文法、文型、表現をベースに中国語の応用力の強化を図り、異文化間コミュニケーションの現場における真の即戦力の育成を目標とする。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 中国語独特の文法事項を数多くの文例を用いて解説し、そのつど練習問題を通して確認させる。本文の表現を反復練習したり、各種の文型が出現したら即その疑問文を教授したりして会話をする <b>到達目標:</b> (財)アジア国際交流奨学財団主催、「実用中国技能検定試験」(4級)の資格を目指す。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 第1回 10月1日 第14課 文法 1,2,3,4,5 練習問題 第2回 10月8日 第15課 会話文 単語 文法 1,2,3 第3回 10月15日 第15/16課 練習問題 会話文 単語 第4回 10月22日 第16課 文法 1,2,3 練習問題 第5回 10月29日 第17課 会話文 単語 文法 1,2,3 第6回 11月5日 第17/18課 練習問題 会話文 単語 第7回 11月12日 中間テスト 第8回 11月26日 第18課 文法 1,2 練習問題 第9回 12月3日 第19課 会話文 単語 文法 1,2,3,4 第10回 12月10日 第19/20課 練習問題 会話文 単語 第11回 12月17日 第20課 文法 1,2,3,4,5 練習問題 第12回 12月24日 第21課 会話文 単語 文法 1,2,3,4 第13回 1月7日 第21/22課 練習問題 会話文 単語 第14回 1月21日 第22課 文法 1,2,3,4,5 練習問題 第15回 1月28日 第23課 会話文 単語 文法 1,2,3, ※2月4日 後期 試験			
キーワード	言語 外国語 中国語 文化		
教科書・教材・参考書	(北京大学 出版)「易読中国語Ⅰ」		
成績評価の方法・基準等	出席状況、平素の学習意欲や態度など20%、中間テスト10%、定期試験70%で総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)	原則として全回講義の出席を条件とする		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590047017	●中国語Ⅳ (2E10) Chinese IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) 2E10		科目分類 外国語科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 楊 曉安 / xiaolan@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部新館1階 / 095-819-2166 (内線 2166) / 火曜日、金曜日 (16:10-18:00)			
担当教員	楊 曉安		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p><b>ねらい:</b>本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。</p> <p><b>到達目標:</b>1. 簡単な日常会話を話せるようにする。2. 基本的な中国語を読めるようにする。3. 基本的な中国語を書けるようにする。4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <p>16回 2月4日：定期試験</p> <p>第1回 第7課『天気』(1) ①「今日は暖かいですね」 ②「真夏でもあまり暑くありません」 文法：主述述語文 / 即使～也～</p> <p>第2回 第7課『天気』(2) ③「紅葉狩に行きましょう」 ④「もうすぐ冬至です」 文法：只要～就～ / 了 / 有时～有时～</p> <p>第3回 第8課『京劇』(1) ①「京劇に興味があります」 ②「私は京劇のファンです」 文法：对～感(有)兴趣 時間状況語</p> <p>第4回 第8課『京劇』(2) ③「私がおっと好きなのは京劇の歌詞です」 ④「見れば見るほど面白くなります」 文法：～了～了 / 越～越～</p> <p>第5回 第9課『病気』(1) ①「健康保険証を持っていますか」 ②「どうしましたか」 文法：受身文(～られる) / 動量補語</p> <p>第6回 第9課『病気』(2) ③「目薬を買いたいのですが」 ④「苦いですか」 文法：一～就～</p> <p>第7回 第7課～第9課の復習</p> <p>第8回 第10課『寮で』(1) ①「キッチンにあります」 ②「学生寮より広いです」 文法：比較の表現</p> <p>第9回 第10課『寮で』(2) ③「家具の置き方がとても合理的です」 ④「カーテンがきれいです」 文法：[構造助詞]的、地、得</p> <p>第10回 第11課『勉強する』(1) ①「明日先生に渡さなければなりません」 ②「もう先生に叱られました」 文法：結果補語 / 连～也(都)～</p> <p>第11回 第11課『勉強する』(2) ③「今日のテストはどうでしたか」 ④「将来何になりたいですか」 文法：不但～而且～ / 又、还、再 / 連動文</p> <p>第12回 第12課『別れ』(1) ①「時間がたつのは本当に速いですね」 ②「とても緊張しています」 文法：(虽然)～但是～</p> <p>第13回 第12課『別れ』(2) ③「開けて見てもいいですか」 ④「送別をしてくださってありがとう」 文法：二重目的語 / 为(了)～</p> <p>第14回 第10課～第12課の復習</p> <p>第15回 総合復習</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキスト：高芳・山本範子等『中級中国語へのアクセス』(三修社) 辞書：上野恵司『標準中国語辞典』(白帝社)		
成績評価の方法・基準等	期末テスト(50%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
本科目の位置づけ			
備考(準備学習等)			